

中村学園大学付属 壱岐幼稚園の保育



令和7年度版
(令和7年3月最新改訂)

はじめに

本園は幼稚園教育要領に則り、中村学園大学の付属幼稚園として幼児の発達の特性をふまえ、環境を通して遊びから学ぶ保育を追求しながら、大学教育学部の実習生などの受け入れを通して将来の保育者養成の寄与に努め、創立 45 年となりました。

「幼稚園教育要領（平成 29 年 3 月 31 日告示）」の平成 30 年 4 月 1 日施行に伴い中村学園大学附属壱岐幼稚園の教育課程は大きく改定されました。さらに時代は平成、令和へと進み、子どもたちを取り巻く環境は激変しました。2019 年 12 月初旬に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が報告され、わずか数カ月間にパンデミックと言われる世界的な大流行となりました。誰もが経験したことのない状況の中で、初の長期休園をはじめ、生活様式、行事、保育の方法など保育の抜本的な見直しと毎年、感染症の状況に応じた変更を余儀なくされました。

同時に制約される環境の中で、幼稚園教育要領の大きな改定ポイントである、小学校教育との円滑な接続を目指し示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」である「健康な心と体」、「自立心」、「協同性」、「道徳性・規範意識の芽生え」、「社会生活との関わり」、「思考力の芽生え」、「自然との関わり・生命尊重」、「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」、「言葉による伝え合い」、「豊かな感性と表現」という資質・能力を育む保育となるよう、子どもたちの様子と照らし合わせながら、保育者は常に協議し、悩み迷いながら、努力と工夫を重ねる保育実践の変革にも取り組みました。従来の保育「内容」と、10 の資質・能力を踏まえた、「学びの地図」となる本園の教育課程は、常に幼稚園教育要領の 5 領域における位置付けや、保育の方向性、10 の資質・能力を確認しやすい特徴があります。そのため、教育課程と期案、月案、週案、日案が常に日常保育と関連しやすく、COVID-19 により毎年大幅に教育課程が変化した時期も揺るぐことなく壱岐幼稚園の実践を重ねて参りました。さらに今回の改訂には、実践による裏付けを反映した 2 歳児「こあらぐみ」を含めた 4 年間の教育課程が加わりました。できるだけ滑らかに各学年を繋げつつ 5 領域や運動、製作の観点ごとに、各期に取り組む標準的な内容を現在の子どもたちの実態を踏まえて変更しました。特に壱岐幼稚園の自慢のひとつである給食実践を通じて健やかな心身の発達と健康管理に繋がるよう、園内研修にて毎年研究テーマを設け、「保育室の環境」「食育活動と SDG s」を中心に保育を見つめてきました。今後もさらに計画の点検、見直しを継続しながら、今の時代の子どもたちにふさわしい保育環境を追求して参ります。

これからも、壱岐幼稚園の教育と保育に対しまして、皆様のご指導とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 3 月

中村学園大学附属壱岐幼稚園 園長 山田朋子

目

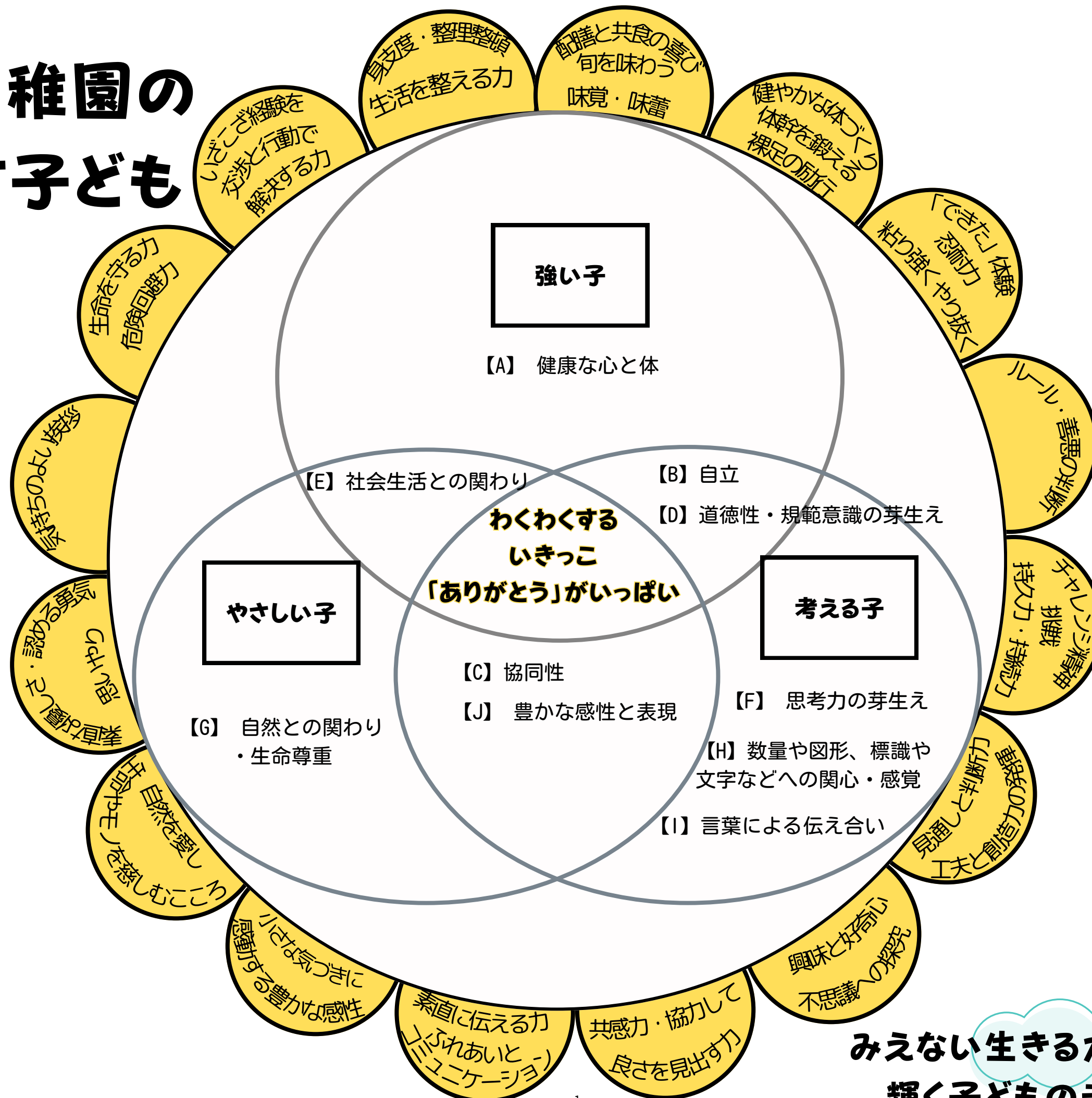
- ・ 壱岐幼稚園の目指す子ども 1
- ・ 壱岐幼稚園の概要 3
 - 園のあゆみ
 - 園の概要
- ・ 教育課程 9
- ・ 年間計画 10
 - 4年保育（2歳児）
 - 年少（3歳児）
 - 年中（4歳児）
 - 年長（5歳児）
- ・ 期案 14
 - 4年保育（2歳児）
 - 年少（3歳児）
 - 年中（4歳児）
 - 年長（5歳児）
- ・ 月案 33
 - 4年保育（2歳児）
 - 年少（3歳児）
 - 年中（4歳児）
 - 年長（5歳児）
- ・ 資料 77
 - 保育実践一覧
 - 保育実践一覧（運動）
 - 保育実践一覧（製作）
 - 壱岐幼稚園・環境保育の1年間

次

本書について

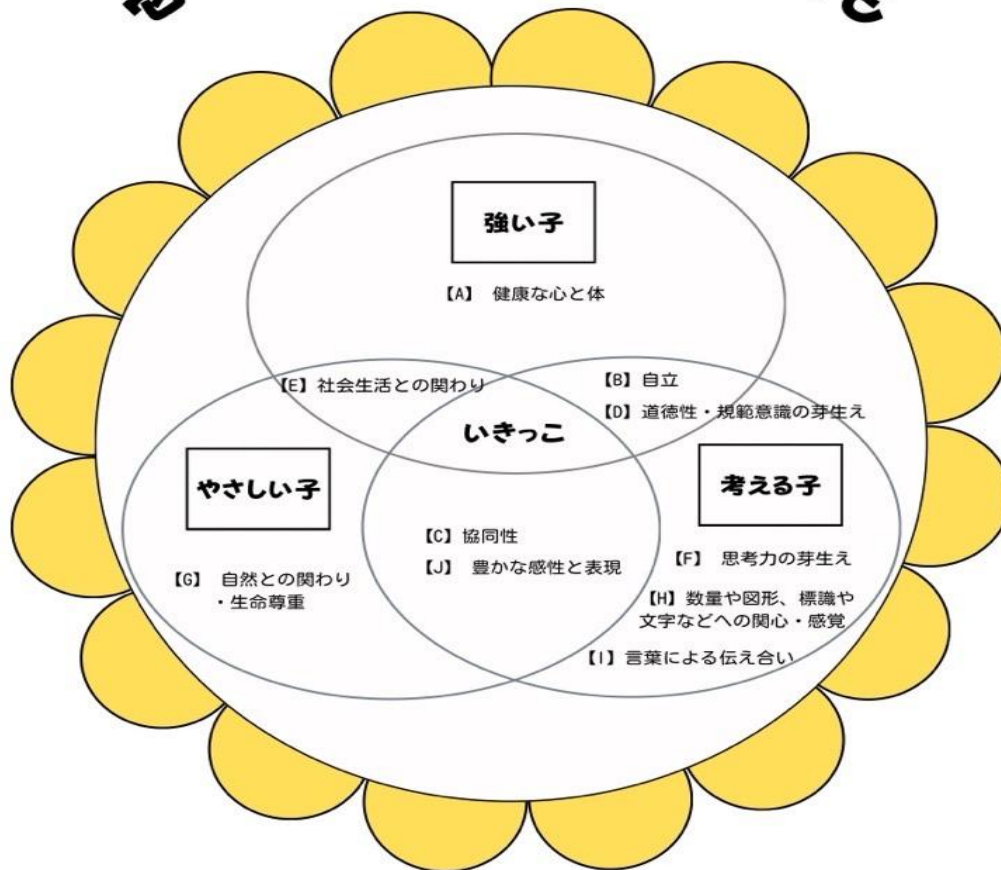
- ・ 使用している漢字や表現は、幼稚園教育要領を参考にしています。
教師は、「保育者」と表記しています。
- [年間計画]
 - ・ 給食目標の（ ）内の数字は、幼稚園教育要領の健康の内容と照らし合わせて、
該当するものを記載しています。
 - ・ 「ミックスジュース（縦割り保育）」は、本園で行っている縦割り保育の呼び名です。
- [月案]
 - ・ （ ）内の数字は、幼稚園教育要領の各領域の内容と照らし合わせて、
該当するものを記載しています。
 - ・ セカンドステップの漢字表記は、セカンドステップテキストを参考に
記載しています。
 - ・ 言葉 【え】・・・絵本 【か】・・・紙芝居 【大え】・・・大型絵本
 【パ】・・・パネルシアター
 - ・ 表現 ☆・・・全学年共通で取り組む製作

壱岐幼稚園の 目指す子ども



**みえない生きる力 を育む保育で
輝く子どもの未来を創ります**

壱岐幼稚園の目指す子ども



壱岐幼稚園の目指す子ども

見えない【生きる力】を育むのびのび保育で輝く子どもの未来を創ります。

- ① 身支度 整理整頓 生活を整える力
- ② 配膳と共食の喜び 旬を味わう味覚・味蕾
- ③ 健やかな体づくり 体幹を鍛える裸足の励行
- ④ 「できた」体験 粘り強くやり抜く集中力・忍耐力
- ⑤ ルール 善悪の判断
- ⑥ 挑戦 チャレンジ精神 持久力 持続力
- ⑦ 見通しと判断力 工夫と創造力の発揮
- ⑧ 興味と好奇心 不思議への探究
- ⑨ 共感力 協力して良さを見出す力
- ⑩ 素直に伝える力 ふれあいとコミュニケーション
- ⑪ 小さな気づきに感動する豊かな感性
- ⑫ 自然を愛し生命や物を慈しむこころ
- ⑬ 素直な優しさ 認める勇気 思いやり
- ⑭ 気持ちのよい挨拶
- ⑮ 生命を守る力・危険回避力
- ⑯ いざこざ経験を交渉と行動で解決する力

壱岐幼稚園の目指す子ども

いきっこは…

「生きる力」がいっぱい

壱岐幼稚園は…

みんながいつでも来られる

帰って来られる

思い出いっぱい

安心いっぱいの

家のような存在でありたい

強い子



- ・自己肯定感をもつ子ども
- ・挑戦できる子ども
- ・場面に応じて感情をコントロールできる子ども



- ・健康に過ごせる丈夫な身体をもつ子ども

やさしい子

- ・すべての人やものに思いやりをもって丁寧にあそぶ子ども
(友達・家族・年下の子ども・保育者・地域の方・動物・植物・自然など)
- ・相手の気持ちを考えられる子ども

いきっこ

考える子

- ・自分なりの考えをもてる子ども
- ・考えを表現できる子ども
- ・自分で目標を設定できる子ども
- ・目標に向かって行動に移せる子ども

壱岐幼稚園のあゆみ			◇1990年	5月22日	佐賀県鳥栖市のこまどり幼稚園園児来園・見学	◇2001年	4月1日	第4代園長：古賀 範雄就任
◇1979年	4月1日	中村学園大学付属壱岐幼稚園開園	◇1991年	4月1日	年少児増員に伴い、補助1名をおく	◇2002年	4月	補助3名となる
		初代園長：高良 竹美就任						年長・年中トイレ改装工事
		4歳児2学級						
		担任2名・栄養士1名・事務1名						
	4月11日	第1回入園式挙行・入園児48名		4月1日	3・4・5歳児各2学級となり、担任6名となる		4月1日	補助4名となる
	4月14日	第1回母の会総会		5月20日	KBC「長谷川 法世ときめきポテト」来園・園児出演		4月	延長保育試行
	4月19日	完全給食開始						週5日制実施に伴い、第1・3・5土曜日自由登園試行
	6月19日	開園式・園舎落成式					6月	プール取替工事
		園歌「よいこのうた」制定					8月	すずめぐみ裏門扉設置
	8月21日	大学夏季講座・保育公開					11月	おすもうさんとの交流会開始
◇1980年	4月1日	4・5歳児各2学級となり、担任4名となる。	◇1996年	5月	付属あさひ幼稚園との交流保育開始	◇2003年	4月	西棟シャッター設置
	6月27日	プール初使用		10月14日	TNC「モーニングミント」来園・園児出演		7月	教師研修大会福岡大会にて分科会担当問題提起
	9月8日	原 俊之学長（当時）母の会講演会で講話						
◇1981年	3月14日	第1回卒園式挙行	◇1997年	4月1日	第3代園長：田中 浩子就任	◇2004年	2月	『教育課程』見直し・『壱岐幼稚園の保育』改訂版作成
							4月	遊戯室クーラー設置
◇1983年	7月	『総合保育実践の記録』発刊						土曜日預かり保育開始
				11月	スクールバス利用者コース別保育開始		7月	夏休み期間中の預かり保育開始
◇1984年	3月3日	5周年記念式・記念植樹	◇1998年	5月	預かり保育試行	◇2005年	4月1日	第5代園長：松尾 智則就任
	9月8日	中村 久雄理事長（当時）母の会講演会で講話			母親対象の「お料理教室」開始			
				11月	入園予定者の体験保育開始		4月1日	補助5名となる
◇1985年	9月7日	倉恒 匡徳学長（当時）母の会講演会で講話	◇1999年			◇2006年	4月	保育室クーラー設置
								スクールバス位置情報システム導入
◇1986年	3月31日	学校法人幼稚園連絡会より感謝状を授与		4月1日	掲示板設置・砂場移設		8月	玄関インターホン設置
	10月1日	スクールバス送迎開始		4月9日	小型バス導入・スクールバス2台での送迎開始			
◇1987年	4月1日	第2代園長：千葉 胤昭就任		4月13日	預かり保育開始・担当1名をおく	◇2007年	4月	玄関横花壇設置
				7月	幼稚園シンボルマーク制定		8月	北園舎園児用トイレ改装
				8月	園舎外壁・床の塗装	◇2008年		
◇1988年	9月24日	3歳児保育開始決定		10月	『教育課程及び指導計画』作成		4月	東側ブロック塀上にフェンス取付け
				11月13日	卒園した中学生を招待して「壱岐幼稚園20歳を祝う会」実施		8月	南園舎園児用トイレ・大人用トイレ改装
◇1989年	3月8日	保育室増設起工式	◇2000年	11月13日		◇2009年	3月	『壱岐幼稚園の保育』改訂版作成
	4月1日	3歳児保育開始		11月20日	20周年記念式			
		4・5歳児各2学級、3歳児1学級となり、担任5名となる					4月1日	第6代園長：久富 さよ子就任
	8月18日	増設保育室落成式		4月1日	補助2名となる		4月	北園舎ひさし取付け・階段掲示板取付け
	9月3日	福岡市よりアジア太平洋博覧会参加の感謝状授与		9月4日	少子化対策補助事業完了		8月	遊戯室改装
	9月30日	園庭南拡張工事完了			預かり保育室新設・飼育小屋建替え・ログハウス設置・築山等遊具整備他		11月21日	30周年記念式
	11月18日	10周年記念式・記念花壇設置				◇2011年	4月	『壱岐幼稚園における保育』発刊

◇2013年	4月1日	第7代園長：宮坂 明就任 補助6名となる	◇2021年	4月1日 4月	第9代園長：山田 朋子就任 防犯カメラ設置 預かり保育時間延長(8:00～18:00) 夏季預かり保育・冬季預かり保育日数増 補助8名となる(こあらぐみ補助1名減) 福岡県緊急事態宣言 東京オリンピック聖火リレートーチの貸与 (桑水流裕策氏：元ラグビー選手・佐賀県聖火ランナー) 福岡県緊急事態宣言の延長	◇2023年	4月 5月8日	4年保育(2歳児)開始 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更 永年勤続者表彰30年(1)、20年(1)
◇2014年	4月	未就園児親子クラスこあらぐみ開講					5月12日	保護者交流会モア 開始 中庭2歳児向け砂場 増設
◇2015年	4月1日 8月	補助7名となる 5歳児お泊まり保育開始		5月12～ 31日 5月24～ 26日 6月1～20日			6月	保護者向け「中村学園大学DEランチ会」の開始 園庭アスレチックコーナーの新設
◇2016年	4月1日 8月 9月	担任7名・補助8名となる 2歳児こあらぐみ・預かり保育室増設 2歳児こあらぐみ:こども2クラス・親子1クラス開始		6月2日 8月2日 8月20日～9月12日 9月13日～	幼稚園教育実習(WEBと観察の併用)開始 RKB毎日放送「手洗いダンスコーナ」出演 福岡県緊急事態宣言発令のため自由登園 通常保育開始 幼稚園教育実習(観察)		7月21日 10月11日 10月2日	年長特別保育「特別な環境での夏期の幼稚園を存分に経験する保育日」へ変更 ハッピー♡サンクスデー(敬老・感謝の日) お相撲さんとの交流会(対面再開) 園バス置き去り防止装置の設置
◇2017年	4月1日	第8代園長：圓入 智仁就任 いきの会室が移動となる		10月 10月14日 10月22日	9日運動会(年長2回)、10日(午前:年少2回、午後:年中2回) インスタグラム開設 おすもうさんとの交流会(オンライン)		11月23日 11月18日 11月25日 12月	正法寺保育園視察 保護者交流・地域子育てサロン「ほこっとタイム」開催 南区正法寺保育園職員研修視察 いきの会バス背もたれカバー寄贈
◇2018年	3月 8月 9月	中庭もみの木伐採 園舎外壁塗替え及び屋上防水工事 『教育課程』見直し・『志岐幼稚園の保育』改訂版作成		12月 12月21日 2月 3月 3月15日	4日いきっ子ども劇場(年長2組・年少1組)5日(年中2組・年少1組) ふくおかFUNによる水中中継(オンライン) 7日いきっこマラソン園庭開催(年長1組)、8日(年長1組)9日(年少2組)、10日(年中2組) 同窓会(動画配信) 臨時駐車場契約終了 中村学園大学発達支援センターいきいき子育て教室(動画配信) 新臨時駐車場契約開始		1月―2月 1月31日 2月	「能登半島地震」義援金 中村学園70周年ブランドムービー撮影 保護者向け食育講演会 中村学園70周年記念「タイムカプセル」作成
◇2019年	3月 5月 8月 12月20日	中庭・預かり保育室横整備 園庭砂場周囲雲梯設置 補助9名となる(こあらぐみ補助1名増加) 園庭北側ブロック塀撤去 40周年記念式				◇2024年	5月13日 5月21日 6月10日 6月4日 7月20日 8月28・29日	正法寺保育園職員研修視察 アビスパ福岡による「アビー教室」 預かり特別保育「いきっランド」開始 いきっランドに Hawaii Kids Music教室講師 招聘 みらいプロジェクト2024～子どもお仕事参観デー～ 台風10号のため休園(預かり保育)
◇2020年	3月 4月 5月 4月～5月20日 5月21日～31日 6月1日 5月 1月13日 2月28日 3月 3月21日	新型コロナウイルス感染予防のため、卒園式は短縮で実施 新型コロナウイルス感染拡大のため緊急事態宣言発令 休園 自由登園 始業式(午前) 入園式(午後) ※1学期中は、出席日数に含まれない自由登園 スクールバスにドライブレコーダー設置 福岡県緊急事態宣言の発出 福岡県緊急事態宣言の解除 感染予防のため一時的にスクールバス5コースで運行(1学期中) 全国緊急事態宣言の全面解除 春季預かり保育日数増	◇2022年	4月 5月 9月 10月 12月 3月	いきの会をボランティア制に変更 卒園アルバム制作の園担当に変更 永年勤続者表彰20年(1)、10年(1) 給食ランチョンマット(年長・年中)の配膳を導入 8日運動会(年長)9日(年少・年中) いきっくらボ(科学や自然現象への小さな研究所)開設 保護者向け講演会(放課後等デイサービス) 中村学園大学発達支援センターいきいき子育て教室(動画配信) 「中村学園大学付属志岐幼稚園給食レシピ集」刊行		9月6日 9月20日 10月15日 11月18日 11月14日 11月13日 2月7日	書道部コラボ・パフォーマンス 正法寺保育園職員研修視察 トウルク大学フィンランド留学生との交流会3回 年長園外保育「三陽高校生とのふれあい交流」 環境出前講座(年長) いきの会お譲り会 4園合同交流保育@舞鶴公園 あさひ幼稚園公開保育へ参観 桃山学院教育大学より視察・「いきっランド」ゲストティーチャー

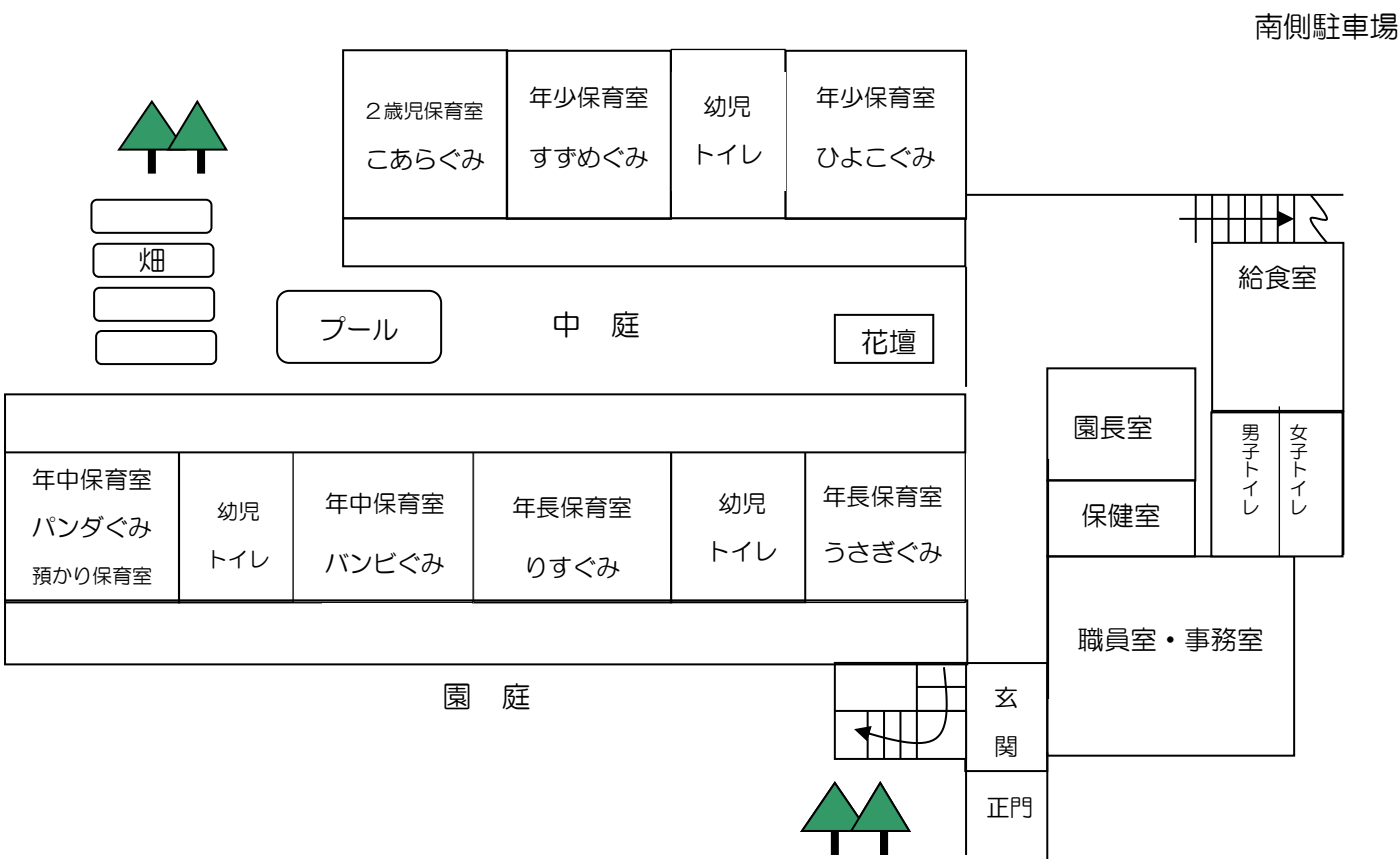
壱岐幼稚園の概要

(1) 園の環境

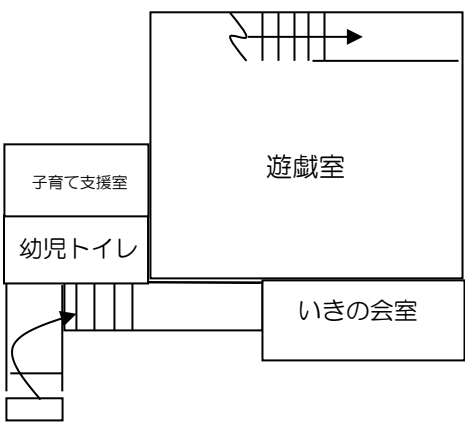
飯盛山を南にのぞむ住宅地に位置し、近くには保育園や小学校などがある。近年開発が進み、交通量も多くなった。少子化が進む中、本園の属する小学校区も例外ではなく、園児の8割ほどはスクールバスを利用して早良区西部や、西区の広範囲から通園している。園庭には、築山のトンネルや桜・あんずの木などがあり、子ども達は斜面を利用して遊んだり、植物の生長に気付いたりしている。また、中庭には、畑や水遊びを楽しめるプール、2歳児・年少児らがゆったりと過ごせるあそび場がある。

(2) 園舎平面図

【1階】



【2階】



(3) クラス編成

年 齢	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	未就園児 子・子ども) (親
学級数	2	2	2	1	2
クラス名	うさぎ・りす	パンダ・バンビ	ひよこ・すずめ	こあら	

(4) 教職員組織

園長	主任	担任	保育補助	預かり保育	管理栄養士	給食補助	事務	技術	計
1	1	7	10	1	1	3	1	2	27

(5) 保育方針

- 四季折々の自然を感じながらのびのびと遊べる環境の中で、様々な活動を展開し、強い子・やさしい子・考える子を育む。
- 子ども達が生まれながらにして備えている資質（自らの学び）を重視し、また、一人一人を大切にして、発達の主体者である子どもの活動を援助する。

< 保育の重点 >

〔1〕 幼児が期待をもつ保育計画と実践

- 保育方針の具体的計画と実践
- 保育者間の協同体制

〔2〕 幼児に働きかける環境の整備

- 四季の特色を体感させる園庭
 - ・ 樹木の開花、結実、紅葉、落葉
 - ・ 四季の草花を考えた花壇
 - ・ 収穫を期待できる畑
- 小動物の飼育を通した生命の尊重（ウサギ、カメなど）
- 十分な運動遊びの機会を与え、創造力を高める施設
 - ・ 固定遊具（築山、砂場、プール、アスレチック）他

〔3〕 幼児の目標

○遊ぶ

- ・ 夢中になって色々な遊びに取り組む。
- ・ 遊び場を見つけて色々な所で遊ぶ。
- ・ 遊びを見つけて遊ぶ。
- ・ 友達と仲良く遊ぶ。
- ・ 約束を守って遊ぶ。
- ・ 色々な遊びで全身を動かす。
- ・ 物を大切にしてお遊ぶ。
- ・ 安全に気を付けて遊ぶ。
- ・ 季節を感じながら遊ぶ。

〔4〕 保育者の目標

○見守る

- ・ 育とうとしている子ども達を温かく見守る。
- ・ 子ども達のやってみようとする活動を見守る。
- ・ 子ども達の活動にふさわしい環境を整えて見守る。
- ・ 安心してその子らしさが発揮できるように見守る。

○育む

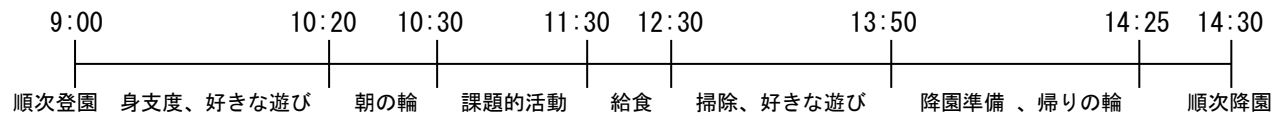
- ・ この時期に身につく基本的な生活習慣（特に排泄、食事、整理整頓、挨拶）を大切に育む。
- ・ 「きれいだな」と感じる心を育む。
- ・ 「不思議だな」と思う心を育む。
- ・ 「強い心」、「やさしい心」、「我慢する心」を育む。
- ・ 保育者や友だちの話をしっかり聞き、自分の思い（心、気持ち）を正しく伝える姿勢を育む。
- ・ 集団の中で直接的・具体的な体験を通して育む。
- ・ 子ども達と保育者との温かな信頼関係を育む。

〔5〕保育充実を助成する活動

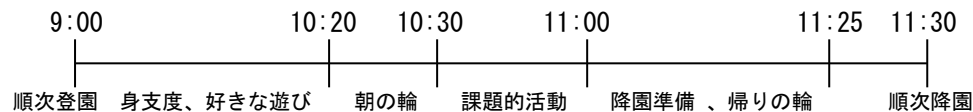
- 儀式的行事 ————— 入園式、卒園式、始業式、終業式
- 特別保育活動 ————— 誕生会、お弁当の日（園外保育・交流保育）、運動能力測定、ファミリーデー（保護者参観日）、クラス懇談・参観
プール開き・納会、夏まつり、年長特別保育、運動会、いきっことども劇場、もちつき、お正月遊びの日、まめまき
いきっこマラソン、お別れパーティー、2園交流保育、4園交流保育、社会見学、バス遠足、親子遠足 など
- 指導を受ける活動 —— 避難訓練（西消防署）、交通安全教室（西警察署）
- 異年齢児による保育活動—ミックスジュース、バスコース、預かり保育、預かり特別保育「いきっこランド」
- 特別保育プログラム —— 避難訓練（火事・地震・不審者・バス・その他）、図書貸出し、屋外プールでの水遊び
大学・短期大学部ゼミやサークル・留学生・三陽高校との交流、中村学園女子高校ふれあい保育体験
- 食育活動 ————— 給食当番、コンポスト当番（年長）、お出汁当番（年長）、クッキング保育、学年別栽培活動
- 食育活動（管理栄養士）—レシピ集の作成、個別食育指導（通常保育・誕生会）、誕生会レシピの配布（保護者）、大学4号館食堂ランチ体験会

（6）保育時制 （大よその目安です。）

<通常保育>



<午前保育>



（7）給食と食育について

おいしくバランスのとれた給食を目指し、週5日完全給食を実施している。食材は国内産に限り、特に九州産にこだわっている。預かり保育のおやつも無添加食品を提供している。園内の給食室で調理しているため、できたてで衛生的である。給食室の香りや音、室内が見学できる窓、実物や写真掲示などで五感を刺激する環境づくりに取り組んでいる。管理栄養士が各保育室を巡回し、一人ずつの子どもと関わりながら食事の状況把握に努めている。これを基に子ども達の健康と成長・季節などを考慮した献立を立案、調理をしている。食品アレルギーがある子どもの保護者と綿密に連携し細やかな対応を実施している。給食調理員も保育室で盛り付けに参加することで園児が直接、感謝の気持ちを伝えるふれあいの場も設定されている。

誕生会には管理栄養士が保護者へ誕生会レシピを提供しながら、個別相談にも応じている。

園児は、発達段階に応じた給食当番の活動を行っている。年少児は、トレイなどを配ることから始め、年中児から自己管理のきっかけづくりの一環としてランチョンマットを使用した配膳を開始、年長児はつぎわけにも挑戦している。また畑で収穫した野菜でのクッキング体験や、管理栄養士と年長児による残渣を活用したコンポスト堆肥づくりや、味覚を育てるために出汁の味見をするお味見当番などにも取り組んでいる。

教育課程

年齢		2歳児	年少・3歳児	年中・4歳児	年長・5歳児
学年の重点		・園生活に慣れ、喜んで登園する。 ・好きな遊びを見つけて、のびのびと遊べるようになる。	・園生活のルールを覚え、安心して過ごす。 ・好きな遊びを見つけ、体を動かして遊ぶ楽しさを知る。	・いろいろな活動に取り組み、自分なりの力を出して充実感を味わう。	・友達との連帯感を深めながら、自分自身の課題に主体的に取り組む。
5領域	健康	・自分で朝や帰りの身支度ができるようになる。【B】 ・パンツで過ごせるようになる。【A】 ・体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。【A】	・制服の1番上のボタンも自分で留められるようになり、自分で身支度をする。【B】 ・箸を使って自分で食べられるようになる。【B】 ・車に気を付けて、道の端を意識して歩けるようになる。【A】	・集団で活発に運動遊びを行う。【A】 ・全身を使って思いきり遊び、充実感を味わう。【A】	・年長としての自覚をもって、基本的な生活習慣を見直す。【B】 ・いろいろな運動遊びに力いっぱい取り組んだり、自分なりの目的をもって挑戦しようとしたりする。【A】
	人間関係	・保育者や友達に親しみをもつ。【C】 ・友達と一緒に並行遊びを楽しむようになる。【C】	・自分のクラスの保育者や友達に安心感を抱き、一緒に遊ぶ。【C】 ・我慢できない気持ちが分かる。【D】	・友達と楽しみを共有して、相手の気持ちに気付いていく。【C】 ・必要な手伝いに気付き、行おうとする。【D】 ・遊びの中で、友達などの様々な考えに触れ、よりよくする方法を考える。【F】	・進んで年少児の手伝いをする。【C】 ・友達と共通の目的に向かって考えを出し合い、力を合わせて遊びに取り組む。【F】 ・周りの人に思いやりをもって関わり、相手の気持ちを大切にしながら行動できるようになる。【D】
	環境	・季節ごとの遊びを全身で楽しむ。【G】 ・裸足で過ごせるようになる。【A】 ・進んで片付けを行う。【D】 ・砂遊びを、自分で工夫して遊ぶ。【F】	・日本の伝統的な行事や遊びを知り、楽しむ。【E】 ・固定遊具などに触れて、のびのびと遊ぶ。【A】 ・砂と泥の違いに気付き、工夫して泥団子が作れるようになる。【F】【G】	・季節の虫や植物に興味をもち、季節の変化に気付く。【G】 ・公園などの公共施設を訪れ、ルールを守って大切に使用しようとする。【E】	・身近な自然の変化に関心をもつ。【G】 ・遊びや日常生活の中で、必要な数量、図形や文字、簡単な標識などに関心をもつ。【H】 ・災害時の避難所と方法を知り、地域の中で暮らしていることに気付く。【E】
	言葉	・名前を呼ばれたら返事ができるようになる。【E】 ・自分の名前が言えるようになる。【E】 ・「おはよう」「ありがとう」など簡単な挨拶ができるようになる。【I】	・嬉しかったことや楽しかったことを、友達や保育者に自分から話そうとする。【I】 ・いろいろな物語に触れ、好きなお話を見つける。【H】	・自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりしながら遊びを進めていく。【I】 ・好きな絵本を見たり、読んだりして、文字に関心をもつ。【H】 ・進んで友達や保育者に挨拶する。【B】	・人の話を注意深く聞き、理解しようとする。【I】 ・保育者や友達の話の内容を理解し、言葉による表現を豊かにする。【J】
	表現	・歌や手遊び、ダンスを通してリズムを感じながら、表現することを楽しむ。【J】 ・様々な製作道具に触れながら、自分なりの表現を楽しむ。【J】 ・紙を半分に折れるようになる。【H】	・みんなで声を合わせて歌えるようになる。【J】 ・大きなものでも集中してのりを塗ることができる。【F】 ・はさみで直線を切ることができる。【H】	・様々な音に気付いたり、いろいろな楽器の音色を知る。【J】 ・心を込めて歌うことを知る。【J】 ・遊びに必要なものを考えたり、工夫したりして、それを遊びに使う。【J】	・いろいろな素材に触れながら、表現することのおもしろさを知る。【J】 ・様々な音楽に触れ、イメージを深めながら、自分なりに表現する。【J】

【A】:健康な心と体 【B】:自立心 【C】:協同性 【D】:道徳性・模範意識の芽生え 【E】:社会生活との関わり 【F】:思考力の芽生え 【G】:自然との関わり・生命尊重
【H】:数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 【I】:言葉による伝え合い 【J】:豊かな感性と表現

年間計画(4年保育・未就園児・2歳児)

- 【学年の重点】
- ・園生活に慣れ、親しみをもつ。
 - ・好きな遊びを見つけて、のびのびと遊ぶ。

	I (4月・5月)	II (6月・7月・8月)	III (9月・10月・11月・12月)	IV (1月・2月・3月)
子どもの姿	・保護者との分離後、泣いたり不安になったりすることがある。 ・幼稚園や保育者に慣れ、自分の好きな遊びを始める。	・自分で身支度をしようとする。	・保育室以外の場所でも興味がある遊びをしてみようとする。 ・友達と関わって遊ぶ姿が見られる。	・進級を楽しみにするようになる。
保育目標	・幼稚園を知る。 ・幼稚園に慣れ、楽しさを知る。 ・保育者と一緒に、好きな遊びを見つける。	・自分で身支度ができるようになる。	・自分で好きな遊びが見つけられるようになる。 ・友達と関わりをもちながら、好きな遊びを楽しむ。	・身の回りのことを自分で進んでできるようになる。 ・脱いだ上着を畳めるようになる。
給食目標	・みんなで食べる楽しさを知る。(5) ・水分補給をする。(9) ・自分で水筒のお茶が飲めるようになる。(9)	・自分で食べようとする。(5)	・食べ物に興味をもつ。(5)	・スプーンやフォークの持ち方や、反対の手で碗や皿を持って食べることを、自分で意識しながら食べる。(9)

年間計画(年少・3歳児)

【学年の重点】・園生活のルールを覚え、安心して過ごす。
・好きな遊びを見つけ、体を動かして遊ぶ楽しさを知る。

	I (4月・5月)	II (6月・7月・8月)	III (9月・10月)	IV (11月・12月)	V (1月・2月・3月)
子どもの姿	・新しい環境への期待や不安をもっている。 ・園生活の仕方や決まりを知っていく。	・保育者と一緒に行動する中で、徐々にまわりへの興味を示し、友達を意識するようになる。 ・外遊びが多くなり、開放感を味わって遊ぶ姿が見られる。	・夏休み明けは、戸惑いが見られるが園生活のペースを取り戻していく。 ・体を動かすことが好きになり、遊びが活発になってくる。	・友達と一緒に行動する中で、できないことともしてみようとする。 ・年中・年長児の活動や遊びに憧れをもち、真似て自分なりにやってみようとする姿が見られる。	・寒さのため、排泄を失敗することが多くなる。 ・身の回りのことがだいたい自分でできるようになり、安定した園生活を送れるようになってくる。 ・クラスのまとまりが出てきて、みんなでいることに満足する姿が見られるようになる。
保育目標	・クラスの保育者を覚え、新しい友達と親しみ、楽しく登園する。 ・自分のマークを覚え、持ち物を置く場所を知る。 ・園生活の流れを覚え、身の回りのことを自分でできるようになる。 ・元気に挨拶をする。	・自分で着替えられるようになる。 ・友達と玩具などの貸し借りができるようになる。また、協力して片付ける。 ・給食当番の流れを知り、自分で三角巾・マスクを着けられるようになる。 ・食後の歯磨きの仕方を知る。	・園生活のリズムを思い出し、自分のことは自分でする。 ・友達と一緒に走る・踊る・体を動かす楽しさを味わい、運動会に意欲的に臨む。 ・思いきり体を動かす楽しさを感じながら、元気いっぱい取り組む。 ・自分一人で着替えをすることに集中して取り組む。	・異年齢児と一緒に遊んだり、関わったりする中で、年長・年中児の真似をしてみようという気持ちを言葉で伝えることができるようになる。 ・合奏やダンスなど表現遊びを楽しみ、いきっこと劇場でものびのび行う。 ・冬に向けての必要な生活習慣(うがい・手洗い・衣服の調節)を身に付ける。	・いきっこマラソンでは、長い距離を最後まで歩かないで走れるように、根気強く日頃から園庭を走る。 ・毎日、走ることで体が温まることを感じる。 ・違うクラスの友達と進んで一緒に遊ぶ。 ・年中組になることを自覚し、自分のことは自分でする。 ・クラスみんなで遊ぶことを思いきり楽しむ。
給食目標	・給食があることを知る。(5) ・食前食後の挨拶ができるようになる。(5)	・給食当番の流れを知る。(8)	・給食の挨拶をする。(5) ・茶碗や皿をしっかりとって食べる。(5) ・箸とコップの準備の仕方を知り、自分で準備できるようになる。(7)	・自分でトレーを近付けて、姿勢を正しくして食べることができるようになる。(5)	・口の中に適量を入れ、よく噛んで食べる。(6) ・最後の一粒まで大切に食べる。(5) ・クラスの友達と楽しく給食をいただく。(5)

年間計画(年中・4歳児)

【学年の重点】・いろいろな活動に取り組み、自分なりの力を出して充実感を味わう。

	I(4月・5月)	II(6月・7月・8月)	III(9月・10月)	IV(11月・12月)	V(1月・2月・3月)
子どもの姿	・新しい環境への不安があるが、保育者に親しみをもち、一緒に遊ぶことで安定してくる。 ・友達が遊ぶのを見たり、真似したりしながら好きな遊びを見つけていく。	・友達と一緒に、遊びや活動を進める楽しさを知る。 ・泥遊びや水遊びなど、体全体で触れ、楽しむことができる遊びに興味をもつ。	・園生活に必要な約束や習慣を思い出し、自分でできることを進んで行う。 ・目標に向かって取り組みながら、友達と協力する楽しさを知る。	・気温の変化に応じて、衣服の調節ができるようになる。 ・秋から冬への季節の変化を見つけ、遊びに取り入れるようになる。	・集団での遊びやルールのある遊びに興味を持ち、取り組むようになる。 ・今まで経験してきたことが自信となり、進級への期待が高まる。
保育目標	・保育者や友達と一緒に活動しながら、新しいクラスに親しみをもち、自分から進んで、保育者や友達に挨拶する。 ・園内にある身近な自然や動植物に興味をもち、春の息吹を感じる。 ・自分の持ち物や使った玩具などをきれいに片付ける。	・話をしている人の方を向いて、静かに最後まで聞く。 ・プールの身支度の仕方を覚え、水遊びを思い切り楽しむ。 ・汗をかいた時は拭いたり、喉が渇いた時はお茶を飲んだりし、自分で考えて行動する。	・夏休みに体験したことを伝えあったり、遊びに取り入れたりする。 ・運動会では、人前で行う緊張感を味わいながら、友達と一緒に取り組む楽しさを味わう。 ・みんなで取り組んできたことに自信を持ち、運動会で全力を出し、達成感を味わう。 ・木の実や葉の色の変化に気付き、身近な自然から秋という季節を感じ、感性を高める。 ・クッキングを通して、自分で作った食べ物を食べる楽しさを味わう。また、食べ物大切さを知る。	・異年齢児との活動を通して、年長児に憧れをもったり、年少児に優しく接したりすることで、一緒に過ごす楽しさや充実感を味わう。 ・手洗い・うがいを励行し、戸外で元気に遊ぶ。 ・いきっこども劇場では、役になりきって演じる中で、自分のイメージを動きや言葉などでのびのびと表現する。	・氷・霜などの変化に気付き、冬ならではの自然に触れる。 ・いきっこマラソンでは、最後まで諦めない気持ちをもちながら、友達と一緒に走ることを楽しむ。 ・年長児の遊びや活動に興味をもち、教えてもらったり、一緒に行ってみたりして、進級が近づいていることを知る。 ・1年を通してできるようになったことを振り返り、進級することを自覚する。 ・それぞれの友達の良さを認め合いながら、いろいろな友達と元気に遊ぶ。
給食目標	・新しいクラスの人々と楽しく給食をいただく。(5)	・こぼさないように気を付けて食べる。(7) ・歯磨きの際、動き回らないように気を付ける。(10)	・箸を使って、最後まできれいに食べる。(7) ・姿勢を正して食べる。(7) ・クッキングを通して、素材の変化や大切さに気付く。(5)	・食材に興味をもって、楽しみながら食べる。(5) ・足を揃えて、正しい姿勢で食べる。(7) ・よく噛んで味わって食べる。(7)	・歯磨きをしっかりとし、自分の歯を大切にしようとする。(6) ・食事のマナーを見直し、感謝の気持ちをもって給食をいただく。(5)

年間計画(年長・5歳児)

【学年の重点】・友達との連帯感を深めながら、自分自身の課題に主体的に取り組む。

	I(4月・5月)	II(6月・7月・8月)	III(9月・10月)	IV(11月・12月)	V(1月・2月・3月)
子どもの姿	・年長児になったことを喜び、張り切って活動する。また、遊びや生活を通して、気の合う友達を見つけていく。 ・年少児のお世話をする中で、年長としての意識が高まってくる。	・自分の思ったことを発言したり、話し合ったりしながら、目的に向かって活動を進める姿が見られる。 ・周囲の自然物を遊びの中に取り入れていく。	・季節を感じたり、不思議に思うことを調べたりして、興味や関心を広げていく。 ・目標に向かって挑戦したり、全身を使って運動遊びを楽しんだりしている。 ・力を合わせて最後までやり遂げようとする。	・年少・年中児と関わる中で、中心になって活動することを喜ぶようになる。 ・トラブルを自分達なりに解決しようとする。 ・文字に興味をもち、読んだり書いたりしようとする。	・園生活をやり通した満足感を味わい、着実に歩んでいる手応えを感じる。 ・新年を迎えたり、もうすぐ一年生になることが分かってきたりすることから、大きくなったことを感じ、自ら進んで遊びや係活動に取り組む姿が見られる。 ・遊びの中で友達と話し合ったり、計画を立てたり、ルールを決めたりするようになる。
保育目標	・新しいクラスの友達と挨拶をし合ったり、名前を呼び合ったりして親しくなる。 ・泣いたり困ったりしている年下の子に気付き、自ら優しく声をかけ、思いやりの気持ちをもって接する。 ・年下の子どもに遊具の遊び方やおもちゃの片付け方を優しく教えることができるようになる。 ・花や虫などを発見し、自然の変化に気付きながらいろいろな友達と共有して遊ぶ。	・身近な人に進んで挨拶したり、積極的に関わったりすることを通して、自分の気持ちを言葉にして伝える。 ・梅雨ならではの自然の変化に気付いたり、天候に合わせて、遊びを考え工夫したりする。 ・経験したことから想像を豊かに膨らませ、様々な素材を使って表現することを楽しむ。 ・体を動かして汗をかいいた時は、自分で汗を拭いたり、水分補給したりする。また、自分で考えながら適度に休憩を取れるようにする。	・園生活の中で、一人ひとりが自信をもって、様々な活動に取り組む。 ・それぞれの種目での全体の流れや自分の出番を把握し、友達と教え合ったり、自ら進んで取り組んだりしながら、目標を達成できるようにする。 ・運動会では、自らやる気をもって自分の力を発揮し挑戦する楽しさや達成感をもてるようにする。 ・今までに培ってきた体の動かし方や使い方を、遊びの中や運動能力測定などで十分に発揮する。	・いきっこども劇場で、やりたいことをイメージして話し合う。また、みんなで協力して、集団活動に意欲的に取り組む。 ・他学年の子どもと交流する中で、思いやりの気持ちをもって接することができるようになる。 ・いきっこども劇場に向けての活動で、劇の流れや動き・台詞などを覚え、自信をもって臨む。 ・人前で歌ったり、声を出したりして、自分らしくのびのびと表現する。	・できないことや苦手なことにも挑戦し、友達と一緒に励まし合いながら、できることを増やしていく。 (こま回し・けん玉・マラソンなど) ・寒さに負けず、体を動かして戸外で元気に遊ぶことで、心身共に強くなることを知る。 ・卒園に向けての活動に真剣に取り組んだり、遊ぶ時は思いきり遊んだりして、一日一日を大切に過ごす。 ・自分の決めた目標に向けて、頑張る気持ちをもち、マラソンに意欲をもって取り組む。また、自分のもっている力を出し、最後まで走り切る。 ・友達との時間を大切にして、幼稚園生活の残りの日々を思いきり楽しむ。 ・「強い子、やさしい子、考える子」になったことに、自信をもって卒園する。
給食目標	・給食の流れを思い出し、楽しく給食をいただく。(5) ・こぼさないように、気を付けながらつぎ分ける。(7)	・食べる時の姿勢や食べこぼしに気を付けながら、給食をいただく。(7)	・正しい姿勢で座り、よく噛んで最後まできれいに食べる。(7) ・歯の大切さや生え変わることを意識し、食後の歯磨きを丁寧にする。(9)	・時間内に食べ終えることができるようになる。(8)	・食べ物の働きと体の関係に興味をもつ。(5) ・食事のマナーを再確認しながら、落ち着いて食べる。(7)

期案 2歳児 I 期 (4月・5月)

保育目標 ・幼稚園を知る。
・幼稚園に慣れ、楽しさを知る。
・保育者と一緒に、好きな遊びを見つける。

子どもの姿 ・保護者との分離後、泣いたり不安になったりすることがある。
・幼稚園や保育者に慣れ、自分の好きな遊びを始める。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣 ・保育者と共に幼稚園の生活を知る。(1)	・保育者と一緒にタオルやおたより帳など自分の身支度をする。 ・マークシールを活用して、自分の場所を覚える。	保育者・友達との関わり ・保育者を知る。(1) ・友達存在を知る。(1)	・遊ぶ中で、いろいろな人に出会う。	自然環境 ・保育者と一緒に砂遊びを楽しむ。(1)	・裸足で砂や水に触れて遊ぶ。 ・外遊びの安全な遊び方を知る。(砂・水は口に入れない、砂を投げない)	伝える・話す ・名前を呼ばれたら返事をする。(5) ・保育者と話す。(1)	・朝の輪で手を挙げて返事をする。 ・朝の挨拶をする。	音楽(歌) ・保育者の歌を真似して楽しむ。(6)	・とんとんひげじいさん
	運動 ・体を動かして遊ぶ。(2)	・保育者と一緒にすべり台や鉄棒に取り組む。 ・ピアノに合わせて動いたり、止まったりする。	他学年との関わり		飼育・栽培 ・園内の飼育動物に目を向ける。(5)	・カメ ・キンギョ ・ウサギ	聞く・理解する ・保育者の全体への声かけに興味をもつ。(5)	・保育者の話に興味をもつ。	音楽(リズム) ・保育者の動きを見て、リズムに合わせて体を動かす。(6)	・パンダうさぎコアラ ・糸車(ぶんぶんまわれ～) ・だいすきつちゅ(ふれ合いダンス) ・おさんぽゲーム
	給食・食育 ・みんなで食べる楽しさを知る。(5) ・水分補給をする。(9) ・自分で水筒のお茶を飲めるようになる。(9)	・椅子に座って、周りの友達や保育者の様子を見ながら給食を食べる。 ・保育者に手伝ってもらいながら、お茶を飲む。	セカンドステップ		固定遊具 ・保育者に援助してもらいながら、固定遊具を楽しむ。(2)	・すべり台 ・鉄棒(ぶら下がり) ・築山(トンネル)	セカンドステップ		製作 ・指先を使って、シール貼りを楽しむ。(7)	☆こいのぼり製作
	安全 ・保育室内など決められた場所で保育者と安全に遊ぶ。(10)	・保育室内では、机や棚に登らないことを知る。	地域との関わり		室内環境 ・保育室で好きな遊びを見つける。(8)	・好きな玩具を選んで遊ぶ。	物語 ・絵本や紙芝居を座って見る。(9)	【え】だるまさんが 【か】ごきげんのわるいコックさん 【大え】でんしゃにのって	製作道具・材料	
	○環境 ☆援助	○ロッカーや靴箱、おたより帳などにマークシールを貼り、自分の場所を分かりやすく伝えられるようにする。 ○排泄時のズボンの上げ下げがしやすいように、着脱用の椅子を準備する。 ○倒れないように、椅子は高く積み上げないようにする。また、触って危険なものは子どもの手の届かない所に置く。 ☆上靴は、子どもの様子を見ながら、上靴のかかるとにひもをつけるなど、履きやすい方法を全体に伝える。		○ゆったりとした遊びのスペース作りをする。 ☆保育者が名前を呼び返事をするなどして、お互いを知る機会を作る。 ☆保育者は、一人一人の顔を見て言葉をかけ、安心して園生活に臨めるようにする。 ☆保育者が声をかけたり誘ったりしながら、遊びの輪を広げていく。開放的な気持ちで友達と関われるようにする。		○保育室内は、コーナー遊びを準備し、子ども達が好きな遊びを選べる環境作りをする。 ○子どもが緊張しているためBGMを準備し、ゆったりとした気持ちで遊べるようにする。 ☆園内のいろいろな環境を知れるように保育計画を立てる。		○子ども達が集中して見られるように、大きな画面のものや、分かりやすい内容のものを準備する。 ○絵本コーナーを作り、絵本に親しむことができるようにする。 ☆登園時に、保育者が一人ずつに挨拶をし、話しやすい雰囲気作りをする。		☆真似しやすい手遊びを用意し、みんなで楽しめる雰囲気作りをする。 ☆保育者が楽しくダンスをする姿を見せることで、まずは見る楽しさを伝え、次第に真似ができるようにする。 ☆ダンスや手遊びは繰り返し紹介し、子ども達が覚えて自然に表現できるようにする。 ☆朝の歌は、発達段階を考えて、「おはようのうた」の1番のみ歌うようにする。
行事	【4月】入園式									

期案 2歳児 II 期 (6月・7月・8月)

保育目標・自分で身支度ができるようになる。

子どもの姿・自分で身支度をしようとする。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・身支度の流れを覚える。(8) ・上靴を自分で履けるようになる。(7) ・トイレで便座に座る。(7)	・保育者に声をかけてもらいながら、身支度を する。 ・定期的にトイレに行く時間を作り、オムツからパ	・保育者と一緒に遊ぶ。(1) ・困った時に保育者に訴えられるようになる。(2)	・保育者と共に遊ぶ中で、いろいろな人に出会う。 ・困った時に指差しや態度、言葉で保育者に伝える。	・夏ならではの遊びを楽しむ。(3) ・水や泥に触れて、開放的に遊ぶ楽しさを味わう。(4)	・砂遊び ・泥んこ遊び ・水遊び ・色水遊び	・保育者に伝えようとする。(2)	・指差しや一語文で発見や要求を伝え、思いが伝わることを楽しむ。	・簡単な手遊びを楽しむ。(6) ・朝の歌を覚える。(1)	・かえるのうた ・おはようのうた
	運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
	・様々な運動遊具に取り組む。(2) ・水遊びの楽しさを知る。(3) ・プール遊びの約束事を知る。(10)	・ウェーブバランス ・ミニ太鼓橋 ・トランポリン ・トンネル(四つん這い) ・中庭の組み立て式プールで水遊びをする。	・異年齢児と関わりをもつ。(7)	・年上の子から、登園や身支度を手伝ってもらう。	・園内散歩を通して、園内の様々な動植物に親しみをもつ。(5)	・カメ ・キンギョ ・メダカ ・ウサギ ・ミミズ ・ダンゴムシ	・全体への指示を聞こうとする。(5)	・生活を繰り返すうちに、日常的な指示(お茶を飲む、トイレの時間など)を理解し始める。	・リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。(1) ・盆踊りを知る。(1)	・さかながはねて ・なつまつりの盆踊りを通して、和のリズムに触れる。(炭坑節・その年の盆踊り)
	給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
	・自分で座って食べる。(8) ・自分で食べようとする。(5)	・給食時間内は、最後まで座って食べる。 ・こぼしながらも楽しく自分で食べる。(5)			・保育者に手伝ってもらい、築山に登る。(8)	・築山			・枠線を意識して色を塗ってみる。(7) ・スライムの不思議な感触を楽しむ。(1) ・夏の製作に取り組む。(2)	☆保護者へのプレゼント(フォトフレーム) ・スライム ・七夕製作
	安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
	・決められた場所で、決められた時間に遊べるようになる。(10) ・避難訓練を知る。(10)	・防災頭巾の被り方を知る。			・雨の日に、室内遊具に触れる。(8) ・指先を使った遊びに集中して取り組めるようになる。(2)	・ミニ太鼓橋 ・ウェーブバランス ・室内用すべり台 ・紐通し ・ストロー入れ ・粘土遊び	・絵本や紙芝居を静かに聞こうとする。(9)	【か】おおきくおおきく おおきくなあれ 【か】ジュースちょうだい 【え】こぐまちゃんのみずあそび 【大え】ぴょーん	・クレヨンの楽しさを知る。(7) ・絵の具ならではの淡い色を楽しむ。(2)	・クレヨン ・絵の具(指スタンプ・にじみ絵)
○環境 ☆援助	○好きな遊びの時間は、使用していない玩具は保育者が適宜片付け、転倒のないようにする。 ○水筒を取りやすい場所に置き、自分で水分補給ができるようにする。 ☆トイレの個人の表を作り、一人一人の排泄の状況、時間の感覚を把握する。 ☆水分補給の状況を把握したり、衣類の調節、空調管理に気を付け、一人一人の体調管理を行う。 ☆自分で給食が食べられるように、まずは減らして達成感を味わえるようにする。		○異年齢児を保育室に誘い、関わりやすい雰囲気を作る。 ☆友達と関わりたい気持ちの表れで、友達を叩いたりすることがある。分かりやすい言葉で明確に伝えていく。 ☆一つの遊びにまだ集中が続かないため、時間に区切りをつけて、メリハリのある保育を心掛ける。		○子どもの興味・関心に基づき、動きやすい動線や遊びのコーナー作りを見直していく。 ○子ども達が、遊びに集中できるように指先遊びや、動く楽しさを感じられるようなボールころがしなどを準備する。 ○集中する遊びと動く遊びなど、メリハリをつけて遊ぶことができる環境作りをする。 ☆遊びに興味がもてるように、保育者が一人一人の様子を見て誘う。		○子ども達が集中して見られるように、歌や掛け合いの多い作品を紹介する。 ○話を座って聞けるように、畳やマットなどで座る場所を視覚的に分かりやすくする。 ☆「貸して」など自分のしたいことが伝わるような簡単な言葉を分かりやすくその都度伝える。 ☆帰りの輪では、一人一人の顔を見ながら話をすることで、聞く姿勢が身に付くようにする。		○好きな遊びの中で、いつも踊っているダンスの曲などを流し、子ども達が遊んでいる途中に自由に表現できるようにする。 ○絵の具の感触が苦手な子どももいるので、少しずつ慣れるように声かけや援助を行う。	
行事	【6月】プール開き 【7月】終業式									

期案 2歳児 Ⅲ期 (9月・10月・11月・12月)

保育目標・自分で好きな遊びが見つけられるようになる。

子どもの姿・保育室以外の場所でも興味がある遊びをしてみようとする。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣 ・自分で排泄ができるようになる。(7)	・自分で衣服を脱いで、トイレで排泄をする。 ※パンツへ移行	保育者・友達との関わり ・友達に興味をもつ。(1) ・ままごと遊びや列車遊びなどは、友達と一緒に並行遊びを楽しむ。(1) ・玩具の貸し借りなどで友達と関わる。(12)	・友達の名前を呼び、認識する。 ・よく一緒に遊ぶ友達の名前を覚える。	自然環境 ・秋ならではの草花や虫に触れる。(3) ・園外の公園へ行き、いつもと違う環境に触れる。(6) ・シャボン玉を楽しむ。(2)	・落ち葉 ・エノコログサ ・オシロイバナ ・ドングリ(公園) ・バッタ ・トンボ ・シャボン玉	伝える・話す ・自分から保育者に話す。(3) ・自分の名前をみんなの前で言えるようになる。(5)	・保育者の声かけに対して、気付いたことを単語で発する。 ・朝の輪で自分の名前を言う。	音楽(歌) ・季節の歌を覚え、楽しんで歌う。(6)	・ぞうさん ・どんぐりころころ ・おおきなくりの木の下で ・いもほり ・あわてんぼうのサンタクロース
	運動 ・戸外でかけっこをする。(3) ・おにごっこをする。(4) ・階段の登り降りをする。(2) ・様々な運動遊具に取り組む。(2)	・園庭との行き帰りに走る。 ・広い園庭で目的地まで走る。 ・手すりを持って歩く。 ・三輪車 ・スクーター	他学年との関わり ・異年齢児の取り組みなどを見学に行き、異年齢児を知る。(7)	・運動会、いきっこども劇場などを見学し、異年齢児の様子を知る。	飼育・栽培 ・種から生長する様子を観察する。(5)	・冬や春に向けて、野菜や花の種を植える。	聞く・理解する ・言葉の単語や行動の言葉を覚える。(5) ・座って落ち着いて話を聞く。(4)	・保育者が活動の内容を単語で伝え、行動と言葉を認識する。	音楽(リズム) ・運動会のダンスに楽しんで取り組む。(1)	・その年の準備体操
	給食・食育 ・食べ物に興味をもつ。(5)	・食材の名前を聞くなどして、食べ物に興味をもつ。	セカンドステップ		固定遊具 ・ブランコに乗り、揺れる楽しさを味わう。(8) ・ジャングルジムに登ってみる。(8)	・ブランコ ・ジャングルジム	セカンドステップ		製作 ・折り紙や製作を通して、細かな動作を繰り返す。(7)	☆クリスマス製作 ・秋の製作(ドングリ・キノコ・紅葉)
	安全 ・避難訓練に参加する。(10) ・園外の道路を友達と手をつないで歩けるようになる。(10)	・落ち着いて避難訓練に参加する。 ・園外で安全に歩くための約束事を守りながら歩く。	地域との関わり ・園外での散歩で園周辺の環境に触れる。(13)	・園以外の場所で、植物や人に出会う。	室内環境 ・使った玩具は自分で片付けられるようになる。(7)		物語 ・話の内容を理解し、一つの作品を集中して見る。(9)	【か】くじらクン ボールぼーん 【え】ゆっくとすつく 【え】ねずみくんのチョッキ 【パ】おおきなたいこ	・のりの使い方を知る。(5) ・折り紙を知る。(5) ・絵の具スタンプを楽しむ。(1)	・のり(1cm角程) ・三角折り ・四角折り ・絵の具(タンポ・スポンジスタンプ)
	○環境 ☆援助	☆排泄時の着脱は、便器の前で行えるように援助する。 ☆男児は立って排尿できるように少しずつ勧める。 ☆避難がスムーズに行えるように、日頃から手をつないで歩く機会を作る。	○異年齢児も入って遊べる雰囲気作りをし、交流するきっかけを作る。 ☆園外の散歩時に、近隣の方に挨拶するよう声をかける。	○好きな遊びの時間に、戸外や保育室を行き来できる環境を作る。 ○保育室の近くにプランターを準備し、野菜や花の生長を見守れるようにする。 ○お弁当の日を設け、屋外で弁当を食べる機会を作る。 ☆玩具の片付けでは、片付けの時間にみんなで物の形や種類を理解できるように知らせる。	○絵本を取りやすい位置に置き、自ら広げて見ることができるようにする。 ○言葉で要求を伝える機会を増やす為、どんな遊びをしたいか言葉で伝えられるようにする。 ☆活動の内容を短文で伝える。使う物の単語もみんなで口にしてみたり、語彙が広がるようにする。	○子ども達から自発的に体をリズムに合わせてできるように、1学期に行った体操の曲を流したりして、環境作りをする。 ☆歌は、保育者の振りや絵で、歌の内容を伝え、楽しく想像しながら、歌を歌えるようにする。 ☆製作では、一人一人の道具の使い方を保育者間で把握する。その都度、使い方を伝えていくようにする。				
行事	【9月】始業式・避難訓練 【10月】避難訓練 【11月】避難訓練・こあら組運動会 【12月】避難訓練・終業式									

期案 2歳児 IV期 (1月・2月・3月)

保育目標 ・身の回りのことを自分で進んでできるようになる。
・脱いだ上着を畳めるようになる。

子どもの姿 ・進級を楽しみにするようになる。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・自分で身支度をする。(8) ・上着の畳み方を知る。(7) ・進んで排泄に行く。(7)	・保育者の声かけがなくても進んで身支度をする。 ・保育者と一緒に楽しみながら上着を畳む。 ・排泄の流れを覚え、自分ですべて行う。男児は	・友達と並行遊びを楽しむ。(7) ・玩具の貸し借りができるようになる。(12)	・ままごと遊びなど一つの遊びを、保育者を介しながら、同じ空間で友達と遊ぶ。 ・ままごと道具や列車玩具などを友達と共有して遊ぶ。	・冬や初春の花に触れる。(3) ・ひいらぎや桃の花など行事に由来する植物を知る。(6)	・サザンカ ・ウメ ・スイセン ・節分やひな祭りで使われる植物を見る。	・大きな声でみんなの前で名前を言えるようになる。(1) ・保育者や友達とやりとりを楽しめるようになる。(2)	・インタビューごっこ ・多語文が増える。	・行事の歌を歌い、当日を楽しみにする。(6) ・みんなで楽しめるわらべ歌を知る。(6)	・ゆき ・まめまき ・ひなまつり ・こんこんくしゃんのうた ・いっちくたっちく
	運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
	・動くとき体が温まることを知る。(2) ・保育者とすもうをして楽しむ。(4)	・定期的にサーキット遊びやすもうやマラソンをする。	・異年齢児と楽しく遊ぶ。(1)	・園庭へ出かけて一緒に遊ぶ。 ・進級に向けて制服の着脱を教えてもらう。	・カメの変化に気付く。(3)	・カメの観察をし、冬眠を知る。	・保育者の全体への指示を聞き、行動する。(5)	・朝の輪で、一日の流れを伝え、理解して過ごせるようになる。	・ダンスは、少し複雑な動きや速いテンポで踊ってみる。(1) ・簡単な楽器に触れる。(6)	・すず ・タン布林
	給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
	・スプーンやフォークの持ち方や、反対の手で碗や皿を持って食べることを、自分で意識しながら食べる。(9)	・食事時の正しい姿勢を自分で意識する。			・自分が好きな固定遊具で安全に遊べるようになる。(8)	・改めて、安全な固定遊具の使い方を知る。			・製作と行事を合わせて楽しむ。(2)	・たこ ・こま ☆節分製作 ☆ひなまつり製作
	安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
	・避難訓練に参加する。(10)	・自ら保育者の所へ集まり逃げる。 ・自分でダンゴムシポーズをしたり、防災頭巾を被れるようになったりする。			・運動遊具に自信をもって取り組む。(8)	・ウェーブバランス ・トランポリン ・ミニ太鼓橋 ・鉄棒 ・トンネル	・物語の絵本を集中して見る。(9) ・読んで欲しい絵本を先生に伝えられるようになる。(3)	【か】赤ずきんちゃん 【え】おおかみと七匹のこやぎ 【え】三匹のやぎのがらがらどん 【バ】くいしんぼおばけ	・のりを丁寧に貼れるようになる。(5) ・はさみの使い方を知り、ゆっくりと切る。 ・セロテープの使い方を知る。	・のり ・はさみ ・セロテープ台
○環境 ☆援助	○戸外へ遊びに行く際は、上着を着るように声をかけたり、空調管理をし、一人一人の体調に心掛ける。 ☆手洗い・うがいの声かけをこまめに行う。 ☆保育者が室内と戸外で連携し、人数確認をこまめに行い、子ども達が安全に遊べるように見守る。 ☆身支度の状況を保育者間で情報共有し、進級に向けて、個別に必要なことを丁寧に伝えていく。		○友達との関わりができるように、グループやペアを作る。 ☆触れ合い遊びなど子ども同士でする機会を作り、友達と触れ合えるようにする。 ☆友達とのやりとりの中で、保育者が仲介し、互いの気持ちを伝え合う。		○冬の花を身近に感じられるように、靴箱の上などに飾っておく。 ☆天候に合わせて、すぐに遊具を取り出せるように準備しておく。 ☆雪が降った日は、雪や氷に触れられるようにする。		○活動の合間の待ち時間など絵本を見る時間を設けて、普段絵本を手にとらない子どもも絵本を手にとれるような工夫をする。 ☆子どもの好きな絵本を聞き、子どもが好きな絵本をみんなで見ることで興味を深める。 ☆保育者と一緒に、友達と会話をする楽しさや、一緒に遊ぶ中でやりとりをする楽しさを味わう。		○歌の内容が分かるような絵を見せるなどして、歌のイメージを想像できるようにする。 ☆今まで歌ってきた中で、子ども達に歌いたい歌を聞き、好きな歌を楽しんで歌う。 ☆製作では、普段からのりやはさみを使えるような環境を整えて、日常でものりやはさみを使えるようにする。	
行事	【1月】始業式・避難訓練 【2月】避難訓練・まめまき・お楽しみ参観 【3月】終業式									

期案
年少(3歳児) I 期(4月・5月)

保育目標 ・クラスの保育者を覚え、新しい友達と親しみ、楽しく登園する。
・自分のマークを覚え、持ち物を置く場所を知る。
・園生活の流れを覚え、身の回りのことを自分でできるようになる。
・元気に挨拶をする。

子どもの姿 ・新しい環境への期待や不安をもっている。
・園生活の仕方や決まりを知っていく。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・排泄の流れを覚える。(8) ・制服や体操服の畳み方を知り、自分でしてみようとする。(7)	・排泄に行く時の上靴の置き場所、並び方、手の洗い方を知る。 ・並ぶ時は「電車つながり」で並ぶ。	・保育者やクラスの名前を覚える。(1) ・友達の名前を知る。(1)	・友達存在に気付く。	・園内の植物に興味をもつ。(1)	・タンポポ ・チューリップ ・チョウ ・テントウム虫 ・ダンゴムシ	・保育者に元気に挨拶をする。(6)	・朝の挨拶の時間にみんなであいさつをし、挨拶を覚える。	・朝の歌を覚える。(1)	・朝の歌
	運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
	・保育者と一緒に戸外に出て遊ぶ。(3)	・クラス全員で、戸外で遊ぶ。	・身支度を手伝ってもらうことを通して年長・年中児と関わりをもつ。(7)		・園内には色々な虫や飼育動物がいることを知る。(5)	・ウサギ ・カメ	・保育者の話を聞こうとする。(4) ・名前を呼ばれたら返事をする。(5)		・表現遊びに進んで参加しようとする。(6)	・チューリップ ・こいのぼり
	給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
	・給食があることを知る。(5) ・食前食後の挨拶ができるようになる。(5)	・コップ・スプーン・フォークは園のものを使用する。			・固定遊具の使い方を知る。(8)	・保育者と一緒に遊びながら、安全な使い方を知る。			・色の名前を知る。(2) ・お母さん・お父さんのことを考えながら、丁寧にプレゼントを作る。(3)	☆こどもの日製作 ☆家族へのプレゼント(マグネット) ☆梅雨製作 ・好きな絵
	安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
	・避難訓練について知り、避難の仕方を体験する。(10)	・上靴のまま逃げる。			・自分のマークを覚え、所定の場所に自分で片付けようとする。(11) ・降園方法を知る。(11)	・バス降園の際の待機の場所や方法を知り、覚える。	・絵本や紙芝居を座って見る。(9) 【か】おおきくおおきくおおきくあれ 【か】ごきげんのわるいコックさん 【え】はらぺこあおむし 【え】おべんとうなあにかな	・クレヨンの使い方を知る。(7) ・粘土の使い方を知る。(7) ・のりの使い方を知る。(7)	・クレヨン ・粘土 ・のり(2cm角・5～10枚)	
○環境 ☆援助	【9月】始業式・避難訓練・プール納会・誕生会 【10月】教育実習・運動会・園外保育・運動能力測定・避難訓練・誕生会・おすもうさんとの交流会		○気の合いそうな子を同じグループにし、交流がもてるようにする。 ☆子どもの名前を呼ぶようにし、友達の名前を知らせていく。 ☆一人一人に笑顔で声をかけ、手をつなぐなどのスキンシップをとる。 ☆家庭との連絡を密にとり、園生活での様子を知らせることで、保護者との信頼関係を築く。		○所持品などは自分で片付けしやすく、マークを付けて分かりやすくし、高さなどの位置にも考慮する。 ☆おたより帳のページをカラーコピーして黒板に貼り、自分でシールを貼れるように準備する。 ☆戸外に誘ったり、一緒に出たりして、安心して遊べるようにする。 ☆固定遊具の使い方は一斉保育で伝える。		☆話したいという気持ちを十分に満たすことができるようにする。 ☆保育者に話したいことの意味を汲み取るようにしっかりと耳を傾ける。		○子どもが親しんでいる歌を選曲し、楽しめるようにする。 ○製作物では、作業が少ないものや、短時間でできるものを用意する。 ☆リズム遊びや体操は自然に参加できるように、保育者が楽しんで体を動かしながら伝える。 ☆のり・粘土へら・はさみは、安全に考慮して保育者が保管しておく。	
	行事									
	【4月】入園式・個人懇談・おやつ給食・誕生会 【5月】避難訓練・歓迎遠足・創立記念日・誕生会・歯科検診・ミックスジュース(縦割り保育)									

期案 年少(3歳児)Ⅱ期(6月・7月・8月)

- 保育目標
- ・自分で着替えられるようになる。
 - ・友達と玩具などの貸し借りができるようになる。また、協力して片付ける。
 - ・給食当番の流れを知り、自分で三角巾・マスクを着けられるようになる。
 - ・食後の歯磨きの仕方を知る。

- 子どもの姿
- ・保育者と一緒に行動する中で、徐々にまわりへの興味を示し、友達を意識するようになる。
 - ・外遊びが多くなり、開放感を味わって遊ぶ姿が見られる。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣 ・プールでの着替え方を覚える。(8) ・自分から水分補給をしたり、汗を拭いたりしようとする。(6) ・裸足での遊び方を知る。(3)	・着替えの手順を覚え、自分で着替えるようになる。	保育者・友達との関わり ・教育実習生を知り、一緒に遊びを楽しむ。(13) ・隣のクラスの友達を知り、楽しみながら一緒に活動する。(5)	・教育実習生の名前を覚え、一緒に遊ぶことで、親しみをもって接することができるようになる。	自然環境 ・水を使って遊ぶ。(4) ・シャボン玉の膨らむ様子や飛び方に興味をもつ。(1) ・身近な虫に興味をもつ。(5)	・泥団子を作ったり、砂場で山を作って遊ぶ。 ・シャボン玉 ・ダンゴムシ ・ミミズ ・アリ	伝える・話す ・したいことや困ったことなどを言葉で伝える。(3)	・短冊へのお願い事を保育者に伝える。	音楽(歌) ・保護者参観の歌を喜んで歌う。(6)	・きゃべつのなかから ・たなばたさま ・しあわせならてをたたこう
	運動 ・すもうのルールを知り楽しむ。(4)	・すもうの約束事を知り、保育者を強く押そうとする。	他学年との関わり ・ミックスジュース(縦割り保育)のクラスでも楽しく過ごせるようになる。(7)	・お相手に優しくしてもらうことで、ミックスジュースのクラスでも安心して過ごす。	飼育・栽培 ・植物の栽培をする。(5)	・トマト、キュウリ・オクラの苗を植える。	聞く・理解する ・保育者の顔を見て話を聞こうとする。(4)	・前で先生が話し始めたら、静かにして話を聞こうとする。	音楽(リズム) ・よいまつりの歌や踊りを人前でものびのびと表現しようとする。(1)	・なつまつり(盆踊り)
	給食・食育 ・給食当番の流れを知る。(8)	・保育者と一緒に給食室にワゴンを取りに行く。 ・配膳する。(おぼんから)	セカンドステップ ・よく聞く ・気持ちを向ける ・自分に話す ・自分にして欲しいことを頼む	・新しい友達を迎える ・よく聞く ・気持ちを向ける	固定遊具 ・園庭にある様々な遊具に触れる。(8) ・ブランコの安全な使い方を知る。(8) ・鉄棒の仕方を知る。(8)	・ジャングルジム ・すべり台 ・ブランコ ・ぶら下がる	セカンドステップ ・よく聞く ・気持ちを向ける ・自分に話す ・自分にして欲しいことを頼む	・新しい友達を迎える ・よく聞く ・気持ちを向ける	製作 ・絵の具を使って指スタンプをし、絵の具の感触を楽しむ。(1) ・スライムを作りその感触を楽しむ。(1) ・フィンガーペインティングをして絵の具遊びを楽しむ。(1)	☆保護者参観製作 ☆夏まつり製作 ☆夏まつり掲示 ☆七夕製作 ☆スライム
	安全 ・プールでの約束事を知る。(10)	・プールに入る前には体操をし、保育者の話をしっかり聞く。	地域との関わり		室内環境 ・おたより帳のシールを貼る場所を自分で確認して貼る。(9) ・掃除の時間にゴミ拾いを行う。(7)		物語 ・保育者の話を座って聞く。(9)	・紙芝居や絵本の時間は座って落ち着いて見る。 【え】ぐるんぱのようちえん 【え】こぐまちゃんのみずあそび 【え】ぞうくんのさんぽ	製作道具・材料 ・粘土をものに見立てて遊ぶ。(4) ・はさみで画用紙の一回切りをする。(7)	・粘土 ・はさみ(1回切り) ・ペン
	○環境 ☆援助	○怪我を防ぐために、遊具の設置場所や内容を考慮する。 ○裸足で戸外へ出る機会を設ける。 ☆保育者も遊びに加わったり、一緒になりきって遊んだりして、共感もちやすいようにする。 ☆水分補給の声かけをこまめに行う。	☆友達と気持ちが通じない時は、保育者が仲介に入り、相手の気持ちを伝えるようにする。 ☆くじ引きでグループ替えをして、たくさんの友達と関わりがもてるようにする。 ☆初めての教育実習生に安心感を抱けるように、子どもの状況に合わせて、援助する。	○天候や気温に合わせて、室内外で様々な遊びができるように準備する。 ○水遊びやプール遊びの用具・玩具を準備し、気温に合わせて活動できるようにする。 ○タオル・足ふきマットなどは、清潔なものを多めに用意しておく。	○読みたい絵本を取り出して見ることができるような環境作りする。 ○保育者の簡単な素話や絵本の読み聞かせを通して、言葉への関心を広め、童話などのおもしろさが伝わるようにする。	○製作する時の紙の大きさや形は、活動内容や使いやすさを考慮する。 ○粘土・スライムなど、汚れを気にせずのびのびと表現する楽しさを伝える。				
行事	【6月】教育実習・ファミリーデー・プール開き・誕生会・避難訓練 【7月】クラス懇談・誕生会(7月8月)・避難訓練・終業式									

期案 Ⅲ期(9月・10月)

保育目標 ・園生活のリズムを思い出し、自分のことは自分でする。
・友達と一緒に走る・踊る・体を動かす楽しさを味わい、運動会に意欲的に臨む。
・思いぎり体を動かす楽しさを感じながら、元気いっぱい取り組む。
・自分一人で着替えに集中して取り組む。

子どもの姿 ・夏休み明けは、戸惑いが見られるが園生活のペースを取り戻していく。
・体を動かすことが好きになり、遊びが活発になってくる。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・園生活のリズムを思い出し、自分のことは自分です。(7)	・冬服の着脱の仕方を身に付ける。	・友達との関わり合いを楽しみながら、いろいろな遊びを経験する。(10)	・特定の友達と遊ぶようになり、誘う姿も見られるようになる。	・秋の自然に興味をもつ。(3) ・いろいろな虫を見て、虫への興味・関心を広げる。(5) ・秋に咲いた花やその香りに気付く。(1)	・トンボ ・バッタ ・カマキリ ・ミミズ ・ダンゴムシ ・キンモクセイ	・夏休み中のことや、家族と一緒に見たり体験したりしたことを、保育者や友達に話す。(2)	・保育者に援助してもらいながら、二語文程度で伝える。	・季節を感じながら楽しんで歌う。(6)	・とんぼのめがね ・どんぐりころころ
	運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
	・運動会があることや種目について知る。(4) ・運動遊具の使い方を知り、遊ぶ。(2) ・すもうで相手を押せるようになる。(4) ・運動能力測定に参加する。(2)	・かけっこ(直線20メートル) ・太鼓橋 ・すもう	・運動会を通して、年中・年長の活動に興味をもつ。(4)				・遊びを楽しむ中で、相手の話も聞こうとする。(4)		・リズムに合わせて体を動かす。(6)	・アブラハムの子 ・バスにのって ・運動会のダンス
	給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
	・給食の挨拶をする。(5) ・しっかりと茶碗や皿を持って食べる。(5) ・箸とコップの準備の仕方を知り、自分で準備できるようになる。(7)	・作ってくれた人への感謝の気持ちをもって心を込めて挨拶をする。	・よく聞く ・気持ちを向ける ・自分に話す ・自分にして欲しいことを頼む。	・自分に話す ・言葉の通りにする ・自分にして欲しいことを頼む	・鉄棒に進んで取り組む。(8) ・太鼓橋に取り組む。(8)	・ぶら下がる ・ぶたのまるやき ・太鼓橋	・よく聞く ・気持ちを向ける ・自分に話す ・自分にして欲しいことを頼む	・自分に話す ・言葉の通りにする ・自分にして欲しいことを頼む	・折り紙でイメージしたものを完成させる楽しさを味わう。(4)	☆運動会の壁面製作 ・折り紙「いぬ」 ・折り紙「どんぐり」 ・静物画(見て描く)
	安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
	・避難訓練での約束事が身に付く。(10) ・防災頭巾の被り方や地震の際の身の守り方が身に付く。(10)	・「お・は・し・も・よ」の内容を理解し覚える。	・園外保育では、出会った方に挨拶する。また、公共の場でのマナーを知る。(13)		・運動会の種目の練習をする。(8) ・掃除の時間に雑巾がけを行う。(7)	・ウェーブバランス	・絵本の借り方、返し方を知る。(5) ・長い時間集中して見ることができるようになる。(9)	【え】ぐりとぐらのえんそく 【え】うんどうかいがはじまった	・はさみをよく動かして紙を切る。(5) ・手先をしっかりと動かし、のりを塗る。(7) ・のりを紙の周りだけ塗って貼り付ける。(7)	・はさみ ・のり ※作品名ラベル貼りスタート
○環境 ☆援助	○好きな遊びと課題遊びを柔軟に組み合わせていく。 ○「お・は・し・も・よ」の約束事を視覚的に分かるように準備する。 ☆保育者も戸外に出て、走ったり踊ったりして、一緒に運動することの楽しさを味わう。		○友達と遊ぶことが楽しいと感じられるように、保育者も仲間に入って関わりをもてるようにする。 ○運動会などの特別保育活動に向けて、集団での活動に興味をもてるようにする。 ☆遊んでいる中で、けんかなどが起きた時は、しばらく見守り、状況を把握した上で、保育者が仲介に入る。 ☆夏休み明けで、園生活のリズムが戻りにくい子もいるため、焦らずじっくり関わるようにする。		○採取した自然物を部屋に飾るなどして、秋の自然物への興味が持続できるようにする。 ☆動物園で見た動物の特徴に気付けるようにする。 ☆採取したものの形・量・大きさなどの違いに気付けるような声かけをする。		○図書貸し出しカードを準備する。 ○絵本・紙芝居や歌を通して、季節を感じられるようにする。 ☆小さなトラブルでも、それぞれの思いを受け止めてお互いの気持ちを代弁し、納得できるようにする。 ☆まず相手の言葉をしっかりと聞いて、自分も話すように助言する。		☆のり・はさみ・粘土への使い方を伝えて、子ども達が管理できるようにする。 ☆運動会のダンスは子ども達の状況に合わせて無理のないように取り組む。 ☆はさみは、状況を見て個人指導を行う。	
行事	【9月】始業式・避難訓練・プール納会・誕生会 【10月】教育実習・運動会・園外保育・運動能力測定・避難訓練・誕生会・おすもうさんとの交流会									

期案 IV期(11月・12月)

保育目標 ・異年齢児と一緒に遊んだり、関わったりする中で、年長・年中児の真似をしてみようという気持ちを
持つ。
・保育者や友達に、自分の気持ちを言葉で伝えることができるようになる。
・合奏やダンスなど表現遊びを楽しみ、いきっこども劇場でものびのび行う。

子どもの姿 ・友達と一緒に行動する中で、できないことでもしてみようとする。
・年中・年長児の活動や遊びに憧れをもち、真似て自分なりにやってみようとする姿が見られる。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・冬の生活習慣(手洗い・うがい・衣服の着脱)を自分で判断してできるようになる。(9)	・手洗い・うがいの仕方を知る。 ・上着の片付け方を知る。	・いきっこども劇場を通して、同学年の関わりを深める。(8) ・友達と一緒に遊びを楽しむ、関わりを深める。(10)	・いきっこども劇場を学年合同で行う。 ・ルールのある遊びを楽しむ。	・落ち葉、木の実に興味を示し、それを取り入れて遊ぶ。(4)	・落ち葉 ・イチヨウ ・ドングリ(公園)	・してほしいこと、してほしくないことを先生や友達に文章で伝えようとする。(3) ・グループ名決めて自分の考えを言えるようになる。(4)	・「やめて」を自分で言うようになる。	・口を大きく開け、丁寧に歌う。(8)	・まつぼっくり ・やきいもグーチャーパー ・赤鼻のトナカイ ・あしたもともだち
	運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
	・思い切り体を動かすと、体が温まるを感じる。(6) ・いろいろな運動や遊びの仕方を知り、運動経験を広げる。(2)	・リズムジャンプ ・大縄(跳び超える・へび) ・しっぽとり ・横転 ・トランポリン	・異年齢児と一緒に活動することを楽しむ。(5) ・縦割り保育の中で積極的に活動に参加する。(7)	・ミックスジュース(縦割り保育)を通して、年中・年長児との関わりを深める。 ・年中児との散歩	・ウサギに餌をあげようとする。(5)	・大根葉やキャベツなど、ウサギが好む葉を探してあげてみる。	・指示を聞いて、行動に移せるようになる。(5)	・ダンスの練習などを通して、言われた動きをしようとする。	・身近なものになりきって、体で表現することを楽しむ。(8)	・いきっこども劇場で、楽器やダンスなどに興味を持って取り組む。
	給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
	・自分でトレイを近付けて、姿勢を正しくして食べることができるようになる。(5)	・椅子を机に近付けて食べる。 ・当番は汁物も運べるようになる。	・自分や相手の気持ちが分かる ・相手の立場に立つ ・優しいことを言う	・気持ちが分かるⅠ ・気持ちが分かるⅡ ・怒りが分かる	・太鼓橋を渡り切る。(8)	・太鼓橋では、方向転換の仕方を身に付ける。	・自分や相手の気持ちが分かる ・相手の立場に立つ ・優しいことを言う	・気持ちが分かるⅠ ・気持ちが分かるⅡ ・怒りが分かる	・季節の自然を取り入れ、季節を感じながら製作に取り組む。(5)	・折り紙「みのむし」 ☆クリスマス製作
	安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
	・交通ルールがあることを知り、歩きながら意識できるようになる。(10)	・交通安全教室で交通ルールを確認する。 ・散歩で道の歩き方を確認する。	・地域の方に挨拶をする。(13) ・園に来られた保護者の方に進んで挨拶する。(2)	・散歩で出会った地域の方に挨拶する。 ・保育参観で来られた保護者の方に挨拶をする。	・自分のものやクラスのもの大切にすることを込めて掃除に取り組む。(7)	・道具箱整理の流れを覚え、自分で取り組めるようになる。	・絵本や紙芝居などをみんなで楽しみ、好きな登場人物になりきって遊ぶ。(8)	【え】てぶくろ 【え】おおかみと7ひきのこやぎ 【か】おなべことこと	・のりの分量を考えて貼ることができるようになる。(5) ・はさみで長い直線を切れるようになる。(5)	・のり ・連続直線切り
○環境 ☆援助	○手洗いの仕方が視覚的にも分かるように環境を整える。 ○寒くても戸外で遊びたいくなるように、体を動かす遊びを提案したり、遊びが広がる環境を整える。 ☆簡単な集団遊びのルールを伝え、一緒に遊びながら理解できるように援助する。		○友達の遊び方や、年長・年中児の活動をきっかけに遊びが発展するように、遊び場を広げたり、新たに設けたりする。 ☆遊びに入れない子には、保育者が遊びに誘い、みんなで遊ぶ楽しさを味わえるようにする。		○季節の移り変わりに気付くように、散歩の機会を増やす。 ○落ち葉や木の実を使った遊びに気付けるように、材料・用具を準備しておく。 ☆太鼓橋や鉄棒にクラスで取り組み、興味をもてるようにする。 ☆自然の変化や気温の変化を話題にすることで、季節の変化を感じられるようにする。		○季節の絵本や紙芝居が見える場所に置いておき、子どもが進んで触れる機会を設ける。 ☆お話の世界を楽しめるような読み聞かせを行い、イメージを膨らませることができるようにする。 ☆遊んでいる中でけんかなどが起きた時は、子ども同士伝えられない気持ちを言葉で補いながら、少しでも子ども自身が伝えられるように援助する。		○子ども達が踊ったり歌ったりできる曲を、遊びの時間に流しておく。 ☆子どもと一緒に表現活動を行い、意欲を持って取り組めるようにする。 ☆一人一人の表現を認め、表現することの意欲を高められるようにする。	
行事	【11月】・避難訓練・誕生会 【12月】いきっこども劇場・避難訓練・誕生会・終業式									

期案 V期(1月・2月・3月)

保育目標 ・いっきこマラソンでは、長い距離を最後まで歩かないで走れるように、根気強く日頃から園庭を走る。
・毎日、走ることで体が温まることを感じる。
・違うクラスの友達と進んで一緒に遊ぶ。
・年中組になることを自覚し、自分のことは自分でする。
・クラスのみんなで遊ぶことを思いきり楽しむ。

子どもの姿 ・寒さのため、排泄を失敗することが多くなる。
・身の回りのことがだいたい自分でできるようになり、安定した園生活を送れるようになってくる。
・クラスのまとまりが出てきて、みんなでいることに満足する姿が見られるようになる。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現		
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	
	基本的生活習慣	・進級することを知り、今までにできるようになったことを振り返りながら、身支度に丁寧に取り組む。(8) ・使ったものはその都度片付ける。(8)	・服の畳み方、物の片付け方をもう一度確認する。 ・制服の1番上のボタンも自分で留められるようになる。	・保育者・友達との関わり ・自分のクラスの保育者や友達に安心感を抱き、できなかったことにでも自分から取り組む。(3)	・自分のしたいことを周りに伝え、先生に教えてもらったり、友達と教え合ったりしながらできなかったことに取り組む。 ・気温の変化や春の花に気付くことで、春の訪れを感じる。(3)	・霜柱・雪・氷など冬の自然に触れて遊ぶ。(4) ・気温の変化や春の花に気付くことで、春の訪れを感じる。(3)	・霜柱 ・雪 ・氷 ・ウメ ・スイセン ・アンズ ・キンカン	・伝える・話す ・年始の挨拶を元気にする。(6) ・みんなの前で経験したことを話す。(2)	・新年のあいさつを知り、言ってみる。 ・嬉しかったことや楽しかったことを友達や保育者に自分から話そうとする。	・音楽(歌) ・みんなで声を合わせて歌えるようになる。(3) ・あぶくたった ・たきび ・はないちもんめ ・コンコンクシヤンのうた ・めだかのがっこう ・ちいさなにわ ・よいこのうた(園歌) ・卒園の歌	
	運動	・マラソンがあることを知る。(2) ・寒くても、自分から戸外で遊ぶ。(3)	・マラソン(公園1周)	・他学年との関わり ・年長・年中児への憧れの気持ちをもつ。(4) ・卒園する年長児へ感謝の気持ちをもつ。(5)	・縦割りの活動を通して、感謝の気持ちを込めてプレゼントを作ったり、練習に取り組んだりする。	・飼育・栽培		・聞く・理解する ・保育者や友達の話を感じて聞く。(1)	・自分の話ばかりせずに、保育者や友達の話も落ち着いて聞けるようになる。	・音楽(リズム) ・タンバリンや鈴を簡単なリズムに合わせて鳴らせるようになる。(6)	・曲に合わせて、みんなと同じリズムで楽器を鳴らす。
	給食・食育	・口の中に適量を入れ、よく噛んで食べる。(6) ・最後の一粒まで大切に食べる。(5) ・クラスの友達と楽しく給食をいただく。(5)	・箸を使って最後の一粒までつまめるようになる。 ・自分で食器がきれいになったか確認できるようになる。	・セカンドステップ ・自分や相手の気持ちが分かる ・相手の立場に立つ ・優しいことを言う	・同じ気持ち・違う気持ち ・うっかり ・優しいことを言う・助ける	・固定遊具 ・登り棒に取り組む。(8) ・鉄棒に跳び乗れるようになる。(8)	・登り棒 ・室内用鉄棒	・セカンドステップ ・自分や相手の気持ちが分かる ・相手の立場に立つ ・優しいことを言う	・同じ気持ち・違う気持ち ・うっかり ・優しいことを言う・助ける	・製作 ・日本の伝統的な行事にちなんだ製作に取り組み、当日を楽しみにする。(2) ・紙粘土の感触や絵の具を混ぜる楽しさを味わいながら、製作する。(4)	・☆たこ ・☆節分製作 ・☆思い出バック ・☆ひな祭り製作 ・☆思い出製作(紙粘土) ・☆卒園児プレゼント ・☆思い出の絵
	安全	・車に気を付けて、道の端を意識して歩けるようになる。(10)	・自分の目で見ながら、壁際に避けるようになる。	・地域の方に挨拶したり、感謝の気持ちを伝えたりする。(13)	・マラソンでは、公園で出会う地域の方に自分から挨拶できるようになる。	・室内環境 ・日本の伝統的な行事や遊びを知り、楽しむ。(6)	・お正月遊びを通して、日本の伝統的な遊びを知り、楽しむ。(福笑い・だるま落とし・手回しこま・かるたなど) ・まめまきやひな祭りの由来について知る。	・色々な物語に触れ、好きなお話を見つける。(9)	・図書貸し出しなどで自分の好きな絵本や紙芝居を選び、読んでもらう。 【え】ねずみのおいしさ ま 【え】おひなさま 【え】おおきくなるっていうことは	・製作道具・材料 ・大きなものでも集中してのりを塗ることができる。(5) ・紙粘土に絵の具を混ぜ込む。(7) ・根気よく紙粘土製作をする。(5)	・紙粘土 ・絵の具
○環境 ☆援助	○暖かいひだまりなどに、玩具を出したり、線を引いたりして、戸外に出て遊びやすいようにする。 ☆箸の使い方を一人一人に伝えたり、食べ終えた食器を自分で確認するように声かけをする。		○進級を考え、積極的に年中児の遊び場へ誘導したり、交流の機会を作っていく。 ○進級に向けて隣のクラスの子との関わりをもてるように、学年での合同保育の時間を設ける。 ☆進級に向けて、友達関係をしっかりと把握しておく。		○お正月遊びを保育室に準備しておく。また、片付けやすいように容器などを工夫する。 ☆霜・雪など、冬の自然現象に触れる機会を設ける。 ☆春の花が咲いていることや、香りに気付けるように声かけを行う。		○冬休みの話など、クラスの前で話す機会を設ける。 ☆一人一人の子どもと十分に会話を交わし、成長を認めながら自信をもてるようにする。 ☆子ども達が発表する時には、他の子どもにも分かるように言葉を補う・説明するなどの援助をする。		○好きな遊びの時間にもタンバリンや鈴に触れられるように、玩具の棚に置いておく。 ○思い思いに絵を描いたり、好きなものを作ったりして遊べる製作コーナーを設ける。 ☆いろいろな道具の使い方を伝え、安全に使えるように配慮する。		
行事	【1月】始業式・交通安全教室・避難訓練・誕生会・お正月遊びの日 【2月】まめまき・避難訓練・いきっこマラソン・誕生会・お別れパーティー 【3月】避難訓練・誕生会・卒園式・終業式										

期案
年中(4歳児) I 期(4月・5月)

保育目標 ・保育者や友達と一緒に活動しながら、新しいクラスに親しみをもつ。
・自分から進んで、保育者や友達に挨拶する。
・園内にある身近な自然や動植物に興味をもち、春の息吹を感じる。
・自分の持ち物や使った玩具などをきれいに片付ける。

子どもの姿 ・新しい環境への不安があるが、保育者に親しみをもち、一緒に遊ぶことで安定してくる。
・友達が遊ぶのを見たり、真似したりしながら好きな遊びを見つけていく。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・衣服の着脱、身支度などを自分でする。(7)	・衣服を畳んで、自分で袋に入れられるようになる。	・新しいクラスの保育者や友達との関わりの中で、好きな遊びを見つけ、安心して過ごす。(1)	・好きな遊びを見つけたり、友達と活動をしたりして、一緒に過ごすことを楽しむ。	・春の自然に触れ、園内の様々な場所の生き物や植物に関心をもつ。(3)	・チューリップ ・サクラ ・シロツメクサ ・チョウ ・スズメ ・ツバメ	・日常生活や遊びに必要な言葉の使い方に気付く。(5) ・挨拶を自分から進んでする。(6)	・日常生活で使う挨拶や、「貸して」など遊びの中で様々な言葉を使うことで、話すことを楽しむ。 ・保育者や友達の顔を見て挨拶をする。	・みんなで歌うことを楽しむ。(6)	・チューリップ ・あくしゅでこんにちは ・こいのぼり ・おちゃらか
	運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
	・進んで戸外で遊び、体を動かすことを楽しむ。(3)	・固定遊具に挑戦する。 ・いろいろな運動を体験し、体の使い方を知る。 ・グーパージャンプ ・大縄(ゆうびんやさん10回)	・ミックスジュース(縦割り保育)で他学年にどんな友達がいるのかを知る。(7)	・他学年の友達の様子や、取り組みの様子に目を向ける。	・春の花を知り、水やりなどの世話を進んでする。(5)	・水やりなどの世話をすることで、植物の生長を知る。	・保育者の話を親しみをもって聞く。(4)	・保育者の方を見て、落ち着いて話を聞く。また話を聞くことで共感したり、気持ちを共有したりする。	・曲に合わせて体を動かすことを楽しみ、のびのびと表現する。(4)	・曲に合わせて踊ることを楽しむ。
	給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
	・新しいクラスのみなどと楽しく給食をいただく。(5)	・新しいクラスの新しいグループの友達と一緒に給食を食べることを楽しむ。			・ブランコ・すべり台を通して、自分から進んで遊ぶことを楽しむ。(8) ・好きな遊びの時間に鉄棒に取り組む。(8)	・自分でこいだり、滑ることを楽しむ。 ・足抜き ・尻あがり			・自由に作ったり、描いたりすることを楽しむ。(4)	☆こどもの日製作 ☆家族へのプレゼント(キーホルダー) ☆梅雨製作
	安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
	・身近な物や遊具に興味をもち、安全な遊び方を知る。(10)	・固定遊具(ブランコ、すべり台)の使い方を再確認する。 ・順番を守って遊ぶ。	・周囲にどんな公園があるのか知る。(13)	・近所への散歩を通して、どんな公園や施設があるのか知る。	・保育室内の玩具を使い、イメージして遊ぶことを楽しむ。(8) ・新しいマークシールを知り、自分の場所を把握する。(11)	・新しい保育室の玩具の遊び方・使い方を知る。また玩具を使って楽しく遊ぶ。 ・自然変化の中で、子どものつぶやきや発見を大切にし、発見した喜びを味わえるようにする。	・絵本の内容をじっくり見る。(9)	【え】そらいろのたね 【え】そらまめくんのベッド 【え】ぐりとぐら	・はさみやのり、セロハンテープなどに興味をもち、遊びに取り入れる。(5) ・必要なのりの分量を知る。(5)	・はさみ ・のり ・セロハンテープ
○環境 ☆援助	○園生活のきまりなどをクラス全員で共有できる場を設けたり、視覚的に見える掲示物を用意したりする。 ○遊具(ブランコ、すべり台など)の安全確認をしておく。 ☆自分で行ったり言ったりしたことに自信をもてるように、認めたり励ましたりする。		○保育者との関わりを通して、安心できるようにし、大きな環境の変化の中でも安心して過ごせるようにする。 ☆友達関係や園での遊びや活動の様子を把握し、家庭との連携を密にとる。		○戸外遊びに必要な道具(砂場セットなど)を準備しておく。 ○マークシールをロッカーなどに貼り、自分の場所が分かるようにする。 ○触れると危険な生き物がいることを伝える。(ケムシ・ハチなど) ○生き物を触った後は、手洗いをすることが身に付くように伝えていく。 ☆自然変化の中で、子どものつぶやきや発見を大切にし、発見した喜びを味わえるようにする。		○覚えた言葉を話す場を作り、発言することの楽しさを味わえるようにする。 ☆相手の話をしっかりと聞いて自分の発言をするように助言し、最後まで話を聞くことができるようにする。		○様々な種類の紙やテープなどの素材を準備し、自由に使える場を設ける。 ☆歌や手遊びは、いろいろなテンポやリズムですること、曲に興味をもつことができるようにする。 ☆一緒に歌を歌うことや、手遊びをすることで歌う楽しさを味わえるようにする。	
行事	【4月】始業式・入園式・家庭訪問・おやつ給食・誕生会 【5月】運動能力測定・避難訓練・歓迎遠足・創立記念日・誕生会・歯科検診・ミックスジュース(縦割り保育)									

期案Ⅱ期(6月・7月・8月)

保育目標・話をしている人の方を向いて、静かに最後まで聞く。
・プールの身支度の仕方を覚え、水遊びを思い切り楽しむ。
・汗をかいた時は拭いたり、喉が渴いた時はお茶を飲んだりし、自分で考えて行動する。

子どもの姿・友達と一緒に、遊びや活動を進める楽しさを知る。
・泥遊びや水遊びなど、体全体で触れ、楽しむことができる遊びに興味をもつ。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・気候に合わせて体調管理に気を付ける。(9)	・衣服の調整や水分補給の大切さが分かり、自分で行う。	・友達がしている遊びに興味をもち、同じ遊びを楽しむ。(7)	・自分のしたい遊びにじっくり取り組んだり、保育者や友達と関わって好きな遊びを楽しんだりする。	・植物を見つけたり、虫を捕まえたりして、夏の自然に興味をもつ。(4) ・土や水の感触に触れる。(裸足で遊ぶ・水遊び・泥遊びなど)(1)	・アジサイ ・ダンゴムシ ・カタツムリ ・ナメクジ ・セミ ・土 ・水 ・泥	・思っていることや困っていること、してほしいことなどを言葉で伝える。(3)	・「貸して」「入れて」など、遊びに必要な言葉を使う。	・声と心を合わせて歌うことを知る。(3) ・手合せ遊びなど二人で行う手遊びに触れる。(1)	・シャボン玉 ・あめふりくまのこ ・きらきらぼし ・たなばたさま ・おちゃらかほい
	運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
	・いろいろな遊具や遊びに興味をもち、挑戦する。(2) ・水遊びを通して気持ちよさを味わう。(4)	・ケイドロ ・水遊びでのルールや身支度の仕方を知る。	・登降園時や好きな遊びの時間に、いろいろな友達と遊ぶことを楽しむ。(5)	・登降園のコースが同じ他学年の子と仲良くなり、好きな遊びの時間にも遊ぶようになる。	・自然の植物を触ったり、観察したりして楽しく遊ぶ。(2)	・花びらでの色水遊びや、観察して植物の生長に興味をもつ。 ・サツマイモ ・ヒマワリ	・保育者や友達の話最後まで聞く。(4)	・保育者や友達は何を話そうとしているのか、相手の様子や表情に関心をもつ。	・盆踊りの曲に合わせて体を大きく動かすことを楽しむ(2)	・なつまつりでは異年齢の友達と盆踊りを楽しみ、のびのびと踊る。
	給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
	・こぼさないように気を付けて食べる。(7) ・歯磨きの際、動き回らないように気を付ける。(10)	・体を机に近付けて、皿に手を添えて食べる。	・我慢できない気持ちが分かる ・自分の我慢できない気持ちが分かる ・我慢できない気持ちを落ちつける	・身体で気持ちが分かる ・我慢できない気持ち	・太鼓橋・登り棒を通して、自分から進んで遊ぶことを楽しむ。(8) ・鉄棒の前回り降りの練習に励む。(8)	・落ちないように体全体でバランスをとったり、手や足を上手に使って登ったりする。	・我慢できない気持ちが分かる ・自分の我慢できない気持ちが分かる ・我慢できない気持ちを落ちつける	・身体で気持ちが分かる ・我慢できない気持ち	・七夕に興味をもち、由来を知る。(2) ・なつまつりに関する活動を通して、当日に期待をもつ。(2)	☆なつまつり (おみせやさん製作) ☆七夕製作 ☆スライム
	安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
	・避難訓練を通して、災害時の避難の仕方を知る。(10)	・避難経路、避難方法の確認をする。	・周囲にどんな公園・施設・店などがあるのか、散歩を通して知る。(13)	・近所への散歩を通して、消防署や近所のお店の存在に気付く。	・戸外で遊べない梅雨の季節に、製作やままごとなどコーナー遊びを楽しむ。(3) ・グループごとに掃除場所を分担して掃除をする。(7)	・自分でしたい遊びを見つけ、友達と譲り合ったり、役割分担をしたりしながら遊べるようになる。	・絵本の登場人物の気持ちを考えながら見る。(9)	【え】はははのはなし 【え】どろんこハリー 【え】おたまじゃくしの101ちゃん 【え】だるまちゃん とてんぐちゃん	・スライムやシャボン玉などの色々な素材があることを知る。(1)	・スライム ・シャボン玉
○環境 ☆援助	○安全に遊ぶように、遊び場や遊具を十分点検する。 ○身支度や片付けがスムーズに行えるように、持ち物の場所を決めておく。 ☆いろいろな運動遊具に触れる機会をもつと共に、使い方を知らせていく。		○好きな遊びができる時間や場を確保し、いろいろな遊びを経験できるようにする。 ☆個々の子どもとの触れ合いを多くもち、一人一人を温かく受け入れることで、安心して過ごせるように関係を築いていく。		○生き物を観察できるような材料・用具などを用意しておく。(虫かご・霧吹き・エサ・容器・図鑑) ○解放感を味わう水遊びや砂遊びでは、じょうろやバケツなどを用意し、してみたいと思う環境を整える。 ☆戸外で一緒に遊ぶ中で、園内の木々や植物を知らせたり、一緒に観察をし、その時期ならではの自然事象に気付けるようにする。		○絵本を分類しておき、子ども達が選びやすいようにする。 ☆季節や子どもの興味に合う絵本の読み聞かせをする。		○遊びに使う素材は、使いやすい大きさにしたり、種類を分けたりしておく。 ○季節の曲や日本の曲(盆踊り)を流し、自然に耳に入るようにする。 ☆子どもの喜びや気付きに共感し、満足感を味わえるようにする。	
行事	【6月】教育実習・ファミリーデー・プール開き・内科検診・誕生会・避難訓練 【7月】誕生会(7月8月)・避難訓練・なつまつり・終業式									

期案 Ⅲ期(9月・10月)

- 保育目標
- ・夏休みに体験したことを伝えあったり、遊びに取り入れたりする。
 - ・運動会では、人前で行う緊張感を味わいながら、友達と一緒に取り組む楽しさを味わう。
 - ・みんなで取り組んできたことに自信を持ち、運動会で全力を出し、達成感を味わう。
 - ・木の実や葉の色の変化に気付き、身近な自然から秋という季節を感じ、感性を高める。
 - ・クッキングを通して、自分で作った食べ物を食べる楽しさを味わう。また、食べ物の大切さを知

- 子どもの姿
- ・園生活に必要な約束や習慣を思い出し、自分でできることを進んで行う。
 - ・目標に向かって取り組みながら、友達と協力する楽しさを知る。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣 ・自分で確認して、持ち帰るものを把握する。(8)	・掲示してある持ち帰りカードを見て、自分で持ち帰る物を確認しながら降園準備をする。	保育者・友達との関わり ・自分の思いを保育者が受け止めてくれる嬉しさを感じる。(1)	・自分のしてみたいと思うことを見つけ、保育者と一緒に挑戦する。	自然環境 ・秋の自然に触れ、園内の様々な場所の生き物や植物に関心をもつ。(3)	・キンモクセイ ・オシロイバナ ・トンボ ・バッタ ・カマキリ ・ミミズ ・ダンゴムシ	伝える・話す ・経験したことを保育者や友達に伝えることを楽しむ。(1)	・自分のしたい遊びをする中で、自分の思いや考えを言葉で相手に伝える。	音楽(歌) ・秋の風景を想像しながら優しく歌う。(6)	・うんどうかいのうた ・とんぼのめがね ・まつぼっくり ・大きな栗の木の下で ・夕焼けこやけ
	運動 ・いろいろな運動遊具に興味をもって取り組む。(2) ・すもうに取り組むことで、体の使い方を知る。(4)	・スクーターやフラフープ・長縄など、様々な遊具に挑戦して楽しむ。 ・四股踏みや取り組みを通して、踏ん張る力や押す力を身に付ける。	他学年との関わり ・ミックスジュース(縦割り保育)で、お相手さんとの関わりを楽しむ。(7)	・他学年のお相手さんと楽しみを共有して、相手の気持ちに気付く。	飼育・栽培 ・秋の植物や自然に興味をもち、季節の移り変わりに気付く。(3)	・散歩に行ったり、園内の植物を見て、季節の移り変わりに気付けるようにする。 ・サツマイモ収穫	聞く・理解する ・相手の気持ちを知り、自分の思いを言葉にして伝える。(3)	・相手の話を最後まで聞き、どんな気持ちだったのかを考える。	音楽(リズム) ・言葉やリズムに合わせたゲームを楽しむ。(4)	・運動会でのダンス ・あぶくたった ・フルーツバスケット ・椅子取りゲーム
	給食・食育 ・箸を使って、最後まできれいに食べる。(7) ・姿勢を正して食べる。(7) ・クッキングを通して、素材の変化や大切さに気付く。(5)	・最後の一粒まで大切にいただく気持ちをもつ。 ・サツマイモを使った料理を作り、食材に触れる。	セカンドステップ ・我慢できない気持ちが分かる ・自分の我慢できない気持ちが分かる ・我慢できない気持ちを落ちつける	・気持ちの名前を言う ・がっかりした気持ち ・怒りの扱い ・待つこと	固定遊具 ・プランコ・鉄棒を通して、自分から進んで遊ぶことを楽しむ。(8)	・自分でこぐ・体を支える・回ることを楽しむ。 ・スクーター ・フラフープ ・大縄	セカンドステップ ・我慢できない気持ちが分かる ・自分の我慢できない気持ちが分かる ・我慢できない気持ちを落ちつける	・気持ちの名前を言う ・がっかりした気持ち ・怒りの扱い ・待つこと	製作 ・季節を感じながら、作ることを楽しむ。(8)	☆運動会の応援グッズ作り ・秋の製作
	安全 ・避難訓練では、保育者の指示を聞いて落ち着いて避難できるようになる。(10)	・地震と火災の時の避難の仕方を覚え、状況に合わせて避難できるようになる。	地域との関わり ・園外保育に行くことで、公共の場でのルールを知る。(12)	・園外に出ることで、公共の場での過ごし方を知り、新たな発見を楽しむ。(9)	室内環境 ・おたより帳のシールを、日にちの数字を確認しながら貼れるようになる。(9) ・保育室内の玩具を決まった場所に自分で片付ける。(7)	・玩具の置き場所を自分で把握し、片付ける。また、友達と声をかけ合い協力することを知る。	物語 ・物語の中のストーリー展開を楽しむ。(9)	【え】11ぴきのねこ 【え】さつまのおいも 【え】14ひきのおつきみ 【え】しょうぼうじどうしゃじふた	・はさみで曲線をなめらかに切れるようになる。(9)	・はさみ(細かく動かす)
	○環境 ☆援助	○子ども達それぞれが意欲的に取り組んでいるか、活動や普段の様子をしっかりと把握する。 ☆子どもなりに「できた」「楽しい」という実感をもてるよう、遊びを工夫したり遊びの様子を認めたりする。		○グループ活動や当番活動に見通しをもてるような表の作成をし、見やすい場所に掲示する。 ☆元気に挨拶をしている子どもを認め、挨拶の大切さをみんなで考えられるようにする。		○草花や木々の名前を掲示したり、図鑑を用意したりしながら、秋の自然への興味・関心をもてるようにする。 ☆植物、生き物の世話に気付ける声掛けをし、自ら進んで取り組めるようにする。		○子ども達が言葉のやり取りをする機会や場を設け、やり取りの楽しさを味わえるようにする。 ☆伝えたい気持ちを受け入れ、言葉を補うことで自分の気持ちを伝えられるようにする。 ☆様々な言葉での表現を受け入れ、自分の思いを十分に発揮できるようにする。		○遊びのイメージに合う素材や材料を用意し、自分達なりに考えて必要なものが作れるようにする。 ☆みんなと一緒に踊ったり、リズムカルに体を動かすことができるように、曲を流したり、遊びの提案をしたりする。
行事	【9月】始業式・園外保育・避難訓練・プール納会・誕生会 【10月】教育実習・運動会・運動能力測定・避難訓練・誕生会・おすもうさんとの交流会									

期案 IV期(11月・12月)

保育目標 ・異年齢児との活動を通して、年長児に憧れをもったり、年少児に優しく接したりすることで、一緒に過ごす楽しさや充実感を味わう。
・手洗い・うがいを励行し、戸外で元気に遊ぶ。
・いきっこども劇場では、役になりきって演じる中で、自分のイメージを動きや言葉などでのびのびと表現する。

子どもの姿 ・気温の変化に応じて、衣服の調節ができるようになる。
・秋から冬への季節の変化を見つけ、遊びに取り入れるようになる。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣 ・手洗い・うがいを進んで行う。(9)	・手で水をすくってうがいができるようになる。	保育者・友達との関わり ・友達と協力して活動することの充実感を味わう。(8)	・活動を通して、友達の良さに目を向け、関わり合うことを楽しむ。	自然環境 ・園内の自然環境や散歩を通して、木々の色づきの変化など秋の自然に気付く。(3)	・ドングリ(公園) ・イチヨウ	伝える・話す ・自分の意見を進んで伝える。(3)	・イメージを膨らませ、自分なりに考えながら、自分の意見や必要なものを伝える。	音楽(歌) ・情景を思い浮かべながら歌を歌う。(8)	・やきいもグーティーパー ・山の音楽家 ・おもちゃのちゃちゃちゃ ・あわてんぼうのサンタクロース ・赤鼻のトナカイ
	運動 ・戸外でみんなと一緒に運動することを楽しむ。(3)	・年長児や周りの友達が行っている遊びに興味をもち、自分たちの遊びに取り入れる。 ・こおりおに	他学年との関わり ・年少児との交流を通して、様々な気持ちを知る。(7)	・年少児との散歩を通して、お世話する難しさや喜びを感じる。	飼育・栽培 ・大根やネモフィラなどの栽培活動を通して、春になって生長した姿に期待をもち、水やりなどの世話に取り組む。(5)	・春に実る植物の様子を想像し、楽しんで世話をする。 ・ダイコン	聞く・理解する ・人の話を最後まで聞く大切さを知る。(4)	・友達の意見を聞き、どんなことを伝えようとしているのか、その意味を汲み取ろうとする。	音楽(リズム) ・みんなで心を合わせて演奏することを楽しむ。(3) ・他学年の表現活動にも目を向け、興味・関心をもつ。(2)	・タンバリン ・鈴 ・カスタネット
	給食・食育 ・食材に興味をもって、楽しみながら食べる。(5) ・足を揃えて、正しい姿勢で食べる。(7) ・よく噛んで味わって食べる。(7)	・給食の食材に目を向け、興味をもつようになる。 ・自分が食べることのできる給食の量を把握し、調整して食べる。	セカンドステップ ・友だちを作り、仲良くする ・気持ちを落ち着けて、問題解決ステップを使う	・フェアな遊び方 ・友だちと一緒に楽しく遊ぶ ・遊びに誘う ・遊びに入る	固定遊具 ・鉄棒での前回り降りや、大縄で連続して跳ぶなど、新しいことに挑戦するようになる。(8)		セカンドステップ ・友だちを作り、仲良くする ・気持ちを落ち着けて、問題解決ステップを使う	・フェアな遊び方 ・友だちと一緒に楽しく遊ぶ ・遊びに誘う ・遊びに入る	製作 ・特別保育活動で使用するものを考え、楽しんで作る。(4)	・秋の自然物を使った製作 ・いきっこども劇場道具作り ☆クリスマス製作
	安全 ・交通ルールを知り、ルールを守る大切さを知る。(10)	・交通ルールの具体的な内容を知り、実際に行う。	地域との関わり ・地域にどのような施設があるのか知る。(13)	・園周辺を散歩することで、身近な公共施設を知る。(消防署・店など)	室内環境 ・季節に応じたもの(ドングリ・クリスマスに関する物)などを使用して遊びを展開するようになる。(6)	・お店屋さんごっこ・ままごとなどを楽しむ。	物語 ・絵本や童話を楽しみ、興味をもって聞く。(9) ・劇を通して、物語の登場人物を演じる楽しさを味わう。(8)	【え】はじめてのおつかい 【え】てぶくろ 【か】かさじぞう 【か】きたかぜとたいよう	・様々な材料に触れ、切ったり、貼ったり、塗ったりすることを楽しむ。(7)	・劇で使う大道具づくり ・絵の具(ダンボールなどを絵の具で塗る)
	○環境 ☆援助	○自分達で遊びのルールを工夫し、きまりを守って遊べる場を作る。 ☆クラス全体で遊ぶ場を設け、楽しさを共有できる時間を設ける。		○クラスや学年の活動を行い、集団活動の楽しさが味わえるようにする。 ☆ルールのある遊びでは、ルールを守ると楽しいということに気付ける声かけを行い、一緒に遊ぶ友達と楽しさを共有できるようにする。		○自然物を種類ごとに分けて置き、より興味を深められるようにする。 ☆自然物を使った遊びを提案し、身近な自然に触れながら過ごせるようにする。		○発言しやすい雰囲気を作り、自分の意見を発言できるようにする。 ☆お互いの気持ちを受け止めたり伝えたりできるように仲介する。 ☆友達と話し合う場面では、互いに顔を見て話せるように、立ち位置に配慮する。		○工夫したり試したりできる素材を用意し、自分から進んで創作する場を設ける。 ☆リズムに合わせ、楽しんで踊ったり歌ったりすることができる曲を流す。
行事	【11月】クラス懇談・避難訓練・誕生会 【12月】いきっこども劇場・避難訓練・誕生会・終業式									

期案 V期(1月・2月・3月)

- 保育目標**
 ・氷・霜などの変化に気付き、冬ならではの自然に触れる。
 ・いきっこマラソンでは、最後まで諦めない気持ちをもちながら、友達と一緒に走ることを楽しむ。
 ・年長児の遊びや活動に興味をもち、教えてもらったり、一緒に行ってみたりして、進級が近付いていることを知る。
 ・1年を通してできるようになったことを振り返り、進級することを自覚する。
 ・それぞれの友達の良さを認め合いながら、いろいろな友達と元気に遊ぶ。

- 子どもの姿**
 ・集団での遊びやルールのある遊びに興味を持ち、取り組むようになる。
 ・今まで経験してきたことが自信となり、進級への期待が高まる。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・自分の物の把握をし、物の管理を進んでする。(8)	・自分の物の管理を行い、把握しながら、大切に扱う気持ちをもつ。	・集団でのルールのある遊びを楽しんだり、積極的に見つけたりして、関わり合う充実感を味わう。(11)	・遊びや活動を楽しむ行うための方法を考え、問題解決をしようとする。	・身近な自然の変化に気付き、春の訪れを感じる。(1)	・身近な木々の蕾や、花壇の花の芽を見つける。 ・ウメ ・スイセン	・考えたことを自分なりの言葉にして表現する。(2)	・感じたこと、考えたことを相手に伝わる言葉にして伝える。	・心を込めて歌うことを知る。(3)	・雪のペンキ屋さん ・コンコンクシャン ・まめまき ・ひなまつり ・よいこのうた(園歌) ・卒園のうた
	運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
	・寒さに負けず、戸外で元気に遊ぶことで、体が温まることを知る。(3)	・こおりおに・十字鬼・マラソン・ドッジボールなど、体を思いきり動かすことを楽しむ。	・好きな遊びや保育活動を通して、いろいろな友達との関わりを広げる。(8)	・他学年の友達と関わることの楽しさを味わい、自ら進んで関わり合おうとする。	・育てている植物に興味をもち、観察する。(5)	・球根から芽が出た様子や生長する様子に気が付き、咲くのを楽しみにする。	・会話を楽しみ、相手の伝えたいことを理解しようとする。(1)	・会話を通して、言葉のやり取りを楽しむ。	・様々な音に気付いたり、いろいろな楽器の音色を楽しむ。(1)	・鉄琴・ハンドベルなど様々な楽器に触れ、音色を楽しむ。
	給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
	・歯磨きをしっかりとし、自分の歯を大切にしようとする。(6) ・食事のマナーを見直し、感謝の気持ちをもって給食をいただく。(5)	・歯ブラシを細かく動かして隅々まで磨くよう心掛ける。 ・食器を持って食べる・箸で最後の一粒まで集めるなど食事のマナーを自分で意識して食べる。	・友だちを作り、仲良くする ・気持ちを落ちつけて、問題解決ステップを使う	・困ったことを話す ・何ができるか考える ・自分の考えをはっきり話す	・友達と励まし合い、協力しながら、挑戦することの楽しさを知る。(8)	・鉄棒(逆上がり導入)	・友だちを作り、仲良くする ・気持ちを落ちつけて、問題解決ステップを使う	・困ったことを話す ・何ができるか考える ・自分の考えをはっきり話す	・一つひとつの作品を丁寧に作る。(4) ・遊びに必要なものを考えて作ることを楽しむ。(7)	☆たこ ☆節分製作 ☆ひな祭り製作 ☆思い出製作 ☆卒園式メダル
	安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
	・周囲に気を付けて遊ぶ。(10)	・体も大きくなり、走り回ることも多くなるため、周囲の友達に気を付けて遊ぶ。	・身近な地域で過ごす楽しさを味わう。(13)	・いきっこマラソンで定期的に公園に通うことで、身近な地域の良さに気付いたり、親しみをもったりする。	・コーナーを作って遊ぶようになる。(8) ・時期ならではの遊び(お正月遊びなど)を楽しむ。(6)	・自分のしたい遊びをイメージし、遊びごとのコーナーを設置して遊ぶようになる。 ・その時期ならではの遊びを知り、遊び方を知る。	・物語を最後まで聞き、イメージを友達と共有する。(8) 【え】大きくなるということ は 【え】はなをくんくん 【え】じごくのそうべえ 【え】のはらのひなまつり	・紙粘土など、様々な材料に触れる。また、形にすることを楽しむ。(5)	・紙粘土 ・絵の具(筆で塗る)	
○環境 ☆援助	○周囲の状況に気を付けながら遊べるように声かけをしたり、遊びのスペースを分けたりして、のびのびと遊べるようにする。 ☆自分達で考えた遊びの楽しさに気付いたり自信をもったりできるよう、保育者も一緒に参加して認めていく。		○年長児の卒園の様子を見たり、式に参加したりすることで年長児に憧れの気持ちをもてるようにする。 ☆他学年と一緒に過ごせるように、ゲームやふれあい遊びなどの活動を取り入れ、他学年の友達との関わりを広げられるようにする。 ☆難しいことでも、友達と一緒にだてできるという経験をできるようにし、友達の良さを実感できるようにする。		○冬の自然事象に興味をもてるように、保育者が自然の変化をとらえ、子ども達が気付けるような話をしたり掲示をしたりする。 ☆冬の自然事象や季節の移り変わりの不思議さや美しさを知らせ、共有したり一緒に感動したりする。		○楽しかったことや頑張ったことを振り返り、クラス全体に話すことで、みんなで思い出を共有したり、自分達の成長を感じたりできるようにする。 ☆日常の中に発表の場を設け、自分の言葉で伝えることの楽しさや自信を感じられるようにする。		○使いたいもの、作りたいもののアイデアを引き出すことができるように、様々な素材を用意したり、イメージを広げられる本を用意したりする。 ☆友達の面白い表現に気付いたり真似したりできるように、保育者が紹介したり、子ども達が見て気付いたことを発表する場を設けたりする。	
行事	【1月】始業式・交通安全教室・避難訓練・誕生会・お正月遊びの日 【2月】まめまき・避難訓練・いきっこマラソン・誕生会・お別れパーティー 【3月】避難訓練・誕生会・卒園式・終業式									

期案

年長(5歳児) I 期(4月・5月)

保育目標 ・新しいクラスの友達と挨拶をし合ったり、名前を呼び合ったりして親しくなる。
・泣いたり困ったりしている年下の子に気付き、自ら優しく声をかけ、思いやりの気持ちをもって接する。
・年下の子どもに遊具の遊び方やおもちゃの片付け方を優しく教えることができるようになる。
・花や虫などを発見し、自然の変化に気付きながらいろいろな友達と共有して遊ぶ。

子どもの姿 ・年長児になったことを喜び、張り切って活動する。また、遊びや生活を通して、気の合う友達を見つけていく。
・年少児のお世話をすることで、年長としての意識が高まってくる。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現			
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容		
	基本的 生活習慣	・年長としての自覚をもつて、基本的な生活習慣を見直す。(8)	・園生活のリズムを思い出し、年長としての自覚をもって動けるようになる。	・いろいろな遊びを通して、友達関係を広げる。(1)	・新しいクラスの友達と挨拶をし合ったり、名前を呼び合ったりして親しくなる。	・花や虫などを発見し、自然の変化に気付く。(3)	・カラスノエンドウ ・シロツメクサ ・テントウムシ ・アゲハチョウ	・友達に自分の気持ちを伝える。また、適切な言葉を使う。(1)	・話し合いの機会を多くもち、互いに思いを伝え合う。	・曲の雰囲気や内容を意識して歌う。(6)	・大きな古時計 ・うたえバンバン ・アブラハムの子 ・みどりのうた ・こいのぼり(みどりのかぜを～) ・山のワルツ ・森のくまさん	
	運動	・戸外に出て元気いっぱい遊ぶ。(3)	・年長児ならではの用具(縄跳び)に興味をもち、遊ぶ。	・進んで年少児の手伝いをする。(10)	・身支度の手本を見せたり、手伝いをしようとする。	・飼育動物に親しみを持ち、世話をしようとする。(5)	・ウサギやカメの観察をして、触れ合う。	・保育者や友達の話聞き、しっかりと理解する。(4)	・保育者や友達が話すことを聞き取ることができるようになる。	・曲の速さやリズムに合わせて動くことを楽しむ。(6)	・かえるの体操	
	給食・食育	・給食の流れを思い出して、楽しく給食をいただく。(5)	・食べる時のマナー(口にものを入れたまま話さない・姿勢よく食べるなど)の見直しをする。 ・汁物も含めて、すべてのつぎ分けができるようになる。	※状況に応じて、コース0の振り返りをする。		・好きな遊びの時間に、進んで鉄棒の逆上がりの練習に取り組む。(8)	・保育者に補助してもらいながら、逆上がりの練習に繰り返し取り組む。	※状況に応じて、コース0の振り返りをする。		・いろいろな素材に触れながら、表現することのおもしろさを知る。(4)	☆こどもの日製作 ☆家族へのプレゼント(花瓶づくり) ☆梅雨製作	
	安全	・災害時の避難経路を確認する。(10)	・歩く機会を多く設け、災害時の避難経路を確認する。 ・沓岐南小学校への散歩(避難経路確認の為)	・園外保育に出た時や、園内で会った人に自ら挨拶をする。(13)	・交流保育を通して、あさひ幼稚園・おひさま保育園・大濠保育園について知り、友達を作る。(6)	・散歩	・掃除の役割分担をし、自ら責任をもって取り組む。(11)	・年長としての係活動に張り切って取り組む姿が見られる。 ・ブルーシート敷き ・網戸拭き	・絵本や紙芝居の内容を遊びに取り入れて遊ぶ。(8)	【え】はじめまして 【え】たんぼぼ 【え】14ひきのピクニック 【え】わたしのワンピース 【え】きょうのおべんとう なんたらな 【え】ゆうちゃんからだずかん	・絵の具の使い方を知る。(5)	・個人持ち絵の具 ・マーブリング
	○環境 ☆援助	○少しずつ新しい仲間を受け入れられるよう、集団遊びなどをクラス全員で楽しめる時間をもつ。 ☆新しい環境にすぐに順応しにくい子もいるので、一人ずつのペースを見極め、徐々になじめる雰囲気作りをする。		○年長になった喜びやクラスの実在を感じられるような環境の工夫や雰囲気作りをする。 ○遊びや生活の状況に応じて、物の置き場所や片付け方などについて、子どもと一緒に考える機会を作る。 ☆自分達で安心して使えるように、新しい場や道具の扱い方などを丁寧に伝えていく。		○季節や自然の変化に触れる中で、子どもの気付きを敏感に受け止め、感性が豊かになるようにする。 ☆触れると危険な生き物がいることや、見つけた際の対処の仕方を伝えていく。(ケムシ・アシナガバチ・スズメバチ・ムカデなど) ☆玩具の片付けの必要性を意識できるように、一緒に扱う姿を見せたり、繰り返し言葉で伝えたりする。		○絵本や紙芝居、視聴覚教材などを利用して、その中にある豊かな世界に触れられるように工夫する。		○子ども達が歌いやすいように、歌詞を書いた紙を準備したり、子ども達が歌い出す前に歌詞を伝えたりする。 ○いろいろな素材に触れられるように、質の違う紙や廃材を準備しておく。 ☆曲の雰囲気や内容が想像できるように話をする。 ☆絵の具の色の混ぜ方などを伝える。		
		行事	【4月】始業式・入園式・家庭訪問・おやつ給食・誕生会 【5月】運動能力測定・避難訓練・歓迎遠足・あさひ交流保育・創立記念日・誕生会・おひさま交流保育・大濠交流保育歯科検診・ミックスジュース(縦割り保育)									

期案Ⅱ期(6月・7月・8月)

保育目標・身近な人に進んで挨拶したり、積極的に関わったりすることを通して、自分の気持ちを言葉にして伝える。
・梅雨ならではの自然の変化に気付いたり、天候に合わせて、遊びを考え工夫したりする。
・経験したことから想像を豊かに膨らませ、様々な素材を使って表現することを楽しむ。
・体を動かして汗をかいいた時は、自分で汗を拭いたり、水分補給したりする。また、自分で考えながら適度に休憩を取れるようにする。

子どもの姿・自分の思ったことを発言したり、話し合ったりしながら、目的に向かって活動を進める姿が見られる。
・周囲の自然物を遊びの中に取り入れていく。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的 生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・夏の健康的な生活の仕方を知る。(6)	・自ら水分補給をする。 ・汗をかいたら、顔を洗ったりタオルで拭いたりする。	・友達と協力し合いながら一つのことに取り組み、最後まで諦めずに頑張る。(8)	・なつまつりの活動の中でお互いに協力し合ったり、意見を出し合ったりしながら取り組むことができる。	・園外に行く際、周りの景色や物事に目を向けながら、行動できるようになる。(6)	・カタツムリ探し ・セミとり ・木登り	・気の合う友達との関わりの中で、自分の思いを表現する楽しさを味わう。(1)	・接続詞などを使うが増える。 ・長文で話せるようになる。	・人前で歌うことを楽しむ。(3)	・すうじの歌 ・六月 ・みどりの風とあおい空 ・たなばたさま ・キャンプだホイ
	運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
	・いろいろな運動に興味を広げ、ルールを守って元気に遊ぶ。(4) ・プール遊びの約束事を守りながら、お互いに気をつけて水遊びを楽しむ。(10)	・運動遊具を使う。(マット・平均台・巧技台・跳び箱) ・プール遊びで水に慣れる・もぐる・水に浮いて進む。	・バスコースや遊びの中で、他学年の友達と関わることを楽しむ。(5) ・ミックスジュース(縦割り保育)で、進んでお相手さんのお世話をする。(10)	・園外保育 ・バスコース ・好きな遊び ・並ぶ時、着替えの時などに年下の子どもに優しく教えてあげる。	・梅雨期や夏の自然、生き物、植物に触れ、その性質や特徴を知る。(2)	・アサガオ栽培 ・ヒマワリの観察 ・カブトムシ・クワガタの飼育	・人の話を注意して聞く。(4)	・保育者の話を聞いて、理解して行動できるようになる。	・リズムに合わせて和太鼓を叩くことを楽しむ。(6)	・和太鼓 ・ポンポンを使った踊り
	給食・食育		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
	・食べる時の姿勢や食べこぼしに気を付けながら、給食をいただく。(7)	・子ども同士がお互いに食事のマナーや食べこぼしなどを注意し合ったりする。	※状況に応じて、コース0の振り返りをする。		・友達と一緒に鉄棒や跳び箱の練習に取り組む。(8)	・友達がしているのを見て、体の使い方を知り、習得していく。	※状況に応じて、コース0の振り返りをする。		・なつまつりの準備を通して、友達と力を合わせて一つのものを作り上げ、達成感を味わう。(4)	☆保護者参観製作 ☆スライム ☆七夕製作 ☆みこし作り
	安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
	・正しい固定遊具などの使い方を再確認する。(10)	・固定遊具の使い方を友達同士でお互いに注意し合ったり、他学年の子に教えたりすることができる。	・身近な人に積極的に関わり、自分から挨拶をする。また、話し方を丁寧にする。(13)	・散歩などで、地域の方に積極的に挨拶をする。	・文字に関心をもち、読んだり書いたりして楽しむ。(10)	・歌詞や一日の流れなどの掲示物の文字や数字に関心をもつ。	・自分で考えた物語を絵や文字に表して伝える楽しさを知る。(10)	【え】しずくのぼうけん 【え】おとうさんとさんぽ 【え】パパ、おつきさまとって！ 【え】ねずみのかいすいよく 【え】どろんこハリー	・クレヨンと絵の具の質の違いを理解し、それぞれの活動を楽しむ。(5) ・絵の具の配合の仕方を知る。(1)	・絵の具(たたみ染め) ・色鉛筆
○環境 ☆援助	○全身を使って元気に遊べるよう、天候・体力・状態に応じて、いろいろな遊具を提供していく。 ○日差しが強くなってくるので、帽子をかぶったり、日差しを避けて遊んだりできるよう配慮する。 ☆プール遊びをする際、体操をしっかりしたり、気をつけて遊んだりできるよう配慮する。また、体をしっかり拭いて着替えるよう声をかける。 ☆用具を協力して片付けるよう声をかけ、集団で行う。		○友達と使うことで遊びが広がっていくような素材や道具を提示する。 ○一人一人の思いやイメージが鮮明になるように言葉などを引き出しながら、個々の遊びの目的が自覚できるようにする。 ☆子どもがのびのびと安心して挑戦する活動に取り組めるように、安全な環境を作り、留意する。 ☆子ども同士の関係を把握し、一人一人が自分を出していけるよう、何でも言い合える雰囲気を作ったり、保育者が励ましたり、受け入れたりする。		○自然の変化の中で、一緒に触れたり、感動したりして、さらに興味をもてるようにする。 ○自分達の興味や疑問を追及したり、継続して生長を見守ったりできるように、身近な自然物と触れ合う機会を多くもてる環境を準備する。 ☆生き物が育つために必要なものは何か問いかける。→自分達で考え、準備できるよう援助する。(虫かご・虫とり網・スコップ・霧ふき・エサ・図鑑など) ☆生き物や植物の種類によって、それぞれ違う環境が必要であることを伝えていく。→毎日の世話を通して親しみを感じ、大切にすることを養えるようにする。		○新聞やテレビのニュースを話題にするなど、いろいろな生活や遊びの中で、子ども達が言葉のやりとりをする機会や場を大切にしながら、言葉を育てるようにする。 ☆発語や話し方には、個人差があることを忘れず、その子の表現を受け入れながら、適切な話し方を伝えていく。		○友達と一緒に歌う楽しさを伝え、自信がもてるようにする。 ○子どもの気付きに耳を傾け、周りにも伝える。 ☆友達の声や伴奏を意識できるように事前に話をしたり、その場で声をかけたりする。 ☆和太鼓の叩き方、立つ位置などを伝える。	
行事	【6月】教育実習・ファミリーデー・プール開き・内科検診・誕生会・避難訓練									
	【7月】誕生会(7月8月)・避難訓練・よいまつり・終業式・年長特別活動									

期案 Ⅲ期(9月・10月)

保育目標・園生活の中で、一人ひとりが自信をもって、様々な活動に取り組む。
・それぞれの種目での全体の流れや自分の出番を把握し、友達と教え合ったり、自ら進んで取り組んだりしながら、目標を達成できるようにする。
・運動会では、自らやる気をもって自分の力を発揮し挑戦する楽しさや達成感をもてるようにする。
・今までに培ってきた体の動かし方や使い方を、遊びの中や運動能力測定などで十分に発揮する。

子どもの姿・季節を感じたり、不思議に思うことを調べたりして、興味や関心を広げていく。
・目標に向かって挑戦したり、全身を使って運動遊びを楽しんだりしている。
・力を合わせて最後までやり遂げようとする。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣 ・園生活の中で、一人一人が自信をもって、様々な活動に取り組む。(1)	・係活動	保育者・友達との関わり ・クラスや園全体の共通の課題が分かり、友達と力を出し合って活動を進める。(8)	・クラスの活動や集団遊びなど、多人数での遊びやいろいろな遊びへの興味の広がりなどを通して、新たな友達とつながる。	自然環境 ・自然の変化(秋の空や雲、木や草花の色の変化など)に関心をもつ。(3) ・日なたや日かげの違いに気付き、それを利用して遊ぶ。(4)	・散歩 ・キンモクセイ ・トンボ	伝える・話す ・お互いの考えやイメージを言葉で出し合い、協調したり共感したりする。(7)	・なぞなぞ ・しりとり	音楽(歌) ・様々な音楽に触れ、イメージを深めながら、自分なりに表現する。(4)	・そらにらくがきかきたいな ・虫の声 ・すうじの歌 ・はたけのポルカ ・うんどうかいのうた
	運動 ・いろいろな運動遊びに力いっぱい取り組んだり、自分なりの目的をもって挑戦しようとする。(4)	・リレー ・縄跳び ・マット ・ドッジボール	他学年との関わり ・全学年合同でのチームでは、自分の役割を意識して取り組み、みんなでいう満足感や充実感を味わう。(8)	・リレー遊びでは、順番を考えたり、早く走れる方法を考えたりしながら、みんなで工夫してバトンをつなぐ楽しさを感じる。	飼育・栽培 ・虫や草花を観察したり、集めたりする。(4) ・収穫の喜びを味わったり、秋の自然の美しさや不思議さ、変化に気付き、親しむ。(1)	・バッタ ・カマキリ ・スズムシ ・稲刈り	聞く・理解する ・保育者や友達の話の内容を理解し、言葉による表現を豊かにする。(8)	・保育者の話や合図を聞き分けて活動する。	音楽(リズム) ・曲のイメージに合わせた身体表現を楽しむ。(8)	・運動会のダンス
	給食・食育 ・正しい姿勢で座り、よく噛んで最後まできれいに食べる。(7) ・歯の大切さや生え変わることを意識し、食後の歯磨きを丁寧にする。(9)	・歯についての絵本などを読み、生え変わりについて関心をもつ。	セカンドステップ ※状況に応じて、コース0の振り返りをする。		固定遊具 ・鉄棒や跳び箱では、様々なレベルの技に挑戦する。(8)	・友達をしている技や保育者に教えてもらった技に取り組む。	セカンドステップ ※状況に応じて、コース0の振り返りをする。		製作 ・取り組んだ遊びの中で頑張ったこと・楽しかったことなどを思い出して、思いきり絵を描く。(3)	・自分が経験したことを、自由に絵に描くことを楽しむ。 ・ランチョンマット作り
	安全 ・遊具や用具の安全な使い方を知り、気をつけて使う。(10)	・マット ・巧技台 ・跳び箱 ・室内用鉄棒	地域との関わり ・就学を意識し、長距離歩く経験をする。(2) ・安全に道を歩くことができるようにルールを確認する。(13)	・友達と力を合わせて、交通ルールを守って安全に歩き、六本松科学館へ散歩に行く。	室内環境 ・国旗や国歌に親しむ。(12) ・鉛筆遊びを通して、文字や形に関心をもつ。(9)	・国旗や国歌に興味をもつ。	物語 ・読んでもらった絵本などからイメージを広げ、友達と一緒に表現することを楽しむ。(8)	【え】おつきさまこんばんは 【え】おおきなおおきなおいも 【え】花さき山 【か】たいふうがきた 【か】うんどうかいってたのしいな	製作道具・材料 ・遊びに必要な素材を選び、創作意欲を高める。(7)	・廃材 ・自然物(落ち葉・小枝・石)
	○環境 ☆援助	○活動に静と動のメリハリをつける。 ☆一人ずつ目標をもって取り組み、その過程での努力を認め、励ましていく。 ☆熱中しすぎでの危険な行動も見られるので、子どもの活動から目を離さない。その都度、気持ちをひきしめていけるよう声をかけていく。 ☆運動後の休息、水分補給を忘れないよう伝える。		○クラスや園全体の共通の課題が分かり、取り組める機会を作る。 ○目的をもったり、取りかかりのきっかけとなったりするような環境設定をすると共に、頑張った成果を感じられるような場の工夫をする。 ☆遊び方や遊びのイメージが理解できるように、保育者も仲間に入って遊び、調整や確認をする。 ☆繰り返したり試したり挑戦したりする姿を大切に、変化や上達を具体的に示して、子ども同士で認めたり、励ましたりできるようにする。		○生き物や植物をスケッチしたり、表現できるような材料・用具などを用意しておく。 ○木の葉や木の棒、植物など、季節を感じられるものを遊びに活かせるようなコーナー作りをする。 ☆生き物・植物の生長や変化を知らせ、自然に触れる機会を増やす。		○絵本や紙芝居を通して、発見や疑問をもつことができる話し合いの場を設ける。 ☆生活や体験の中で得た感動を伝え合ったりすることができるよう、クラスで取りあげたり、発表の場を作ったりする。		○様々な曲を取り入れ、踊ることの楽しさを味わえるようにする。 ○楽器や手具などを取り入れ、イメージしていることが表現しやすいように配慮する。 ☆遊びに必要な物を作ることができるように、いろいろな素材のものを準備する。
行事	【9月】始業式・避難訓練・プール納会・誕生会 【10月】教育実習・運動会・運動能力測定・クラス懇談・避難訓練・誕生会・おすもうさんとの交流会									

期案 IV期(11月・12月)

保育目標 ・いっきこども劇場で、やりたいことをイメージして話し合う。また、みんなで協力して、集団活動に意欲的に取り組む。
・他学年の子どもと交流する中で、思いやりの気持ちをもって接することができるようになる。
・いっきこども劇場に向けての活動で、劇の流れや動き・台詞などを覚え、自信をもって臨む。
・人前で歌ったり、声を出したりして、自分らしくのびのびと表現する。

子どもの姿 ・年少・年中児と関わる中で、中心になって活動することを喜ぶようになる。
・トラブルを自分達なりに解決しようとする。
・文字に興味をもち、読んだり書いたりしようとする。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣		保育者・友達との関わり		自然環境		伝える・話す		音楽(歌)	
	・冬の健康的な生活の仕方を知る。(9)	・手洗い・うがいを身に付ける。	・友達と共通の目的に向かって、考えを出し合い力を合わせて遊びに取り組む。(4)	・仲間意識が深まり、遊び方やイメージの違いなどによるトラブルの発生時に、自分達で解決しようとする。	・気温や木々の変化に気付き、冬の訪れを感じる。(3)	・戸外の草木を見たり触れたりして自然の変化に気付く。 ・イチヨウ ・ドングリ(公園)	・いっきこども劇場についてどのような内容にするか友達と意見を出し合い、話し合う。(2)	・お互いのイメージを言葉に出し、受け止め合いながら内容を考える。 ・セリフなども自分達で考える。	・歌の歌詞の意味が分かるようになり、楽しく歌ったり、強弱を考えて歌ったりすることができる。(4)	・もみじ ・きのこ ・はじめての一步 ・きみにあえてうれしい
	運動		他学年との関わり		飼育・栽培		聞く・理解する		音楽(リズム)	
	・機敏に体を動かして、いろいろな運動のルールや遊び方を身に付ける。(2)	・体を巧みに動かして遊ぶ。 ・ドッチボール ・サッカー ・缶けり	・他学年の子どもとの交流の中で、年長としての自覚をもち、思いやりをもって行動する。(10)	・年下の子ども達が喜ぶことを自分で考えながらお世話をする。	・小動物の餌やりなど行い飼育する。(5)	・カメ ・メダカ ・キンギョ	・他学年の子どもが出ている演目を見る時にも、観客として静かに落ち着いて見る。(1)	・保育者や友達の話静下心来聞いたり、理解できるようにしたりして、いっきこども劇場に向けての活動に参加する。	・友達とリズムや音を合わせながら、楽器遊びを楽しむ。(4)	・鍵盤ハーモニカ ・縦笛 ・フィンガーシンバル ・ハンドベル
	・すもう遊びに参加する。(4)	・体を動かす楽しさを感じながら、練習に取り組む。								
	給食		セカンドステップ		固定遊具		セカンドステップ		製作	
	・時間内に食べ終えることができるようになる。(8)	・時間を意識して給食をいただく。	※状況に応じて、コース0の振り返りをする。		・鉄棒や跳び箱などに継続して取り組む。(8)	・継続して取り組むことでできるようになり、自信をもつ。	※状況に応じて、コース0の振り返りをする。		・今までの経験の中から作るものを考え、新たな発想に生かす。(8)	・いっきこども劇場道具作り ・秋の自然物を使った製作 ☆クリスマス製作
	安全		地域との関わり		室内環境		物語		製作道具・材料	
	・園外に出た時は、自分で考えて行動できるよう意識する。(10)	・小学校入学を意識して、しっかり歩いたり、動いたりできるようになる。	・小学校見学を通して、学校の様子や雰囲気を知る。(13)	・小学校を見学し、授業の様子などを見て、入学することに期待をもつ。 ・絵本や散歩を通して、身近な標識に関心をもつ。(10)	・室内での冬の遊びを見つけ、楽しむ。(3) ・絵本や散歩を通して、身近な標識に関心をもつ。(10)	・色鉛筆で塗り絵 ・役割分担されたごっこ遊び	・いっきこども劇場の内容を決める時に、いろいろな話の内容を思い出して考える。(8)(9)	【え】まどからおくりもの 【え】うらしまたろう 【え】マッチ売りの少女	・様々な色を使い、自分が思うものを描けるようになる。(4)	・ペン ・色鉛筆
○環境 ☆援助	○集団ゲームではルールを分かりやすく説明し、クラスで取り組むようにしていく。 ○時期を捉えて、その子の成長を保護者に知らせ、自信をもてるようにし、頑張ろうとする意欲をもって取り組めるようにする。 ☆保育者の合図で機敏に動けるよう、早めに伝え、動きやすくしていく。 ☆手洗いやうがいがおろそかにならないように配慮する。		○継続して遊べるように、時間と場所を確保する。 ○仲間意識をもって進めていく遊びが広がっていくように、場所を確保する。 ☆友達の良さを認め合えるような雰囲気作りや場の設定を行う。 ☆小学校への期待をもち、不安を取り除けるように学校を見学する機会をもつ。		○木の実や落ち葉拾いをして、自然物を利用する遊びを伝えながら、子ども自身で展開できるようにする。 ○図鑑などで一緒に調べてみるなど、子どもの関心に十分付き合う。 ☆秋から冬に移り変わる自然の様子に気付けるように援助する。		○言葉のおもしろさが味わえるような絵本や紙芝居を選び、話し方にも気を付ける。 ☆たくさんの紙芝居や絵本を見る中で、子ども達が想像力を膨らませ劇づくりを楽しめることができるようにする。		○友達の考えや、子ども同士の認め合いを大切に にする。 ○曲に合わせて、楽器遊びができるように する。 ☆気付きや感動を受け止めたり、共感したりしながら、創作意欲を高めていけるように配慮する。	
行事	【11月】避難訓練・誕生会・小学校見学 【12月】いっきこども劇場・避難訓練・誕生会・終業式									

期案　Ⅴ期(1月・2月・3月)

保育目標 ・できないことや苦手なことにも挑戦し、友達と一緒に励まし合いながら、できることを増やしていく。
(こま回し・けん玉・マラソンなど)
・寒さに負けず、体を動かして戸外で元気に遊ぶことで、心身共に強くなることを知る。
・卒園に向けての活動に真剣に取り組んだり、遊ぶ時は思いきり遊んだりして、一日一日を大切に過ごす。
・自分の決めた目標に向けて、頑張る気持ちを持ち、マラソンに意欲をもって取り組む。また、自分のもっている力を出し、最後まで走り切る。
・友達との時間を大切にして、幼稚園生活の残りの日々を思いきり楽しむ。
・「強い子、やさしい子、考える子」になったことに、自信をもって卒園する。

子どもの姿 ・園生活をやり通した満足感を味わい、着実に歩んでいる手応えを感じる。
・新年を迎えたり、もうすぐ一年生になることが分かってきたりすることから、大きくなったことを感じ、自ら進んで遊びや係活動に取り組む姿が見られる。
・遊びの中で友達と話し合ったり、計画を立てたり、ルールを決めたりするようになる。

	健康		人間関係		環境		言葉		表現	
	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容	ねらい	内容
	基本的生活習慣 ・園生活をやり通した満足感を味わい、着実に歩んでいる手応えを感じる。(1)	・基本的な生活習慣の見直しをして、着実にできる自信をもつことができるようになる。	保育者・友達との関わり ・友達と互いに認め合いながら遊びを進め、つながりを深める。(5) ・小学校入学へ期待をもち、成長を感じる。(2)	・クラス全員での活動を通して、クラスのつながりを深める。 ・お別れパーティーや卒園式の練習を通して、卒園を実感し、小学校への期待をもつ。	自然環境 ・季節が変化する中で不思議さを感じたり、自然の事象を取り入れて遊んだりする。(1) ・身近な自然の変化から春の訪れに気づき、興味や関心をもつ。(3)	・北風の冷たさや吐く息の白さなど、体で感じたことを伝え合う。 ・スイセン ・梅の花	伝える・話す ・考えたことを筋道を立てて、人に分かるように話す。(2) ・自信をもって人前で話し、伝える喜びや伝える心地よさを味わう。(7)		音楽(歌) ・気持ちを込めて優しい声で歌を歌う。(3) ・友達と一緒に恥ずかしがらずに歌うことができる。(8)	・カレンダーマーチ ・思い出のアルバム ・ドキドキドン！1年生 ・よいこのうた(園歌) ・1年生になったら ・卒園のうた
	運動 ・寒さに負けず十分に体を動かし、いろいろな運動遊びに取り組む。(3) ・運動遊びを楽しく充実させ、自己の体力に挑戦する。(4)	・身体のいろいろな筋肉を動かして遊ぶ。 ・マラソン ・ドッジボール ・すもう	他学年との関わり ・年下の子どもの手本になるように、園生活に見通しをもち、進んで遊びや行事に取り組む。(5) ・自分達の使っている物を点検し整えて、年中児に伝えていく。(10)	・ミックスジュース(縦割り保育)やお別れパーティーなどで、年長児としての自覚をもって行動する。	飼育・栽培 ・カメの観察を通して、冬眠する動物に興味をもつ。(5) ・ウサギの冬の過ごし方を観察する。(5)	・カメ ・ウサギ	聞く・理解する ・人の話を注意深く聞き、理解しようとする。(4) ・卒園式の練習にしっかり参加できるようになる。(8)	・卒園式の練習	音楽(リズム) ・自信をもち、のびのびと表現することを楽しむ。(8)	
	給食・食育 ・食べ物の働きと体の関係に興味をもつ。(5) ・食事のマナーを再確認しながら、落ち着いて食べる。(7)	・幼稚園の給食が思い出の味になるように、クラスや学年の友達と楽しい雰囲気でいただく。	セカンドステップ ・プログラムのスキルや概念を復習する ・スキルを園(学校)で役立てる方法を考える	・今までのセカンドステップの内容をふりかえる。 ・スキルを園(学校)で役立てる方法を考える	固定遊具 ・鉄棒などのいろいろな技に挑戦してできるようになる。(8)	・鉄棒	セカンドステップ ・プログラムのスキルや概念を振り返る。 ・スキルを園(学校)で役立てる方法を考える	・園(学校)で学ぶ ・バスに乗る ・園(学校)で新しい友だちを作る手立てを身に付ける。	製作 ・思い出などを絵に表すことを楽しむ。(8) ・卒園に向けての製作を丁寧にする。(3)	☆たこ ☆節分製作 ☆思い出バック ☆ひな祭り製作 ☆自分の顔 ☆在園児へのプレゼント ☆思い出の絵
	安全 ・交通安全教室に参加し、交通ルールを知る。(10)	・就学前の一環として、横断歩道の渡り方などを再確認する。	地域との関わり ・園外に行った時は、地域の方に挨拶したり、道路の歩き方を自分で考えて歩いたりする。(2)(13)	・大きな声で挨拶できるようになる。 ・お正月遊びを楽しむ。(6)	室内環境 ・遊びや日常生活の中で、必要な数量、図形や文字、簡単な標識などに関心をもつ。(10) ・お正月遊びを楽しむ。(6)	・平仮名 ・片仮名 ・時計 ・交通標識 ・こま ・かるた	物語 ・相手に伝わる話し方ができるようになる。(7)	【え】北風のおくりもの 【え】スーホーの白い馬 【え】泣いた赤鬼 【え】ミッケ！がっこう 【え】はるがくるまで 【え】ゆきってなあに	・目的に合わせて、みんなで協力し合い、作る楽しさを味わう。(7)	・好きな遊びの時間の製作では、友達と作り方を伝え合いながら作り、それを使って遊ぶ。
	○できるだけ外に出て、全身を使う遊びを取り入れる。 ○残り少ない園生活の中で、子ども達自身が充実した遊びができるようにする。 ☆厚着した時は、自分で衣服の調節をするよう声をかける。		○一人一人が自信をもって取り組み、友達と力を合わせ、互いを認め合えるような雰囲気を作り、成長を喜び合えるようにする。 ☆小学校入学を意識し、係活動などを年中児に引き継ぐような場面を作る。 ☆園生活を思いきり楽しむことで充実感や満足感を持ち、小学校就学につながるようにする。		○天気の良い日には、できるだけ戸外で遊ぶように声をかけ、子ども自身が春の訪れに気付けるようにする。 ☆冬の自然と触れ合える環境を大切にし、試したり発見したり考えたりする楽しさを十分に味わえるように援助する。		○遊びの中で、友達と話し合ったり、計画を立てたり、ルールを決めたりするようになる。 ☆相手に伝わる話し方ができるように、援助する。		○時間をかけて、じっくり取り組む内容を取り入れたたり、みんなで1つのものを作りあげる喜びを味わえるように配慮する。 ☆子どもが表現していることについての話を聞きながら自信を付け、自分らしい表現ができるようにする。	
行事	【1月】始業式・交通安全教室・園外保育・避難訓練・誕生会・お正月遊びの日 【2月】まめまき・避難訓練・いきっこマラソン・誕生会・お別れパーティー 【3月】避難訓練・誕生会・卒園式									

前月の 子どもの 姿		月のねらい	・幼稚園で一日過ごす中で、保育室の様子や保育者のことを知る。 ・好きな遊びをやってみようとする。
		食育のねらい	給食を食べてみようとする。
生活・安全	園での生活の様子を知る。	特別保育	12日入園式、17日おやつ給食 18日給食開始、
内容		◆環境の構成及び ☆保育者の援助・配慮	
・様々な気持ちを受け止めてもらいながら過ごし、安心感を持てるようになる。 ・保育室の玩具に興味を持ち手に持って遊ぼうとする。 ・自分の身の回りの支度や一日の流れを知る。 ・給食を食べようとする。 ・午睡の仕方を知る。		☆ゆったりとした生活リズムや雰囲気づくりをする。 ☆子どもと一対一のかかわりを十分にもち、安心感が持てるようにする。 ☆身支度など保育者が手本を見せながら行う。 ◆遊びのコーナーをいくつか用意して、十分に遊べるようにする。 ☆安全に遊べるよう、子どもの様子を見守りながら、一緒に遊ぶ。 ☆楽しい気持ちを共感し、声をかけて行く。 ◆自分の棚が分かるよう、マークシールを貼っておく。 ◆トイレでのスリッパ置き場が分かるよう、テープで印をつける。 ☆保育者が子どもの遊びの区切りを見とりトイレに誘う。排泄の気持ちよさを言葉に出しながら支度していく。 ☆朝の身支度など興味を持ちながら取り組めるよう、保育者はゆったりと関わりながら一緒に取り組む。 ◆一人一人が落ち着いて食べることができるよう、机や椅子の配置を工夫する。 ☆無理なく食べられるように、量を少なくして子どもたちの様子を見てお代わりができるようにする。途中で残しても、頑張っ食べたと姿勢を認める。 ◆安心して午睡ができるよう、場所を確保する。 ◆オルゴールの音楽を用意して穏やかなで静かな雰囲気を作る。 ☆安心して午睡ができるよう、保育者は静かに見守る。 ☆午睡をしたくない子どもへは、気持ちに寄り添い、静かに遊ぶことができるようにする。	
集団活動 ・朝の集まり ・保育室散策 ・名前呼び ・こいのぼり製作		好きな遊び 室内遊び ・線路 ・ままごと ・ぬいぐるみ（お世話・おいしゃさん） ・ブロック ・ネジ ・パズル ・車・絵本 こいのぼり制作 ◆シールを十分な量を用意し、好きにシールが貼ることができるようにする。 ☆子どもの様子を見守ったり助けたりして、楽しく貼れるようにする。	
音楽 朝の歌・こどりのうた（手遊び） ぱんだうさぎこあら・ひげじいさん・あたまかたひざぽん		物語り （絵本）「いないいないばあ」「ひげじいさん」「いただきます」など	

2歳児 5月

前月の 子ども の姿	○泣いて登園する子もいるが、遊びが見つかると落ち着いて自分の好きな遊びを楽しんでいる。 ●遊びながらも急に不安になり泣き出す。	月のねらい	・保育者に見守られて安心して過ごし、生活や環境に慣れる。 ・保育者や友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。
		食育のねらい	園の給食の食べ方を知り、保育者と一緒に安心して食べようとする。
生活・安全	規則的な生活リズムの中で、気持ちよく過ごす。	特別保育	10日未就園児クラス開講式、16日創立記念の話 22日歯科検診、28日こあら組4・5月誕生会
内容		◆環境の構成及び ☆保育者の援助・配慮	
・様々な気持ちを受け止めてもらいながら安心して過ごす。 ・戸外で全身を使って遊ぶ。 ・友達のしていることに興味を持ち同じことをしようとする。 ・春の身近な自然に触れ、関心を持つ。 ・生活に必要な言葉が分かり、簡単なあいさつや返事をする。 ・手指を使った製作を楽しむ。		☆ゆったりとした生活リズムや雰囲気づくりをする。 ☆話が聞けるよう、一対一のかかわりを十分にもつ。 ◆フープや砂場道具など使いやすいように用意しておく。 ☆こどもの位置を確認しながら保育者が付き、危険がないようにする。 ☆子どもの興味を把握し、必要なおもちゃを用意する。 ☆外遊びの際、虫や花に出会える場所へ誘導する。 ☆子どもと同じ目線で自然を感じ、子どもがしたいことをともに楽しむ。 ◆朝の集まりや個別のかかわりを通して、あいさつや返事が楽しめる場面を設ける。 ☆わかりやすい言葉で声をかけ、上手に言えたことをほめて自信へつなげる。 ☆できあがった作品を目に付く場所に飾り、自分で作った満足感が味わえるようにする。 ◆この応じたペースで製作が楽しめるよう、が材料を十分に用意し、コーナーを作っておく。	
集団活動 ・朝のお返事 ・ふれあい遊び (だいすきっちゅ・動物体操) ・園内探検 ・保育室散策 ・クレヨンあそび		好きな遊び ・線路 ・ままごと ・ぬいぐるみ(お世話・おいしゃさん) ・ブロック ・ネジ ・シール、パズル ・すべり台 ・フープ ・砂場(ごはんづくり・山づくり) ・虫さがし、花さがし ・かけっこ	
音楽 朝の歌・こたりのうた・ありさん(手遊び) ぱんだうさぎこあら・こびとのくつ・ひげじいさん		物語り (絵本)「おはよう」「くっついた」「いただきます」など 紙芝居、エプロンシアター	

2歳児 6月

先月の 子どもの 姿	○保育室や保育者に慣れてきて泣いて登園してもすぐに気持ちを切り替えることができる。 ○友達の様子に興味を示し、自分もやってみようとする姿が見られ始めた。 ●友達の使っているものがほしいことが優先され、トラブルになることがある。	月のねらい	・梅雨の時期に応じた生活を送り、気持ちよく園生活を過ごす。
		食育のねらい	給食に関わるあらゆるものへ感謝の気持ちを持つ。
生活・安全	保育者と一緒に身の回りのことをしようとする。	特別保育	4日(火)お弁当の日、17日(月)こあら組プール開き、19日(水)内科検診
内容		◆環境の構成及び ☆保育者の援助・配慮	
・戸外で好きな遊びを見つけ遊ぶ。		◆ 砂場、スクーター、虫探し、花集めなどができるよう場を作り準備しておく。 ☆保育者も一緒に遊び、遊びの楽しさを共感していく。	
・身支度や片づけなど簡単な身の回りのことを保育者と一緒にしようとする。		◆ 片づけをする玩具の場所を写真や表示を用いて分かりやすく伝える。 ☆保育者も一緒に取り組み、自分でできたことを一緒に喜ぶ。	
・外に行けなくても室内で自分の好きな遊びを楽しむ。		◆ 体を動かすスパーや静かに遊ぶスペースなど、メリハリをつけたコーナーを設置して好きな遊びを楽しめるようにする。 ☆子どもの遊びを良く見て、今後の展開などを予想して玩具を用意したり、場を構成したりしていく。	
・水の感触楽しむ。		◆水遊びの動線を確認し、子ども達が無理なく安心して取り組めるよう準備する。 ☆水の感触を気持ち良いと伝わるよう、声掛けや、体ふき、シャワーをゆっくりすすめていく。	
・かいたり作ったりすることを楽しむ。		◆塗り絵や画用紙を用意し、自由にクレヨンでかけるコーナーを設置する。 ◆小麦粉粘土など柔らかいものを用意し、指先を使って好きな形が作れるような遊びの準備をする。 ☆作った満足感を味わえるようにを保育者も作った楽しさを共感していく。(保育室に飾る、自宅へ持ち返す、子どもと相談して決める。) ☆製作活動は、子どもの様子に応じて無理なく取り組めるように考え、取り組む時間などゆとりを持つようにする。	
・自分のしたいこと、してほしいことを言葉やしぐさで表す。		◆生活に必要な言葉が出てくる絵本や紙芝居を用意する。 ☆保育者がモデルとなり、積極的に言葉で伝えていき、自分のしてほしいことを少しずつ伝えられるようにする。	
集団活動 ・朝の名前呼び ・だいすきっちゅ ・スタンプ遊び ・小麦粉粘土 ・フィンガーペイント		好きな遊び ・積み木・ミニカー・バスごっこ・人形の世話・動物のフィギア・ごはん作り ・塗り絵・シールはり ・すべり台 ・フープ ・砂場(ごはんづくり・どろ団子転がし) ・虫さがし、花さがし ・かけっこ・三輪車・ボール投げ	
音楽 朝の歌・かえるのうた・ぞうさん(手遊び) ぱんだうさぎこあら・ひげじいさん・いっぽんばし・まるいたまご		物語り (絵本)「ノンタン」「もういいかい」など 紙芝居、エプロンシアター	

2歳児 7月

先月の 子どもの 姿	○園のリズムに慣れてきて、次の活動の見通しを持つ子も出始めた。 ○友達の名前を覚えて、名前を呼び合い喜んでいる。 ●身の回りの支度を張り切って取り組む子や、しない子など取り組みに差が出始めた。	月のねらい	・保育者と一緒に身の回りのことをしようとする。 ・友達と好きな遊びを楽しむ。
		食育のねらい	食材に興味を持ち、食べることを楽しむ。
生活・安全	衣服の着脱など身の回りのことを自分でやろうとする。	特別保育	3日(水)6,7月誕生会 18日(木)給食終了 19日(金)1学期終業式
内容		◆環境の構成及び ☆保育者の援助・配慮	
・水遊びの着替え、片づけなどを自分でしようとする。		◆ 着替えや片づけがしやすいよう、場所を提示したり十分なスペースを確保したりする。 ☆個に応じて見守ったり、手助けしたりして、自分でできた気持ちよさを感じられるよう援助する。	
・身支度や片づけなど簡単な身の回りのことを保育者と一緒にしようとする。		◆ 片づけをする玩具の場所を写真や表示を用いて分かりやすく伝える。 ☆保育者も一緒に取り組み、自分でできたことを一緒に喜ぶ。	
・好きな遊びを通して、友達とのかわりを楽しむ。		◆複数の子と一緒に遊びが取り組めるよう、玩具の数をある程度用意する。 ☆友達がしている遊びに興味を持てるよう、保育者が遊びを友達に紹介する。	
・水、砂、泥などで遊ぶ楽しさを感じる。		◆水遊びや砂場遊びの準備を子どもたちの様子を見て、必要なものを準備する。 (水を溜めるたらいは、思い思いに遊びを進められるよう4,5個用意する。)	
・かいたり作ったりすることを楽しむ。		◆製作の材料の準備は多めにし、何度か作れるようにする。 ☆作った満足感を味わえるようにを保育者も作った楽しさを共感していく。(保育室に飾る、自宅へ持ち返す、子どもと相談して決める。) ☆製作活動は、子どもの様子に応じて無理なく取り組めるように考え、取り組む時間などゆとりを持つようにする。	
集団活動 ・朝の名前呼び ・スタンプ遊び ・フィンガーペイント ・花紙遊び ・ふれあいダンス (にんげんっていいな)		好きな遊び ・積み木・ミニカー・バスごっこ・人形の世話・動物のフィギア・ごはん作り ・塗り絵・シールはり・粘土 ・すべり台 ・フープ ・砂場(ごはんづくり・どろ団子転がし) ・虫さがし、花さがし ・かけっこ・三輪車・ボール投げ・お誕生会ごっこ	
音楽 朝の歌・海だ (手遊び) ぱんだうさぎこあら・ひげじいさん・いっぽんばし・まるいたまご		物語り (絵本)「みずあそび」「もういいかい」 紙芝居、エプロンシアター	

前月の 子どもの 姿	(7月の様子) ○友達の名前やマークを覚え、一緒に支度をしたり、遊んだりしている。 ○保育者に慣れ、一緒に遊んだり話したりするようになった。 ●身の回りのことをすることについては、取り組みの様子に個人差が出てきた。	月のねらい	幼稚園での生活様式を思い出し、園生活を楽しむ。
		食育のねらい	楽しい雰囲気の中で、自分で食べようとする。
生活・安全	自分の生活リズムや健康状態に合わせて水分補給や休息をとり、安心して過ごす。	特別保育	11日 8・9月誕生会

内容	環境の構成及び保育者の援助・配慮
・朝の支度を保育者と一緒にやってみようとする。 ・幼稚園生活の中で、保育者や友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ・好きな遊びを自分から楽しんでいます。 ・リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。	◆棚に自分のシールをはり、自分の場所が目で見分けるようにする。 ☆一学期に取り組んでいた支度を思い出しながらできるよう、声掛けをしたりできたことを認めたりしていく。 ☆出席シールを保育者と一緒にはり、園に来た喜びを感じられるようにする。 ◆発語のきっかけになりそうな絵本を子どもたちが手に取りやすいよう置いておく。 ☆保育者が積極的に「おはよう」や「ありがとう」などを機会を見て話す。 ☆同じ玩具で遊ぶ友達の間保育者が入り「貸して」や「それいいね」など保育者がモデルとなり伝えていく。 ☆絵を描いたり粘土で作ったりしたときに子どもの発語が出やすいことから、遊びの機会を増やしていく。 ◆自分の好きな遊びが十分にできるよう、玩具の数や遊びコーナーを用意する。 ☆部屋をウロウロしている子どもには、保育者が遊びに誘い一緒に遊びを楽しめるようにする。 ☆毎日の遊びの様子を見て、翌日以降にどんな玩具を用意するか検討し、毎日を楽しく過ごせるようにしていく。 ☆暑い日はこまめに休憩をとるようにしたり、日影で遊びができるようコーナーを準備する。 ◆一学期に取り組んだ手遊びの音源を用意し、いつでも楽しめるように準備する。 ☆保育者が率先して体を動かし、子どもたちが真似しやすいようにする。 ☆思い思いの体の動かし方も認め、楽しい気持ちを共感する。
集団活動 ・朝の名前呼び ・シール貼り ・ふれあいダンス (にんげんっていいな)	好きな遊び ・積み木・ミニカー・バスごっこ・人形遊び・ごはん作り・サーキット遊び ・塗り絵・シールはり・粘土 ・すべり台 ・フープ ・砂場(ごはんづくり・どろ団子転がし) ・虫さがし、花さがし ・かけっこ・三輪車・ボール投げ・お誕生会ごっこ
音楽 ・朝の歌 (手遊び) ぱんだうさぎこあら・ひげじいさん・いっぽんばし・まるいたまご	物語り (絵本)「おつきさまこんばんは」「きんぎょがにげた」

前月の 子どもの 姿	○暑い日が続いたことや、中庭で思いきり遊んだことで、全員が午睡をする日が多かった。 ○友達の名前を呼んだり、挨拶したりする姿が多く見られた。 ●疲れからなのか、機嫌が悪くなり怒ったり泣いたりする子がいた。	月のねらい	自分で身支度をしようとする。
		食育のねらい	皿や椀に残った食べ物を集めて食べる。
生活・安全	適切な休息を取りながら、快適に過ごす。	特別保育	11日(金) 11時30分降園<午前保育> 12日(土) 休園日 29日(火) 避難訓練<地震>
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・全身や遊具を使って遊ぶ。 ・好きな遊びの中で、気が合う友達と関わりながら遊ぶことを楽しむ。 ・戸外で、秋の植物や生き物に興味をもつ。 ・木の実や落ち葉を遊びに取り入れ、秋の自然を感じる。 ・皿や椀に手を添えたり、持ったりして意欲的に食べようとする。		◆室内用の鉄棒・平均台・すべり台・ウェイブバランス・ケンパリングなど、子ども達が体を使って遊びたい遊具を準備しておく。 ☆子ども達が怪我をしないよう、用具の安全確認をしっかりと行い、遊ぶ様子をしっかりと見守る。 ◆コーナー遊びの環境を整え、子どもが好きな遊びをしやすいようにする。 ☆好きな遊びを通して気が合う友達を見つけられるように、保育者が声掛けをして一緒に遊べるよう配慮する。 ◆秋の植物や生き物の写真や図鑑を準備し、子ども達の目に入りやすいようにする。 ☆戸外で遊ぶ際に、見たり触れたりできるように声掛けをする。 ◆靴箱の上のスペースに、木の実や落ち葉を展示する。 ☆木の実や落ち葉を使った遊びを先ずは保育者と一緒に行い、その後は自分で遊びが展開していけるようきっかけを作る。 ◆皿や椀の正しい持ち方を、ままごと遊びを通して知るきっかけを作る。 ☆給食の献立を伝える際に、常に持ち方の手本を行いながら、子ども一人ずつの持ち方を把握する。	
集団活動		好きな遊び	
・朝の輪での名前呼び(子ども達が友達を呼ぶ) ・準備体操 ・おにごっこ ・玉入れ		・家作り・積み木・パズル・絵本・ままごと・人形の世話 ・粘土遊び・ぬりえ・シール貼り ・砂場(ごはん作り・型抜き)・かけっこ・おにごっこ・三輪車 ・カメ、ダンゴムシ、アリの観察・木の実や落ち葉探し	
音楽		物語り	
・朝の歌・帰りの歌 ・かわいいかくれんぼ(手遊び) ・大きな栗の木の下で・どんぐりころころ		(絵本)「くつくつあるけ」「どうすれば いいのかな？」 (紙芝居)「りんごの き」「ゴロゴロゴロン」	

前月の 子ども の姿	○スクールバス時刻表変更に伴い、遊ぶ友達が 変わり遊び方に変化が見られる。また、異年齢児 が遊びに来ることが多く、良い刺激になっていた。 ●保育者が話している時などに、一人の子どもが 走り出すと、一緒に走り出しつられてしまう子が多 かった。時と場合に合っていない行動をする子の 真似をすることが増えた。	月のねらい	自分から友達の名前を呼んだり、挨拶をしたり する。
		食育のねらい	スプーン・フォークの持ち方に気をつけながら、 給食を食べる。
生活・ 安全	衣服の調節を行いながら、健康に過ごす。	特別保育	8日(金) こあらぐみ運動会 預かり保育無し 12日(火) こあらぐみ誕生会 <10月&11月誕生児> 13日(水) お弁当の日
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・尿意や便意を感じ、トイレで排泄する。 ・保育者や友達と、色々なやり取りを楽しむ。 ・園外へ散歩に出掛け、秋の自然の中で活動的に過ごす。 ・自分の思いを伝えようとする。 ・スプーンやフォークの正しい持ち方を知り、意識しながら給食を食べる。		◆園庭で遊んでいる際のトイレの場所(年中組トイレ)を伝え、保育室以外の場所でもいつでも排泄に行くことができることを伝える。 ☆トイレで排泄ができたことを大いに褒め、自信につなげる。 ◆ままごとの役割分担をしたり、玩具の貸し借りや順番を守る場面などを作ったりする。 ☆その時・その場所に合った触れ合い方や話し方ができているか見守り、声を掛ける。 ◆園外へ散歩に出掛ける機会を多く作る。また、紅葉や木の実などに気付ける声掛けをする。 ☆散歩時の約束事をしっかりと伝え、園内での実践を重ねてから、園外に出掛ける。また、道路を歩く際や公園などでも、子ども達から絶対に目を離さない。常に人数確認を行う。 ◆子どもが困っている時や何か言いたそうにしている時などはすぐに声を掛けず、自分から話し出すのを待つようにする。 ☆子どもの気持ちを汲み取り、言葉にする援助をする。 ◆給食の献立を伝える際に、常に持ち方の手本を行いながら、子ども一人ずつの持ち方を把握する。 ☆子どもの持ち方を保護者にも伝え、正しい持ち方ができるようになるよう家庭と園で協力をする。	
集団活動		好きな遊び	
・朝の輪での名前呼び(子ども達が友達を呼ぶ) ・園外への散歩 ・すもう ・ダンス		・ブロック・ままごと・人形の世話・ケンパリング・平均台・玉入れ ・粘土遊び・ぬりえ・お絵描き ・かけっこ・おにごっこ・フラフープ・築山・すべりだい・ジャングルジム ・木の実や落ち葉探し	
音楽		物語り	
・朝の歌・帰りの歌 ・おおきなくりのきのしたて(手遊び) ・あたまかたひざポン ・やきいもグーチーパー		(絵本)「すっくの こんなときって なんていう?」「おべんとう なあにかな?」 (紙芝居)「でるかな? うんち」「まねっこクンクン」	

前月の 子どもの 姿	○園外へ散歩に出掛け、幼稚園にはない木の実や葉、景色に触れることができた。また、交通ルールについて学ぶ機会になった。 ●自我が芽生え始めた子や強くなった子が多く、トラブルが起こりやすかった。自分の気持ちと友達の気持ちを整理する時間を作っていた。	月のねらい	○手洗いを丁寧に行う。 ○戸外で元気に遊ぶ。
		食育のねらい	配膳中は、静かに待とうとする。
生活・安全	手洗いを必要に応じて行い、快適に過ごす。	特別保育	3日(火) 避難訓練(スクールバス) 16日(月)～18日(水) 全国児個人懇談 <13時30分降園> 18日(水) 給食終了 19日(木)～20日(金) 全国児個人懇談<11時30分降園> 23日(月) 終業式
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・手洗いを丁寧に行い、病気になるようにする。 ・衣服の脱ぎ着を自分でしようとする。 ・友達と関わる中で、我慢したり待ったりする。 ・冬の行事に興味をもち、楽しみにする。 ・ダンスや楽器遊びに楽しんで参加する。		◆手洗いの仕方のポスターを、子ども達の目が届きやすい位置に貼る。 ☆手洗いの仕方を再度確認する。また、排泄後・戸外から保育室に戻ってきた時など適宜、声を掛ける。 ◆ジャンパーやパーカーの置き場所を伝える。 ☆畳み方を一緒に行い、自分でやってみたいという気持ちを高める。また、畳み方を口ずさみながらできるようにする。着る際は、見守りながら必要な援助を行う。 ◆同じ遊びを友達と楽しく共有できるコーナーをいくつか作る。 ☆玩具の貸し借りの仕方を再度確認する。また、トラブルになった際は、順番を決めるなどして、お互いが納得できるようにする。 ◆クリスマスに関する製作を行う。また、クリスマスやお正月に関する絵本・紙芝居・音楽に触れられるようにする。 ☆クリスマスに関する話を保育者が楽しそうに伝えることで、子ども達にも楽しさが伝わるようにする。また、お正月に関する話では、挨拶など伝統的なことも併せて伝える。 ◆好きな遊びの時間にも音楽を流し、子ども達が自由に踊ったり、楽器を鳴らしたりできる環境を作る。また、保育室内に楽器を準備し、子ども達が興味をもって自分から触れられるようにする。 ☆好きなように踊るダンスや楽器遊びを認める声掛けを多く行い、子ども達が自信をもって楽しく活動できるようにする。	
集団活動		好きな遊び	
・朝の輪での名前呼び(子ども達が友達を呼ぶ) ・ダンス ・楽器遊び ・しっぽとり ・色つきおに		・ブロック・変身ごっこ・お家作り・人形の世話・つみき ・型抜きした色画用紙をのりで貼る・粘土遊び ・築山・すべりだい・ブランコ・サッカー・三輪車・スクーター	
音楽		物語り	
・朝の歌・帰りの歌 ・赤鼻のトナカイ ・おもちゃのチャチャチャ(手遊び) ・サンタがやってくる		(絵本)「パンダ なりきりたいそう」「まどから☆おくりもの」 (紙芝居)「あんなちゃんのおさんぽ」「くーすけのクリスマス」	

前月の 子どもの 姿	○いきっこども劇場の様子を見たり、他クラスの保育室に遊びに行ったりするなどして、異年齢児との交流を多くもつことができた。 ●16名のクラスになり、集団で活動する際に話が届きにくかったり、思い通りにならず機嫌が悪くなる子が増えたりした。	月のねらい	・上着を自分で脱いだり着たりしようとする。また、丁寧に畳む。 ・戸外で、思いきり動いて遊び、体が温かくなることを感じる。
		食育のねらい	こぼさないように、ゆっくり落ち着いて食べる。
生活・安全	戸外遊びを楽しみながら、健康に過ごす。	特別保育	8日(水) 始業式 9日(木) 給食開始 16日(木) お弁当の日 22日(水) 避難訓練<その他> 28日(火) こあらぐみ誕生会<12月&1月誕生児>

内容	◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮
・戸外遊びの後、手洗い・うがいを進んでする。 ・集団でルールのある遊びを楽しむ。 ・保育者と一緒に片付けをしてから、次の遊びを楽しむ。 ・雪や氷、霜などの自然現象に興味をもち、見たり、触れたりすることを楽しむ。 ・はさみやのりに親しみ、使ってみようとする。	◆手洗いやうがいに関する絵本や紙芝居を読み、大切さを伝える。 ☆戸外遊びから保育室に戻ってきた時に、手でコップを作って水を口に含む手本を、子ども達の前で行う。毎回、実際に行うことで、子ども達が自分もしてみようという気持ちもてるようにする。 ◆しっぽや椅子などの物を用いて遊び、子どもが視覚的に分かりやすいようにする。 ☆鬼になりたいのか・なりたくないのか本人の意思を見極めながら、全員が楽しめるように工夫する。 ◆片付けがしやすいように、どこに・何を・どのように片付けるのか、写真で見えやすく表示する。 ☆別の遊びに興味を示した際に、片付ける玩具を手渡して、自分で片付けられるようにする。また、きちんと片付けができたことを褒めて、自信に繋げる。 ◆氷ができるように、前日にタライなどに水を張っておく。 ☆子ども達が自分から見たり触れたりできるような場所を作る。また、発見した時にすぐに行けるように時間に余裕をもっておく。 ◆好きな遊びの時間に、自由に使って遊べるように、はさみ・のり・画用紙などを準備する。 ☆はさみを使用する際は、必ず保育者が近くにいることの約束事をしっかりと伝える。
集団活動	好きな遊び
・自己紹介 ・ダンス ・しっぽとり ・椅子取り ・マラソン	・ブロック・たたかいごっこ・変身ごっこ・ゴルフ・パズル ・粘土遊び・おえかき・はさみで画用紙を切る・のりで貼る ・築山・ブランコ・太鼓橋・スクーター・トロッコ
音楽	物語り
・朝の歌・帰りの歌 ・雪のペンキ屋さん(手遊び) ・おでん・まめまき	(絵本)「おおきなかぶ」「おみせやさんに なろう!」 (紙芝居)「おきがえ おきがえ」「くまさんのあたらしいカーテン」

前月の 子ども の姿	○週によって玩具を変えることで、遊び方の幅が広がった。また、友達関係にも変化が見られた。 ●寒さの影響もあり、園庭や遊戯室で遊ぶ際に、排泄の失敗をする子が多かった。まだ自分で尿意を感じ、保育者に伝えることが難しい。	月のねらい	・友達と一緒に、様々な活動を楽しむ。 ・身支度の仕方を振り返り、丁寧に自分で行う。
		食育のねらい	反対の手で、椀や皿を持って食べる。
生活・安全	手洗い・うがいを十分に行い、健康に過ごす。	特別保育	3日(月) まめまき 4日(火) 避難訓練<その他> 19日(水) お楽しみ参観・13時30分降園 21日(金) お弁当の日 26日(水) こあらぐみ誕生会<2月&3月誕生児>
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・身の回りのことに意欲をもつ。 ・食具の持ち方が身につく。 ・友達に関わりながら、相手にも思いがあることに気付く。 ・生活や遊びの中で、順番があることが分かる。 ・楽器を使って、リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。		◆保育者ではなく友達を手本として、自分でしようとする気持ちを高める。 ☆手本となっている友達を褒めることで、本児のやる気を引き出し、自分でできた時には褒め自信に繋がられるようにする。 ◆食具の正しい持ち方のイラストを、給食時間にも目に入りやすい場所に掲示する。 ☆食事のマナーを知らせ、自分で気付いて直せるような声掛けを多くする。 ◆セカンドステップの表情のカードを用いて、相手がどんな思いなのかを表情から知る機会を作る。 ☆その都度、相手の喜怒哀楽が分かるように保育者が言葉にして伝え、自分でも気付けるように援助する。 ◆生活や遊びの中で、保育者が順番を守ることの大切さを演じ、なぜ順番を守らなければいけないのかが伝わるようにする。 ☆待ったり我慢できたりした時には大いに褒め、自分が成長し進級に向けての準備ができていることにも気付けるような声掛けをする。 ◆好きな遊びの時間に、自由に楽器に触れられる環境を作る。 ☆子ども達が興味をもてるように、保育者が手本となって、音楽を流しリズムに合わせて鳴らして楽しむ姿を見せる。	
集団活動		好きな遊び	
・自己紹介 ・楽器遊び ・だるまさんがころんだ ・あぶくたった ・フルーツバスケット		・ブロック・レストランごっこ・線路を繋げて電車遊び・ウェイブバランス ・ぬりえ・お絵描き・はさみで画用紙を切る・のりで貼る ・マラソン・凧揚げ・おにごっこ・太鼓橋・築山・すべりだい	
音楽		物語り	
・朝の歌・帰りの歌 ・コンコンクシャンのうた ・ぞうさんのぼうし(楽器遊び) ・おもちゃのチャチャチャ		(絵本)「あっぷっぷ」「くもりのちはれ せんたくかあちゃん」 (紙芝居)「ごしごしごし」「おひなさまがうまれたよ!」	

前月の 子どもの 姿	○15名がパンツに移行することができた。また、尿意や便意を感じ、自分でトイレに行く子が増えた。 ●保育者が話をしている途中で、自分の思いや考えを話し始める子が多い。最後まで話を聞くことが難しい。	月のねらい	○友達とふれ合いながら、クラスみんなで遊びを楽しむ。 ○年少組に進級することを知り、他学年の様子を見学し、進級することを楽しみにする。
生活・安全	気温差に留意し、健康で快適に過ごす。	食育のねらい	みんなで楽しく、おいしく給食をいただく。
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・進級に向けての意欲をもつ。 ・配膳中や食事のマナーを再確認し、身につける。 ・友達と一緒に、集団遊びを楽しむ。 ・散歩に出掛け、春の自然に触れる。 ・保育者や友達と言葉のやり取りをする。		◆年少組保育室で遊んだり見学したりする。また、タオル掛けの場所を変えたり廊下からトイレに出入りしたりする。 ☆園生活の流れの中で、子ども達が自発的に動いている際は、声掛けを少なくし見守るようにする。 ◆マナーについてクイズをし、子ども達が楽しみながら再確認できるようにする。 ☆上手にできている時には大いに褒め、自信に繋げる。 ◆集団遊びをする際は、視覚からもルールが理解しやすいようにカードなどを準備し、工夫する。 ☆一人や少人数ではなくクラス全員で遊ぶ楽しさに触れる機会を設け、保育者も思いきり遊び、全身で楽しさを伝える。 ◆春を感じられる散歩コースや公園、草花や虫がいる場所を事前に確認しておく。 ☆子どもが気付いたことに丁寧に応じ、自然の変化を共有する。 ◆一人一人の子どもとゆっくり話す時間を作り、どのくらいコミュニケーションが取れるのか把握する。 ☆遊びの中で子ども同士の会話を聞き、話が進みやすくなる声掛けを行う。	
集団活動		好きな遊び	
・自己紹介 ・ダンス ・宝探しゲーム ・かごめかごめ		・ブロック・ままごと・ウェイブバランス・パズル・ジスター ・ぬりえ・粘土遊び・はさみで画用紙を切る・のりで貼る ・マラソン・あぶくたった・ボール遊び・スクーター・三輪車	
音楽		物語り	
・朝の歌・帰りの歌 ・ぶんぶんぶん・ちょうちょう ・よいこのうた(園歌) (手遊び) ・キャベツの中から		(絵本)「ぐるんぱのようちえん」「はらぺこあおむし」 (紙芝居)「はみがきやさんですよ」「ボタンちゃん」	

令和6年度年少 4 月

予想される 子どもの姿	・初めての園生活で、保護者と離れる ことに不安を感じたり、戸惑ったりする 様子が見られる。 ・自分のマークを知り、自分の場所を 探そうとする。	月のねらい	
		食育のねらい	・給食の準備や食べ方を知る。
生活・安全	・保育室や外あそびのおもちゃの場所 を知り、自分で好きなあそびをする。 ・安全に思い切りあそぶ。	特別保育	12日 入園式 15日～19日 全園児個人懇談 17日 おやつ給食 18日 給食開始 24日 誕生会 26日 全園児親子遠足
内容		◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮	
・身支度、排泄、着脱などの身の 回りのことを、保育者と一緒に行 う。		☆身の回りのことを、自分でしようとする気持ちを受けとめて、朝の流れを教えたり、一緒に援助をしたりして知らせていく。 ◆着替えやすいように、各自の場所の確保をする。 ☆自分でできた事を十分に認め、安心感や満足感を持てるようにする。	
・保育室の玩具の使い方や、片付 け肩を知る。		◆保育室の玩具の量を減らす。 ☆玩具の使い方や、写真を見ながら片付けることを伝え、安全にみんなで楽しく遊び ができるようにする。	
・自分の好きなあそびを見つけ て、安心して繰り返しあそぶ。		◆登園後、すぐにあそび始める事ができるように、環境を変えて遊びのコーナーを作 る。コーナーを作ることで、集中して遊ぶことができる。 ☆あそびを見つけれない子どもには、そばに寄り添ったり、興味のありそうな 事を一緒にしながらその子どものペースで過ごせるようにする。	
・戸外で体を動かしたり、身近な 自然に触れながら、春の季節を感 じる。		☆保育者が、一緒に体を動かしてあそんだり、飼育物や身近な草花、虫を見たり、 触ったりする中で、戸外であそぶ楽しさや興味を持ったことに共感していく。 ◆いろんな遊具や玩具の道具に興味が行くように、子どもが見える目線に置いてお く。	
・砂などの感触を楽しみながらあ そぶ。		☆保育者も一緒に砂あそびや、ままごとあそびなどをして、あそびの中で物の取り合 いになった時等は、気持ちを受けとめたり、気分転換を図っていく。	
・親子遠足について知る。		☆初めての親子遠足について、話す。道路を歩くときは、しっかり保護者と手を繋 ぎ、渡る際は、右・左を見て、車が来ていないことを確認をするため保育者の話をよく 聞くことを伝え、当日、保護者・子ども達と一緒に車が来ていないかきちんと確認 をして安全さと危険さを知ることができた。	
・好きなあそびの時間に、自分の クレヨンを使って絵を描いたりし て、あそんでみる。		☆自分のクレヨンを使って、自分の顔や動物などの好きな絵を描いたり、色を知らない 子どもに保育者が教えたり、友達同士で教えあったりして楽しめるようにする。	
集団活動		好きな遊び	
・ふれあいあそび 「だいすきっちゃん」 ・親子遠足		(室内) ・製作(クレヨンであそぶ) ・ままごと ・大型ブロック	(戸外) ・砂あそび(ままごと、泥団子作り、山作り) ・三輪車 ・虫探し(ダンゴムシ、アリ) ・(中庭)遊具(滑り台)
音楽		物語り	
歌・チューリップ ・こいのぼり ・小鳥のうた		絵本・だるまさんシリーズ 紙芝居・まあるいまあるい ・おおきなあれおおきなあれ	

令和6年度 年少 5 月

前月の 子どもの姿	・保育者に親しみをもち、笑顔で登園する子どもがいる一方で緊張や不安が見られる子どももいる。 ・花摘み、虫探し、ままごと等中庭で春の自然に触れあそんでいる。	月のねらい	・簡単な身の回りの事をしようとする。 ・戸外で保育者や友だちと一緒に、体を動かす事を楽しむ。
		食育のねらい	・保育者や友だちと一緒に食べる楽しさを知る。
生活・安全	・保育時間が長くなることで疲れも出やすくなるので体調を見ながらゆったり過ごしたり、水分補給を取る時間を設けて行く。 ・アレルギーを持つ子どもの情報は、職員間で連携を図り、配慮する。	特別保育	14日 避難訓練（火災） 16日 創立記念の話 17日 創立記念日 21.22日 歯科検診 24日 誕生会 27日 教育実習
内容	◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮		
・身支度、排泄、着脱などの身の回りのことを、保育者と一緒に行う。 ・遊具の使い方や片付け方などの園内の約束事を知る。 ・自分のすきなあそびを見つけて、安心して繰り返しあそぶ。 ・戸外で体を動かしたり、身近な自然に触れながら、春の季節の心地よさや解放感を感じる。 ・水や砂などの感触を楽しみながらあそぶ。 ・避難訓練の動きを知り、保育者と一緒に動く。 ・制作の材料を使って自由に作り、絵具や筆を使って見る。（こいのぼり、小鳥）	☆身の回りのことを、自分でしようとする気持ちを受けとめながら、手伝ったり、やり方を知らせたりする。 ◆着替えやすいように、各自の場所の確保をする。 ☆自分でできた事を十分に認め、安心感や満足感を持てるようにする。 ◆園庭等の園内探検をする。 ☆遊具の使い方や約束事を知らせ、園への安心感や興味を持つ事ができるようにする。 ◆登園後、すぐにあそび始める事ができるように、ままごとやブロックを前日のあそびの続きのようにおいて置く。徐々にしておく量を減らしていき、自分の好きな場所を作っていくようにする。 ☆あそびを見つけれない子どもには、そばに寄り添ったり、興味のあるような事を一緒にしながらその子どものペースで過ごせるようにする。 ☆保育者が、一緒に体を動かしてあそんだり、飼育物や身近な草花、虫を見たり、触ったりする中で、戸外であそぶ楽しさや興味を持ったことに共感していく。 ◆遊具を分類し、取り出しやすい場所に用意して置く。 ☆保育者も一緒に砂あそびや、ままごとあそびなどをして、あそびの中で物の取り扱いになった時等は、気持ちを受けとめたり、気分転換を図っていく。 ☆初めて参加する避難訓練は、事前にクラスで話をし、避難訓練のことをわかりやすく知らせ、保育者の話や放送をよく聞くことを伝え、みんなで一緒に避難することを体感を通して知る事ができるようにする。 ☆自分のクレヨンで自由に描きながら、保育者の用意した絵具ではじき絵をしてこいのぼりや小鳥を作る楽しさを感じ、制作あそびをを楽しくする。		
集団活動	好きな遊び		
・ふれあいあそび 「だいすきっちゃん」「あくしゅでこんにちは」 ・園内探検（中庭散策、園庭であそぶ）	（室内） ・制作（クレヨンで絵を描く） ・ままごと ・大型ブロック、レゴブロック ・パズル （戸外） ・砂あそび（ままごと、穴掘り、山作り） ・三輪車 ・虫探し（ダンゴムシ、ちょうちょ） ・大型遊具（滑り台）		
音楽	物語り		
歌・こいのぼり ・小鳥のうた ・犬のおまわりさん	絵本・ダンゴムシのぼん・ぶくちゃんのすてきなパンツ ・はけたよはけたよ ・ノンタンシリーズ 紙芝居・ごきげんのわるいコックさん ・ボタンちゃん ・おむすびころりん 等		

令和6年度 年少 6 月

前月の 子どもの姿	○園での生活の流れが分かってきて、自分で身支度などをしようとしていたり、保育者に促されながらしたりしている。 ○春の気候の気持ち良さを感じながら、園庭に出て体を動かしたり、花や虫を探したりすることを楽しんでいる。 ●気候が暑くなってきたこともあり、週末になると、体調を崩し気味である。	月のねらい	・保育者や友だちと一緒に過ごす中で、好きなあそびを十分に楽しむ。 ・梅雨期ならではの自然に興味をもち、見たり触れたりして親しむ。
生活・安全	・歯と口の健康週間を通して、口の中をきれいにする大切さを絵本や紙芝居等で知らせる。 ・高温多湿の日には、保育室内の温度調節をしたり、水分補給などをする。	食育のねらい	・食事をすることを楽しみにする。 ・栽培している夏野菜の生長を楽しみにし、見たり触れたりする。
		特別保育	3日(月)～教育実習① 8日まで 8日(土)ファミリーデー 13日(木)プール開き 19日(水)内科検診 20日(木)誕生会 24日～(金)教育実習② 27日 避難訓練(地震)
内容	◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮		
・登降園時の身支度や片付け、給食の準備を自分でしようとする。 ・水あそびの仕方を知り、保育者に手伝ってもらいながらできることは、自分でしようとする。 ・興味の持った場所や遊具で自分のしたいあそびを繰り返し楽しむ。 ・自分のしたいことや困ったことを、保育者や友だちに言葉やしぐさで伝えようとする。 ・水、砂、泥等の感触を楽しむ。 ・栽培物に水やりをしたり、生長を喜んだりする。 ・雨の様子を見たり、雨上がりの戸外であそんだりする。 ・様々な素材を使って玩具を自由に作る。 ・避難訓練(地震)の動きを知り、保育者と一緒に動く。	☆登降園時の身支度や片付けでは、自分でしようとしている姿を認め、できた喜びに共感したり、きれいになった気持ち良さを伝えたりする。 ◆水あそびの準備や後始末が分かりやすいように絵で示したりする。 ☆水あそび後の着替えの時間に余裕が持てるようにし、保育者も手伝ったりしながら少しずつ自分でできるようにする。 ◆前にあそんだ物を取り出しやすい場所に用意しておく。 ☆気候や子どもの興味に合わせて新たにあそびを提示したり、必要な物を一緒に作ったりする。 ☆物の取り扱いなどのトラブルの時には、それぞれの気持ちを十分に受けとめながら、気持ちを代弁したり、「貸して」など必要な言葉を言えるように伝える。 ◆水、砂、泥あそびが楽しめるようにじょうろやバケツ、空容器等を用意しておく。 ☆水あそびに抵抗のある子どもも無理なく興味を持てるようにする。 ◆見つけたダンゴムシやカタツムリ等を飼育ケースに入れて目につきやすい場所においておく。 ☆トマトやオクラに水やりをしながら、生長を楽しみにする気持ちに共感し、興味を持てるようにする。 ☆雨上がりの戸外に出て水たまりであそんだり、ぬれた草木に触れたりして梅雨期の自然に親しめるようにする。 ☆いろいろな素材に触れながら玩具を自由に作るあそびを楽しめるようにする。 ◆セロハンテープ、空き箱、トイレットペーパーやラップの芯等の素材を用意しておく。 ☆地震が起きた時の避難の仕方を伝え、頭巾のかぶり方等を一緒にしながら避難する。		
集団活動	好きな遊び		
・ダンス エビカニクス ・盆踊り 月夜のボンチャラリン ・わらべうたあそび おふねが ・七夕製作「七夕飾り」	(室内)	(戸外)	・製作(クレヨンで絵を描く)・粘土 ・ままごと ・大型ブロック、レゴブロック ・パズル ・砂あそび(ままごと、穴掘り、山登り) ・三輪車、スクーター ・虫探し(ダンゴムシ、ちょうちょ) ・大型遊具(滑り台、ブランコ、ジャングルジム)
音楽	物語り		
歌・とけいのうた ・かたつおり ・かえるのうた ・みずあそび	絵本・ぞうくんのあめふりさんぽ ・ねないこだれだ 紙芝居・ひよこちゃん	・こぐまちゃんのみずあそび ・ルルちゃんのくつした ・おおきくおおきくおおきなあれ等	

前月の 子どもの姿	○生活の仕方や手順が分かり、簡単な身の回りのことを自分でしようとしている。 ○様々な遊具や玩具、素材に興味を持ち、好きなあそびを楽しんでいる。 ●早くあそびに入りたくて、身支度が途中のままあそびに入る子どもがいる。 ○友だちのしている事に気が付き、真似をしたり、一緒にあそぼうとしている。	月のねらい	・身の回りのことを自分でしようとする。 ・好きなあそびを十分に楽しみながら、友だちに関心を持ち、関わってあそぶ。 ・夏ならではのあそびを楽しむ。
		食育のねらい	・食事のマナーを知り、行おうとする。 ・栽培している夏野菜の生長を楽しみにし、見たり触れたりする中で野菜に興味を持ち、食べる。
生活・安全	・室内の温度調整をして、水分補給を細目に行い、熱中症対策を行う。 ・プールあそびでは、安全第一を考え、人数確認、水温、衛生、子どもの体調変化に注意しながら、楽しくあそべるようにする。	特別保育	1日（月）～5日（金）教育実習② 2日（火）7月誕生会 9日（木）8月誕生会 5日（金）なつまつり 10日（水）避難訓練（不審者） 11日（木）クラス懇談会（すずめ組） 12日（金）クラス懇談会（ひよこ組） 18日（木）プール納会、給食終了 19日（金）1学期就業式
内容		◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮	
・身の回りの支度、昼食の準備や片付けなどを自分でしようとする。 ・プールあそびや水あそびの準備や後始末等できないところを保育者に手伝ってもらいながら自分でしようとする。 ・保育者や友だちと好きなあそびを楽しみながら、真似たり、言葉を交わしたりしてあそぶ楽しさを味わう。 ・紙を切る、折る、素材を選び、好きな物を作る、作った物を友だちと見せ合い、やり取りをして一緒にあそぶ。 ・水、砂、泥等の感触を楽しみ、様々に変化する素材の面白さを楽しむ。 ・梅雨から夏の空の様子、雨の降り方などの自然現象に興味を持つ。 ・草花や夏野菜を見たり、触れたり摘んだりして親しみをもち、収穫を楽しみにする。		☆自分でしようとしている姿を認め、見守りながら、できた達成感や喜びに共感し、次回もしようという意欲につなげる。 ◆水あそびの準備や後始末が分かりやすいように絵で示したりして、繰り返し伝えていく。 ☆具体的な場面を捉えてその都度知らせて行く。 ◆着替えの時間やスペースにゆとりを持てるようにする。 ☆体を丁寧に拭く、衣服の前後を確かめる等、一人、ひとりの状態に応じて声をかけたり、手伝ったりしていく。 ☆子ども同士の言葉のやり取りや関わりを見守り、思いや考えの橋渡しが必要な時を見極めて援助し、友だちとあそぶ楽しさを感じられるようにする。 ☆トラブルの時には、それぞれの気持ちに寄り添い、思いを受けとめながら、互いの気持ちを代弁したり、必要な言葉や順番に気付けるようにしたりしていく。 ◆いつでも好きな物を作ってあそべるように廃材等を用意しておく。 ☆はさみを使う時には、個人差があるので見守りながら、その都度必要に応じた援助をする。 ☆折り紙では、保育者や友だちと紙を折る楽しさや出来た満足感や達成感を味わえるような声かけをする。 ◆水、砂、泥あそびに触れて満足してあそべるように時間、場所、用具を揃え、整えておく。 ☆それぞれの楽しみ方を大切にして、子どもの気持ちや気付きを受け止め、他児にも伝えて行く。 ◆空や雲、雨などの写真、自然物や絵本や図鑑等をいつでも見れるように、手に取りやすいようにしておく。 ☆セミの鳴き声や入道雲や雷を見つけたたりして夏の自然にふれ、気付や発見に共感していく。 ☆コスモスやトマトやオクラに水やりをしながら、生長を楽しみにする気持ちに共感し、興味を持てるようにする。	
集団活動		好きな遊び	
・ダンス にんげんっていいな ・盆踊り 月夜のボンチャラリン ・わらべうたあそび おおなみなみ ・七夕製作「七夕飾り」		（室内） ・製作（クレヨンで絵を描く）・粘土 ・ままごと ・大型ブロック、レゴブロック ・パズル （戸外） ・砂あそび（ままごと、穴掘り、山登り） ・三輪車、スクーター ・虫探し（ダンゴムシ、ちょうちょ） ・大型遊具（滑り台、ブランコ、ジャングルジム）	
音楽		物語り	
歌・みずあそび・きらきら星 ・たなばたさま ・アイアイ ・トマト		絵本・ぞうさんのさんぽ ・かき氷 ・14ひきのせんたく 紙芝居 うみのおまつり クレヨンさんのけんか	

令和6年度 年少 9 月

前月の 子どもの姿	○各家庭で夏休みを過ごし、いろいろな経験をしている。 ●夏休みで生活リズムが崩れている子どももいる。	月のねらい	・園生活の流れを思い出し、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者や友達と一緒に体を十分に動かすことを楽しむ。
生活・安全	・手洗いの習慣がつくようによくように繰り返し伝える。 ・こまめに水分補給をし、休息を十分にしながら過ごす。 ・固定遊具などのあそび方を思い出しながら安全にあそびを楽しむ。	食育のねらい	・当番活動を楽しみにして意欲的に取り組む。食事をすることを楽しみにする。
		特別保育	2日（月）始業式 3日（火）給食開始 5日（木）避難訓練 6日（金）観劇会 書道パフォーマンス 9日（月）クラス懇談（パンダ組） 10日（火）クラス懇談（パンビ組） 12日（木）保育参観（年長） 20日（金）～10/4日（金）教育実習①
内容		◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮	
・園生活のリズムを取り戻し、安心して過ごす。 ・身支度、身の回り、昼食の準備（箸・コップ）を名前も間違えないように自分の場所に片付けなど自分でしようとする。 ・保育室にある玩具や絵本に感謝の気持ちを持って大事に使って遊ぼうとする。 ・いろんな遊びに触れていく。 ・運動会について知る。 ・運動会に向けて、体を動かしたり、思い切り走ったりして楽しむ。 ・季節の虫を探して、自然に触れる。 ・自分のペースでゆっくり好きな遊びをする。 ・避難訓練（火災）の動きについて知る。		☆保育者に手伝ってもらいながら、生活の仕方を思い出し、不安を取り除く。 ☆身の回りのことは自分でして、箸やコップなどを間違えないように自分のカバンに入れるように知らせていく。 ☆子ども達に繰り返し伝えていく。 ◆保育室の玩具を新しく出す。 ☆玩具の使い方を子ども達と一緒に確認をする。 ◆環境構成を変えて、保育室の玩具やコーナー遊びに触れるような場所を作る。 ☆子どもが興味を持てるような遊びにして、楽しく過ごせるようにする。 ☆保育者も一緒に遊んだりして子どもが興味を持てるような環境を作っていく。 ◆いろんな玩具に目が行くように、子どもの視線に合わせた位置に置いたり、写真を貼ったりして、用意しておく。 ☆初めての運動会について話す。かけっこ・ダンスをするということを知り、子ども達と一緒に楽しい運動会にする。 ☆保育者も一緒になってみんなで体を動かす楽しさを伝えていく。 ☆体を動かす遊びに入りたがらない子どもには、傍に寄り添って一緒に動いたり、友達が動いている様子を見たりして、入りたいという気持ちにしたり、声をかけたりしていく。 ◆ボールやフープ、ケンケンパなどの遊具をいつでも出せるようにしておく。 ◆初めて見る虫・名前が分からない虫を絵本や図鑑等で見れるように、準備しておく。 ☆戸外に出て、季節の虫や花に興味を持てるようにする。 ☆画用紙に好きな絵を描いたり、道具を使って粘土遊びを楽しめるようなコーナー等を用意しておく。 ☆火災が起きた時の避難の仕方を伝え、煙を吸わないよう口を抑えることを一緒にしながら避難をする。	
集団活動 ・わらべうたあそび ・ダンス ・かけっこ ・応援製作グッズ「ペットボトルマラカス」		好きな遊び （室内） ・製作（クレヨンであそぶ） ・ままごと ・大型ブロック ・机上あそび（パズル、紐通し等） （戸外） ・砂あそび（ままごと、泥団子作り、山作り） ・三輪車 ・虫探し（ダンゴムシ、アリ） （中庭）遊具（滑り台）	
音楽 - 歌・とんぼのめがね ・おおきな栗の木の下で ・虫の声		物語り - 絵本・おつきさまこんばんは どうぞのいす - 紙芝居「むしむしかくれんぼ」 「なんていうのかな」	

令和6年度 年少 10 月

前月の 子どもの姿	○生活の流れがおおよそわかり、身の回りの必要なことを自分でしようとしている。 ●気の合う友だちを見つけ、一緒にいることが楽しいと感じている一方で遊びの中で思いが通らずにトラブルになることもある。	月のねらい	・身の回りの事を自分からしようとする。 ・保育者や友だちと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
生活・安全	・体を動かす機会が増えるので、水分補給をしたり、休憩を取れるようにしたりして体調の変化に気をつける。 ・朝夕と日中の気温差が大きくなるので、汗をかいた後の着替えをするようにする。	食育のねらい	・秋の食材について知り、見たり食べたりして、関心を持つ。 ・自分の箸やコップなどの準備ができる。
		特別保育	2日（水）避難訓練（地震） ～4日（金）4E教育実習① 9日（水）誕生会 12日（土）運動会 ※予備日13日（日） 15日（火）～28日（月）4E教育実習② 25日（金）バス遠足、油山牧場
内容		◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮	
・登降園の支度や手洗い等身の回りの事を自分でしようとする。 ・遊んだ後の片付けや汚れた後の着替えを自分でしようとする。 ・保育者や友達と簡単なルールのある遊びをする。 運動会に楽しんで参加する。 ・運動会後もごっこ遊びをする。 ・自分のしたい遊びを気の合う友達と一緒に遊ぶ中で、思いを伝える。 ・落ち葉等を拾って秋の植物や虫について親しみを持つ。 ・いろいろな素材にふれ、遊びを楽しむ。 ・初めてのバス遠足を楽しむ。 ・避難訓練（地震）の動きについて知る。		☆時間にゆとりをもって衣服の着替えや身の回りの事などを自分から進んで行えるようにする。できたことをほめたり、認めたりして周囲の子どもも意欲が持てるようにする。 ◆遊びの内容の変化から、遊具を整理し、遊んだ後の片付けがしやすいようにかごを用意したりして、環境を整える。 ・ ☆簡単なルールのある遊びを取り入れ、みんなで集まったり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにする。 ☆運動会で自分なりに表現したり、体を動かしたりして参加できるように保育者も楽しい雰囲気に参加する。 ◆ポンポンや応援グッズをすぐに片付けずに、保育室に置いて置き、いつでもあそべるようにしたり、すぐに音楽を流せるように音源を準備しておく。 ☆友達と遊ぶ中で、思いがうまく伝わらない時には、保育者が代弁したり、補ったりしながら、自分の思いが相手に伝わる嬉しさを感じられるようにする。 ☆戸外に出て、季節の移り変わりを感じ、虫や花に興味を持てるようにする。 ◆秋の絵本や、虫、図鑑等を用意して置く。 ◆家庭から協力してもらい、素材を集めて置く。 ☆思い思いの素材遊びを見守り、はさみを使いたい子供には、安全に留意しながら使って遊べるようにする。 ☆初めて保護者の引率なしで行く遠足に向けて、ルールを守ることの大切さを伝えながら、みんなで楽しく遠足に参加できるようにする。 ◆園バスに初めて乗車する子供もいるので事前にバスに乗って見る。 ☆ダンゴムシポーズになって、静かに保育者の話を聞いてから避難することなどを丁寧にわかりやすく話し、避難訓練がスムーズに行われるようにする。 ◆非常持ち出し袋と防災頭巾を用意しておく。	
集団活動 ・わらべうたあそび ・フルーツバスケット ・ダンス ・かけっこ ・製作「ハロウィン」		好きな遊び （室内） ・製作「ハロウィン」 ・ままごと ・大型ブロック ・机上あそび（絵カード、紐渡し等） （戸外） ・砂あそび（ままごと、泥団子作り、山作り、穴掘り） ・三輪車、固定遊具（ブランコ、ジャングルジム等） ・虫探し（ダンゴムシ、アリ） ・（中庭）遊具（滑り台）、フラフープ等	
音楽 歌・どんぐりころころ ・さんば ・走るのだいすき		物語り 絵本・14ひきのおつきみ・おべんとうバス、ぐりとぐらのえんそく 紙芝居「みんなでポン」 「あかずきん」	

前月の 子どもの姿	○年長児が運動会で行ったりリレーにあこがれを持ち、実際に、バトンを持って園庭で楽しく走っている姿が見られた。 ●話に夢中になって、準備をしない子どもがいる。	月のねらい	・身の回りのことに気付いて自分で行おうとし、自分でできる喜びを味わう。 ・いろいろな遊びや友達に興味、関心をもち、自分の気持ちを言葉で伝える。
		食育のねらい	・自分の箸やスプーン・フォークを使って、椀や皿に食べ物が残らないように、最後まで集めて食べる。
生活・安全	・寒くなっていくが、手洗いの習慣が身につくように繰り返し個別に伝える。 ・気温差が激しいため、子ども達の様子を見なが長袖を着たり、半袖を着たりする調節の声をかける。	特別保育	1日（金）入園願書受付のため休園 12日（火）避難訓練（不審者） 14日（木）保育参観（年少） 19日（火）誕生会 27日（水）各学年集合写真撮影
◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮			
・自分が使った玩具は、自分から片付けようとする。 ・保育室にある玩具を大事に使って遊ぼうとする。	☆自分が使った玩具は自分から片づけをするために、保育者が声をかけたり、一緒に手伝ったりする。 ◆スムーズに片づけがしやすいよう、玩具を減らしたり、子ども達同士や、保育者と一緒に片づけ場所を確認しながら片づけをする。 ☆玩具を破ったり、壊したりしないように大事に使って遊んだり、子ども達と一緒に遊び方をもう一度確認をする。 ◆みんなで遊び方を確認した後、子ども達に、絵本・玩具に感謝の気持ちを持って大事に使うことを伝える。		
・運動会が終わっても体を動かして遊ぶ。	☆子どもが興味を持てるような遊びにして、楽しく過ごせるようにする。 ◆保育者も一緒に遊んだりして、子ども達とおにごっこ・かけっこ等をして楽しむ。 ☆平均台を怖がる子どもには、傍に寄り添って援助をしたり、友達がしている様子を見て、楽しさに気づくような声かけをする。 ◆平均台、フープ、ケンケンパなどの遊具をいつでも保育室に出せるようにしておく。		
・劇場について知る。	☆初めての劇場について話す。子ども達と一緒に楽しい劇場にする。 ☆保育者も一緒になってみんなで体を動かして遊ぶ。 ◆いろんな遊具に挑戦をするために、子ども達を誘う。 ☆遊具に挑戦できたことで、自信を持ち、何度も繰り返し遊ぼうとする。		
・戸外に出て、いろんな遊具に挑戦してみる。	◆子ども達が次も挑戦したいという気持ちになるよう、保育者は、子どもの気持ちに寄り添って褒める。 ◆バンジーの花の種を撒いて、大きく育っていくことに興味を持つために、子ども達が水やりをするように声をかける。 ☆実際に子ども達が水をやり、花が少しずつ育つことに興味を持つ。		
・季節の虫を探したり、花の種を撒いたりして、自然に触れる。			
・避難訓練（不審者）の動きについて知る。	☆ダンゴムシポーズになって保育者の話を聞いてから避難することなどを伝えて、避難訓練がスムーズに行われるようにする。 ◆非常持ち出し袋を用意しておく。		
集団活動	好きな遊び		
・製作（栗） ・花植え（パンジー） ・いすとりゲーム	（室内） ・製作（クレヨンであそぶ） ・ままごと ・大型ブロック （戸外） ・砂あそび（ままごと、泥団子作り、山作り） ・三輪車 ・虫探し（チョウ、バッタ、カマキリ） ・（中庭）遊具（滑り台）		
音楽	物語り		
歌・まつぼっくり ・やきいもグーチャーパー ・さんぽ	絵本・ぐりとぐらのうたうた12つき 14ひきのあきまつり 紙芝居・「かっぱのすもう」「どんぐりころころ」		

令和6年度 年少 12 月

前月の 子どもの姿	○冬の訪れを感じながら、戸外遊びを楽しんだり、歌を口ずさんだり、劇場で担当する楽器を鳴らして遊ぶ姿が見られる。 ●着替えを自分でしようとするが、防寒着の始末などができない子どもが多い。	月のねらい	・クラスの友達と一緒に、歌たり、楽器を使って合奏を楽しむ。 ・冬の季節に必要な生活習慣（手洗い、うがい、衣服の調節など）を身につける。
		食育のねらい	・歯をきれいにすることを意識しながら、歯磨きをする。 ・芽キャベツやいちごを畑に植え成長を楽しみにする。
生活・安全	・室内の温度を調節したり、忘れがちな水分補給を細目に行い、感染症に留意する。 ・外気温との差があるので、衣服の調節をしていく。 ・冬休みがあることを知り、各家庭で安全に過ごせるように一緒に考える。	特別保育	3日（火）避難訓練（バス） 4日（水）誕生会 14日（土）いきっこども劇場 18日（水）給食終了 16日（月）～20日（金）全園児個人懇談 23日（月）終業式
内容	◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮		
・戸外から帰って来た後は、手洗いの大切さに自分で気づき、保育者や友だちと一緒にやる。 ・できないところは、手伝ってもらいながら、衣服の着替えを自分でしようとしたり、上着の片付け等をする。 ・保育者や友達と戸外で鬼ごっこやボール遊びなどで体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・身近な場所を散歩したり、鉄棒、登り棒、ジャングルジム等の固定遊具で遊んだりする。 ・いきっこども劇場に参加して、歌や合奏、ダンスを楽しむ。 ・室内でゆっくり製作遊びをして楽しむ。 ・避難訓練（バス）の動きについて知る。 ・新年を迎える準備として保育室や遊具を掃除する。	☆手洗いは、感染予防のために大切であることを繰り返し伝える。寒くなると手洗いを嫌がる子どももいるので、一緒に洗いながら、見守ったり、確認していく。 ☆上着の着脱等は、自分でしようとする気持ちを大切にしながら、ボタンやファスナー等の難しい場所は、一緒に行かない、やり方を知らせて行く。 ☆保育者も一緒に体を動かし追いかけて鬼ごっこを楽しんでやる。事前に準備体操等もして、体を動かし温めてからやる。 ◆リレーのバトンやボールを子ども達が取り出しやすいように用意しておく。 ☆固定遊具には、そばについて見守ったり、楽しく遊ぶ事ができるようにする。 ☆散歩に良い場所を事前に下見をしておく。 ☆友達と遊ぶ中で、思いがうまく伝わらない時には、保育者が代弁したり、補ったりしながら、自分の思いが相手に伝わる嬉しさを感じられるようにする。 ☆◆固定遊具で安全に遊べるか、毎日子どもと一緒に遊びながら点検をする。 ☆普段の遊びの中で歌や楽器遊びを十分に楽しみながら、こども劇場で発表する経験につなげていく。 ◆楽器をいつでも手に取って遊べるようにコーナーなどに用意しておく。 ◆家庭から協力してもらい、素材を集めて置く。 ☆思い思いの素材遊びを見守り、はさみを使いたい子供には、安全に留意しながら使って遊べるようにする。 ☆慌てずにバスの避難訓練に参加できるようにする。バスの避難訓練でのポイントをわかりやすく説明する。 ◆大掃除に必要な箒、雑巾等を用意しておく。 ☆新年を迎える事を絵本等で伝え、一緒に掃除をして保育室がきれいに気持ちよくなった心地良さを感ぜられるようにする。		
集団活動	好きな遊び （室内） ・クリスマス製作・素材あそび ・楽器あそび・ままごと ・大型ブロック ・机上あそび（絵カード、紐遠し等） （戸外） ・砂あそび（ままごと、泥団子作り、山作り、穴掘り） ・三輪車、固定遊具（鉄棒、登り棒、ジャングルジ等） ・リレー、鬼ごっこ （中庭）遊具（滑り台）、フラフープ等		
音楽	物語り 絵本・・・ぐりとぐらのおおそうじ 紙芝居「おふろでプクプク」 「おおかみと七ひきのこやぎ」		

前月の 子どもの姿	・寒さを気にせず戸外で砂場でままごとや穴掘り、リレーごっこや固定遊具で遊んでいた。 ・水が冷たくなり、手洗いを嫌がったりして不十分な子どもが見られた。	月のねらい	・冬の自然（氷や霜など）に興味を持ち、見たり、触れたりする。 ・正月のあそびを楽しむ。 ・寒さに泣けず、戸外で身体を思いきり動かしてあそぶ。
		食育のねらい	・冬の食材に興味を持ち、楽しく給食をいただく。 ・畑に植えた芽キャベツやいちごの観察をする。
生活・安全	・寒くて水も冷たいが、手洗い・うがいの習慣を忘れないよう繰り返し伝えていく。 ・気温差が激しいため、子どもたちの様子を見ながら保育室の温度調節に気を付ける。	特別保育	8日（水）始業式 9日（木）給食開始 17日（金）保育参観（年少） 21日（水）誕生会 22日（木）避難（不審者） 28日（火）お正月遊びの日 29日（水）観劇会 30日（木）交通安全教室
内容		◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮	
・冬休みの話を聞く。 ・少しずつ園生活を取り戻す。 ・自分が使った玩具は、自分から片付けようとする。 ・体操服や制服をきれいに畳もうとする。 ・戸外から帰った後は、手洗いをする。		☆冬休みの様子を子ども達に行く。 ☆少しずつ園生活になれるように着替えの難しい所などは手伝う。 ☆自分が使った玩具は自分から片づけをするために、保育者が声をかける。 ◆片づけをしない子どもに、みんなで協力をして元の場所にあった所に一緒に片づけをするように伝える。 ☆自分のロッカーが汚くならないよう、日頃から整理整頓をしたりぐちゃぐちゃに畳んだり、片づけないよう声をかける。 ◆自分が着てきたジャンパーや制服・体操服等をきれいに畳むように声をかけながら、保育者も子どもと一緒に畳み方をもう一度確認をする。 ☆感染予防のためにも大切であるので、戸外から帰ったら手洗いをしよう声をかける。 ☆寒さから嫌がる子どもが出てくるので、保育者と一緒に洗ったり、見守ったりして確認をしていく。 ☆寒さに負けないよう、子どもたちと一緒におしくらまんじゅうを提案して楽しめるようにする。 ☆保育者も一緒に遊んだりして、子ども達とおにごっこ・かけっこ等をして楽しむ。 ◆鉄棒や平均台等をしている子どもに怪我がないように、そばに寄り添ったり、援助をしたりする。 ◆鉄棒や平均台等を保育室に出して置き、子ども達がいつでもできるよう環境をつくっておく。 ☆マラソン大会が2月にあるということを伝え、子ども達と一緒に園庭を走ったりして身体を動かせるようにする。 ☆保育者も一緒になってみんなで身体を動かして遊ぶ。 ☆最後まで走れたことに自信を持ち、何度も繰り返し遊んだり、走ったりする。 ◆子どもたちが次も走りたいという気持ちになるよう、保育者は、子どもの気持ちに寄り添って認める。 ☆子どもたちと一緒に保育者も自然に触れて楽しむ。 ◆氷や雪などの絵本や図鑑を保育室に用意しておく。 ☆保育者の話を聞いてから避難することなどを伝えて、避難訓練がスムーズに行われるようにする。 ◆非常持ち出し袋を用意し、避難訓練について意識が持てるようにする。	
・戸外に出て身体を動かして遊ぶ。			
・マラソンに向けて、園庭を走る。			
・冬の氷や霜などの自然に触れる。 ・避難訓練（不審者）に参加し、避難の動きを知る。			
集団活動		好きな遊び	
・わらべうたあそび ・製作（たこ） ・好きな絵を描く ・いすとりゲーム・フルーツバスケット ・鬼ごっこ		（室内） ・製作（素材あそび） ・ままごと ・大型ブロック ・机上あそび（レゴブロック・絵カード） （戸外） ・砂あそび（ままごと、泥団子作り、山作り） ・お正月あそび ・三輪車、固定遊具（鉄棒、登り棒、ジャングルジム等） ・（中庭）遊具（滑り台）、フラフープ等	
音楽		物語り	
歌・コンコンクシャンのうた ・ゆき ・たこのうた		絵本・てぶくろ ・ねずみくんのチョッキ 紙芝居・「おしょうがつのおきやくさん」「ねずみさんのゆきだるま」	

令和6年度 年少 2月

前月の 子どもの姿	○寒くても戸外でマラソンをしたり、固定遊具や凧あげなどをして体を動かして元気に遊ぶ姿が見られる。 ●身の回りの事は、ほとんど自分でできるが、寒さから着る服が多いためか、所持品整理が雑になっている子どもがいる。	月のねらい 食育のねらい	・体を思いきり動かして長い距離を思いきり走る。 ・考えたことや感じたことを、動きや言葉で表現しながら遊ぶ。 ・スプーンやフォーク、箸を使い、よく噛んで食べる。
生活・安全	・感染症が流行る季節なので、保育室の換気や温度の調整などを行い、機嫌や食欲等一人ひとりの体調を把握し、健康に過ごせるように留意する。 ・マラソン公園まで練習、本番と安全に気をつけて歩いて行く。	特別保育	3日（月）まめまき 4日（火）避難訓練 6日（木）いきっこマラソン 12日（水）お楽しみ参観 18日（火）誕生会、個人懇談 21日（金）お別れパーティー 27日（木）卒園式リハーサル
内容		◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮	
・冬の健康な過ごし方を知り、身支度や手洗い、うがいなどを自分で丁寧に行う。 ・できないところは、手伝ってもらいながら、衣服の着替えを自分でしようしたり、上着の片付け等をする。 ・遊具の安全な使い方に気付く。 ・戸外でマラソンや鬼ごっこ、ボール遊び、固定遊具遊びなどをして体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・遊びの中で、イメージしたことや自分の思いを表したり、友達の言葉を聞こうとしたりする。 ・お別れパーティに参加して劇をしたり、友達の出し物を見て楽しむ。 ・まめまきやひな人形製作を通して日本古来の文化に親しむ。 ・室内でゆっくり製作遊びをして楽しむ。 ・避難訓練に参加して避難し、約束を覚える。		☆身支度や片付けを、自分でしようとする様子や一人でできた姿を認めたり、共に喜んだりして自信や満足感につなげていく。 ◆スタンプ石鹸を用意し、活用する。 ☆上着の着脱等は、自分でしようとする気持ちを大切にしながら、ボタンやファスナー等の難しい場所は、一緒に行ない、やり方を知らせて行く。 ◆上着が置きやすいようにスペースを空けておく。 ☆遊具の安全な使い方や具体的に危ない理由をわかりやすく伝える。 ☆マラソンは、事前に準備体操等をして、体を動かし温めてから行う。 ◆マラソンのコースがわかりやすいように白線をひいたり、ポールを置いて安全に園庭で練習ができるようにする。 ☆◆固定遊具遊びには、安全に遊べるか、そばについて見守ったり、楽しく遊ぶ事ができるよう毎日子どもと一緒に遊びながら遊具の点検もする。 ◆子ども同志で遊びの場を用意したり、見立てて遊んだりできるような環境を用意する。 ☆保育者や友達に、自分の気持ちが伝わる嬉しさを感じられるように、必要に応じて仲立ちをする。 ☆◆表現する楽しさを感じるように音楽や道具を準備したり、必要な物を一緒に作ったりする。 ☆歌を歌ったり、絵本を読み、節分やひなまつりの話しをしてイメージしやすいようにする。 ◆家庭から素材を持ってきてもらい、素材コーナーを作りいつでも遊べるようにしておく。 ☆安全に誘導し、避難訓練の約束を伝え、繰り返し大切な事である事を話す。	
集団活動		好きな遊び	
・わらべうたあそび ・劇あそび「はらぺこあおむし」 ・鬼ごっこ、イス取りゲーム ・製作「コップ」「ひな人形」		(室内) (戸外) ・節分、ひな祭り製作・素材あそび ・砂あそび（ままごと、山作り、穴掘り） ・劇あそび・ままごと ・三輪車、固定遊具（鉄棒、登り棒、ジャングルジム等） ・大型ブロック ・マラソン・リレー、鬼ごっこ ・室内平均台 ・机上あそび（絵カード、紐達し等）（中庭）遊具（滑り台）、フラフープ等	
音楽		物語り	
歌・まめまきのうた ・うれしいひなまつり ・よいこのうた		絵本・「ごろりんごろんころろろ」「おなかのなかにおにがいる」 紙芝居「おにのごちそう」 「ごきげんのわるいコックさん」	

令和6年度 年少 3月

前月の 子どもの姿	○友達と言葉のやり取りをしながら、劇あそびなどを楽しんでいる。 ●いきっこマラソンなどで走ることに興味を持った子どもが多いが、戸外に出れない日に保育室や廊下を走る子どもがいるためたびたび注意を受ける子どもがいた。	月のねらい	・春の自然に親しみ、草花や虫を見つけたたり、変化に気付いたりして楽しむ。 ・クラスの友達と楽しく給食を食べる。
		食育のねらい	・自分でこぼさないに配膳する。 ・クラスの友達と楽しく給食を食べる。
生活・安全	・朝夕の気温差に応じて室温や衣服の調節を行い、一人、ひとりの健康状態を丁寧に観察して心地良く過ごせるようにする。 ・行動範囲が広がり、活発になっているので、園内外での安全について知らせ、子どもが自分でできることを確認して行く。	特別保育	4日（火）誕生会 6日（木）卒園式最終リハーサル 12日（水）卒園式 14日（金）給食終了 21日（金）終業式
内容	◆環境の構成及び☆保育者の援助・配慮		
・登降園児の支度や手洗い、水分補給などを生活の流れの中で進んで行う。 ・保育室の遊具やロッカー、靴箱などを保育者や友達と掃除し、きれいにする。 ・危険な行動や場所がわかり、安全に気をつけて遊ぼうとする。 ・進んで戸外に出て、保育者や友達と十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・保育者に仲立ちをしてもらいながら、友達と想いを伝え合う中で、相手の考えに気付いて行動しようとする。 ・好きな遊びを、繰り返し友達や保育者と楽しむ。 ・保育者や友達と話したり、歌ったり、絵本を見たりする。 ・紙粘土で進級製作の花瓶を作って保育室に飾る。 ・日差しの暖かさや植物の成長を見て遊ぶ。	◆子どもが毎日行う支度や手洗いがしやすいように棚のスペースを開けたり、手洗い石鹸の補充を行う等、保育室の環境を整える。 ☆自分から進んで行う姿ややり遂げようとする意欲を認め、自信につなげて行く。 ◆雑巾や掃除用具をいつでも使えるように用意しておく。 ☆1年間使った遊具や保育室を自分たちできれいにし、次に使う3歳児が気持ちよく使えるようにという思いを持てるようにする。 ☆遊びを見守り遊具や場所の安全な使い方を伝え、気をつけて遊ぶ姿を認める。 ◆固定遊具、フープ、ボールなどの安全確認をしておく。 ☆◆好きな遊具で遊んだり、追いかけてっこをしたりする姿を見守りながら保育者も共に遊び、体を十分に動かす気持ち良さを感じられるようにする。 ◆☆仲の良い友達としたい遊びが十分にできるように時間や場所を確保する。 ☆異年齢児と遊びを共有する機会を持ち、保育者も共に遊ぶ。 ☆みんなて遊べるわらべ歌遊びを用意して友達や保育者と一緒に気持ちを合わせて遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ◆いつでも素材遊びができるように決まった場所に用意しておく。 ☆遊びを見守りながら、一緒に楽しむ。 ☆1年間で歌った歌を歌ったり、絵本や紙芝居を見てみんなで楽しむ姿に共感する。 ◆色を混ぜた紙粘土を用意して、子どもに色を選ばせて自由に楽しんで作れるようにしておく。 ☆出来上がった物を保育室に飾り、いつでも眺められるようにする。 ◆虫や植物図鑑を用意していつでも調べる事ができるようにしておく。 ☆季節の変化を感じながら遊べるように保育者自身が草花や虫に関心を持ち、園庭環境を整えたり、子どもの遊びを見守りながら、気付いたり、感動したことに共感する。		
集団活動	好きな遊び		
・わらべうたあそび ・鬼ごっこ、イス取りゲーム ・製作「花瓶」	（室内） ・進級製作「花瓶」・素材あそび ・劇あそび・ままごと ・大型ブロック ・室内平均台 ・机上あそび（絵カード、紐通し等） （戸外） ・砂あそび（ままごと、山作り、穴掘り） ・三輪車、固定遊具（鉄棒、登り棒、ジャングルジム等） ・マラソン・リレー、鬼ごっこ （中庭）遊具（滑り台）、フラフープ等		
音楽	物語り		
歌・うれしいひなまつり ・つくしのぼうや ・よいこのうた	絵本・「タンタンのハンカチ」「おおきくなるっていうことは」 紙芝居「おひなさまがうまれたよ」		

今月の 子どもの姿	○新しい担任やクラスの友達、保育室に興味を持ち、好きな遊びを見つけようとする。 ●新しくランチョンマットを使い始めたが、思いがけず引っ張ってしまい、お皿を床に落としてしまう子がいる。	月のねらい	・自分のクラスや担任、友達を知り、進級したことを喜ぶ。 ・自分のマークシールを覚え、持ち物の置き場所を把握する。
生活・安全	・園庭の遊具の遊び方を確認し、安全な遊び方を再確認して安全な遊び方で遊ぶ。 ・自分の掃除場所を知り、きれいにしようとする。	食育のねらい 特別保育	新しいクラスの友達と、楽しく給食をいただく。 9日(火) 始業式 12日(金) 入園式 17日(水) おやつ給食 18日(木) 給食開始 24日(水) 誕生会 26日(金) 親子遠足
内容	◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮		
・新しい保育室や自分のマークを知り、新しいクラスでの生活の仕方や流れに慣れていく。 ・ランチョンマットの正しい使い方を知り、皿の置き場所を確認しようとする。 ・担任や新しいクラスの友達を知り、友達の名前や好きなことに興味を持って関わる。 ・好きな遊びを通して新しい友達と関わりながら一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・歌に合わせて友達と一緒に楽しい雰囲気ゲーム遊びを楽しむ。 ・保育者やクラスの友達と一緒に楽しい雰囲気手遊びを楽しむ。 ・園庭で安全に遊ぶ方法をみんなで話し合い、自分たちで安全に楽しく遊ぶ。 ・自分の掃除場所を、毎日使う場所を綺麗にしようとする。 ・春の季節を感じながら園庭でのびのびと遊ぶことを楽しむ。 ・絵本の借り方を再確認し、好きな絵本を見つける。 ・自分の困っていることを保育者に伝える。 ・はさみ、のりの使い方の確認をし、こいのぼり製作を楽しむ。 ・「だいすきっちゃん」などの触れ合いダンスを友達や保護者とする楽しさを味わう。	☆環境の変化からの不安な気持ちを受け止め、子どもたちの話をよく聞き一緒に遊び、安心して関係を築けるようにする。 ◆台拭きやティッシュなどを用意しておき、配膳時に給食をこぼしても安心して自分から片づける動作を行えるようにしておく。 ◆自己紹介や友達の名前当てゲームをし、新しい友達のことを知る機会を作り、友達の名前や好きなことに興味を持てるようにする。 ☆進級を喜び、積極的に新しい保育者や友達に関わろうとする姿を認め、安心して一日を過ごすことができるように関わる。 ◆遊びのコーナーを分け、それぞれの遊びに集中できる環境づくりをする。 ☆遊びに誘ってみたり友達に興味を持てる声掛けをしたりして、新しい友達と関わるができるようにする。 ◆「あくしゅでこんにちは」では、歌を何度か繰り返してゲーム遊びを行い、毎回違う友達と2人組を作るよう呼びかけ、色んな友達と親しくなるきっかけづくりをする。 ◆子どもが真似しやすく覚えやすいように大きい動作で手遊びをし、楽しいと感じられるよう明るい雰囲気作りをする。 ☆発表する時に言葉に詰まった時は、子どもの考えを引き出せるような声掛けをしたり、もう一度考えてくることを提案したりしながら、自分の意見を自分で言えるよう関わる。 ◆子どもと一緒に保育室の掃除が必要な場所を考える時間を作り、子どもが保育室の環境に目を向けられるようにする。 ◆摘んできた草花を保育室に飾ったり、季節の絵本の読み聞かせをしたりして春の季節に興味を持てるようにする。 ☆どの絵本にするか迷って時間がかかる子どもには、絵本の表紙を見せたりどんな話がいいのかを聞いたりして、時間を伝えながら自分で決めることができるように声掛けをする。 ◆子ども達がいつでも話しかけられるよう保育の時間はゆとりを持って進めていく。 ◆はさみの使い方を子どもに問いかけ、子ども自身も安全に気を付けながらはさみを使えるようにする。 ☆はさみを使用する際、配慮がいる子どもには保育者が常についておくようにし、その子どもや周りの子どもが安全に活動できるようにする。 ◆毎回異なる友達と2人組になるよう声掛けをしてクラスの色々な友達と関わるができるようにする。		
集団活動 【クラス】 ・自己紹介・グループ、掃除場所決め ・園庭の使い方 ・ゲーム遊び「あくしゅでこんにちは」 ・親子ふれあいダンス「だいすきっちゃん」(2人組) ・こいのぼり製作	好きな遊び 【室内】 ・絵本・パズル・レゴブロック・ベタベタブロック・粘土・製作遊び 【園庭】 ・スクーター・トロッコ ・山登り ・固定遊具(鉄棒、太鼓橋、雲梯) ・砂遊び(泥団子、ケーキ屋さんごっこ)		
音楽 【季節の歌】 ・チューリップ・あくしゅでこんにちは 【親子ダンス】 ・だいすきっちゃん	物語り 【絵本】 「11びきのねこ ふくろのなか」「からすのパンやさん」		

前月の 子どもの姿	○自分のクラスを覚えて登園することができ、少しずつ好きな遊びができるようになった。 ●新しい環境、新しい友達に慣れずに葛藤している子もいる。 ●日にちや曜日がわからずに、保育者に聞きながらシール貼りをしている。	月のねらい	・自分から進んで、先生や友達に元気に挨拶をする。 ・自分の持ち物、使ったおもちゃや物などをきれいに片付ける。
		食育のねらい	ランチョンマットの使い方を知る。
生活・安全	・新しいクラスからの避難の仕方を知る。 ・歯科検診を受けて、自分の歯に興味を持つ。	特別保育	14日(火) 避難訓練(火災) 16日(木) 創立記念日の話、 17日(金) 創立記念日 21日(火) 22日(水) 歯科検診 24日(金) 誕生会 29日(水) 運動能力測定
内容		環境の構成及び保育者の援助・配慮	
・連休明けのため、ゆったりと落ち着いて過ごし、体調に配慮してもらいながら園生活のリズムを思い出す。 ・歯科検診を受け、自分の歯や歯磨きに興味が持てるようにする。 ・避難訓練のやり方を振り返り、新しいクラスからの避難の仕方を知る。 ・給食の配膳の仕方を振り返り、給食を落ち着いて食べられる環境づくりを自分でする。 ・自分でしたい遊びを見つけてじっくりと遊ぶことを楽しむ。 ・自分から進んで元気に挨拶をする。 ・友達と顔と名前を覚える。 ・気の合う友達を見つけて、好きな遊びを楽しむ。 ・グループの友達と一緒に当番を行ない、友達と活動を楽しむ。 ・ソラマメを収穫し、ソラマメの皮や実を観察する。 ・定期的にお道具箱の整理を行い、自分の持ち物の整理の仕方を知る。 ・日付け確認や遊びで、数字に興味を持つ。 ・モノの正しい使い方に気をつけて、安全に使うようにする。 ・歌を使ったゲーム遊びに親しみながら、リズムに合わせてゲームを楽しむ。 ・絵の具を使ったはじき絵の技法を行い、絵の具の楽しさを知る。		◆日々の時間の流れにゆとりを持てるように、時間配分をしたり、子どもに合わせて活動を変えたりしながら、ゆとりを持って日常が過ごせるように努める。 ☆保護者と細目に連絡を取り、体調や園での様子や家庭での様子を伺い、子どもの体調や気持ちの面に寄り添う。 ◆歯についての絵本を紹介し、歯磨きや歯の健康に興味を持てるようにする。 ◆「おはしもよ」の絵の掲示をし、避難訓練の約束事をふり返り、安心して避難できるようにする。 ◆給食の配膳がしやすい、動線を作り、スムーズに給食準備が行えるようにする。 ☆給食の配膳の時は、一人ひとりの様子を見ながら、スムーズな給食の運び方などを個別に伝えていく。 ◆☆気の合う友達や保育者と一緒に、したい遊びの遊具や場を用意して遊ぶ。 ◆保育者から進んで挨拶をし、子ども達が安心して挨拶をする雰囲気づくりをする。 ☆挨拶ができた子どもを誉めたり、また挨拶が広がるように友達が登園したことを知らせたりして、挨拶をするようにする。 ◆☆サークルタイムを作り、友達の顔を見ながら話をしたり、ゲームをしたりして、楽しく友達の名前と顔を覚える機会を作る。 ☆「あくしゅでこんにちは」など友達と触れ合える遊びを紹介し、親しくなるきっかけづくりをする。 ☆グループづくりでは、普段かかわりが少ない子ども同士を同じグループにするなど、人間関係が広がるようにする。 ◆子ども達がゆっくり観察できるようにグループごとにテーブルに座り、落ち着いて観察できる環境を作る。 ◆お道具箱の物の置き方の写真を掲示する。 ☆定期的にお道具箱片付けの時間を設けて、常に整理をする心がけが持てるようにする。 ◆カレンダーを準備し、子ども達が日付の確認をしやすいようにする。 ☆数字の歌を歌ったり、人数集めゲームをしたりしながら、数字に興味を持つ。 ◆好きな遊びの時間は、保育者が見守れる環境でハサミを使う機会を設けて、ハサミを使うことに慣れるようにする。 ☆定期的にはハサミやのりを使う機会を設け、好きな遊びでも自由に安全に使えるようにする。 ☆「あくしゅでこんにちは」や「しあわせなら手をたたこう」など歌に合わせて、勝ち負けがなくみんなで楽しく遊ぶ遊びを紹介する。 ◆製作後も絵の具に触れる機会を設けて、普段から絵の具で遊ぶ機会を作っていく。	
集団活動		好きな遊び	
【グループ】 ・当番活動(掃除・集まり・給食) 【クラス】 ・ゲーム遊び(集団遊び、あくしゅでこんにちは、線路は続くよどこまでも) ・親子ふれあいダンス(2人組) 【学年】 ・かけっこ ・保育室マップ作り		【室内】 ・ブロック・積み木・無限ブロック・ペタペタブロック・動物フィギュア ・制作遊び(家族へのプレゼント、ハサミ遊び、糊遊び、塗り絵) 【園庭】 ・園庭遊び(太鼓橋・ジャングルジム・砂場・山登り・スケーター・忍者ごっこ) ・鉄棒(豚のまるやき・つばめ・足抜き回り・前回り) ・泥遊び(雨どい・赤土団子・草花遊び・水たまり遊び)	
音楽		物語り	
【季節の歌】めだかがのうた さんば 【歌ゲーム】…あくしゅでこんにちは 線路は続くよどこまでも 親子ダンス		【紙芝居】「おばけのはみがき」(こあら組) 【絵本】「ノタン はみがきはーみー」(年少組)「そらまめくんのべつと」「ワニワニのおおけが」	

前月の 子どもの姿	○自分のクラスの友達と好きな遊びを見つけて遊ぶ。 ●玩具の貸し借りなど、まだ譲れないところがあり、トランブルになることがある。 ●ハサミの使い方に個人差がある。	月のねらい	・いろいろな素材に触れて、友達と一緒に作る楽しさを味わう。 ・水遊びやプールの準備を進んで行き、思いきり水遊びを楽しむ。
		食育のねらい	・芋苗の生長を見守り、お世話をする面白さを感じる。
生活・安全	・散歩に出かけ、交通ルールを知る。 ・内科検診を受け、自分の体について興味を持つ。	特別保育	8日(土)ファミリーデー 13日(木)プール開き 19日(水)内科検診 20日(木)誕生会 24日25日運動能力測定 27日(水)避難訓練(地震)
内容		環境の構成及び保育者の援助・配慮	
・自分の好きな遊びを見つけて、のびのび遊ぶ。 ・プール活動での着替えや安全な入り方などができるようにする。 ・プールや水遊びで、水に触れることを楽しむ。 ・友達や保育者や実習生といっしょに、好きな遊びをして楽しむ。 ・保育参観で保護者の方といっしょに触れ合って遊ぶことを楽しむ。 ・ミックスジュースでは、異年齢の友達と触れ合い、一緒にふれあい遊びなど楽しむ。 ・季節を感じたり、飼育している生き物に興味や関心をもったりする。 ・廃材、製作コーナーなど、好きな所でいろいろな素材に触れ、使い方などを知る。 ・泥んこに触れて、いろいろな感触を味わう。 ・雨どいやペットボトルなどを利用して、街づくりや落とし穴作りを楽しむ。 ・遊びのなかで濡れたり、汚れたりしても、着替えればよいことがわかり、ダイナミックに遊ぶ。 ・商店街を見に行ったり、お店屋さんごっこを通して、自分たちでやってみたいことを友達と伝え合いながら、お店屋さん作りを行う。 ・夏まつりで行く盆踊りを覚えて、いろいろなリズムに合わせて、みんなで踊る楽しさを味わう。 ・七夕に向けて、七夕の飾りや短冊を作ることを楽しむ。		◆日々の時間の流れにゆとりを持てるように、時間配分をしたり、子どもに合わせて活動を変えたりしながら、ゆとりを持って日常が過ごせるように努める。 ☆一人ひとりの遊びの様子を見守り、好きな遊びを友達といっしょに楽しめるように、素材の出し方、遊びの発展を考えて声掛けをする。 ◆プールでけがをしないための約束をみんなで考え、紙に書き出すことで、全員が見てわかるようにする。 ☆一人ひとりの体調や水への恐怖感を把握し、無理なく遊ぶようにプールでの遊び方を加減しながら、楽しく遊べるように援助する。 ☆実習生が来てもいつも通り遊んだり活動に参加できるように、距離感やメリハリを伝えられるようにする。また、実習生の遊びのアイディアが広がり、子ども達に伝わるように援助する。 ☆保護者の方と楽しめるように、三陽高校の雰囲気や競技内容を伝え、安心して参観日が迎えられるようにする。 ☆ミックスジュースでは、新しい環境のため、子ども達の様子を見て、他学年の友達と過ごせるよう見守り仲立ちをしたりしながら、安心して活動に参加できるようにする。 ◆芋の成長や、ヒマワリの変化、メダカの様子を観察し、子ども達が発見したことを写真などに撮り、みんなで変化を感じられるようにする。 ☆製作コーナーで流行っていることや子ども達が今したいことを察知し、廃材や道具を準備して、バランスよく出せるようにしていく。 ◆集中して泥んこ遊びやエスゴっこを楽しめるように、時間をたっぷり設けたり遊びの住み分けなど行ったりして、夢中になって遊ぶ環境を作る。 ☆着替えが大変な子は、自分で気づいてどうしたいか考えられるように、手洗いや足洗いを子どもと一緒に準備をし、スムーズにできるようにしていく。 ◆子ども達のイメージが広がるような絵本や絵を紹介し、イメージを目で見え広げるようにする。 ☆ままごと遊びの中で、保育者がお店屋さん、お客さん役になりきって遊ぶことで、恥ずかしがる子どもも思いきりなりきり遊びを楽しむ。 ☆昼の時間に定期的に踊りを踊ったり、他学年と交流しながら踊ったりして、みんなで輪になって踊る楽しさを子ども達が感じられるようにする。 ◆ハサミに触れる時間やハサミ遊びの工作を紹介して、ハサミに慣れていく。 ☆短冊では、七夕の由来を説明して、日本の伝統行事に興味を持てるようにする。	
集団活動		好きな遊び	
【グループ】 ・レストランごっこ		【室内】 ・ブロック・積み木・無限ブロック・ペタペタブロック・動物フィギュア ・はさみ遊び(シンメトリー・飛行機作り・羽作り)	
【クラス】 ・ゲーム遊び(人数集めゲーム、線路は続くよどこまでも)		【園庭】 ・園庭遊び(太鼓橋・ジャングルジム・砂場・山登り・スケーター) ・鉄棒(豚のまるやき・つばめ・足抜き回り・前回り) ・泥遊び(雨どい・赤土団子・草花遊び・水たまり遊び)	
【学年】 ・かけっこ ・保育室マップ作り ・レストラン作り		【水遊び】 ・プール(バタ足・顔付け・ワニ歩き・貝殻拾い) ・水遊び(水の掛け合い・色水遊び・注ぎ分け)	
音楽		物語り	
【季節の歌】あめふりくまのこ おとうさんのおへんじ		【紙芝居】「七夕飾りってなぜかざるの?」(年少組) 【絵本】「バムとケロのおかいもの」 【カードシアター】「あめふりくまのこ」	

前月の 子どもの姿	○散歩に行き、地域に目を向けて、夏まつりのレストラン作りに意欲を高めている。 ●よく遊びよく食べるようになったが、お皿にご飯粒がついていることがある。 ●友達に嫌なことをされた時にまず保育者に伝えに来ており、友達に自分で自分の気持ちを伝えることができない子どもがいる。	月のねらい	・自分たちで作ったレストランで店員になり、ごっこ遊びを思いきり楽しむ。 ・汗を掻いた時はタオルで拭いたり、喉が渇いた時は自分でお茶を飲んだりして、自分で体の調子を整える。
		食育のねらい	・自分で最後まできれいに食べようとする気持ちを持つ。
生活・安全	・1学期が終わることを知り、身の回りの整理や掃除をする。 ・夏休みが始まることを知り、楽しみにしたり、生活の仕方について、みんなで話す。	特別保育	2日(火) 7月誕生会 5日(金) 夏まつり 9日(水) 8月誕生会・個人懇談 10日(木) 避難訓練(不審者) 18日(木) 給食終了・プール納会 19日(金) 終業式
内容		環境の構成及び保育者の援助・配慮	
・自分の好きな遊びを見つけて友達と一緒に、のびのび遊ぶ。 ・汗を掻いたらタオルで拭き、水分補給を進んで行う。 ・プールや水遊びで、水に触れ、水の感触や温度、形態の変化に目を向け、水遊びの楽しさを思いきり楽しむ。 ・テニスボール投げ、幅跳びや直線かけっこなどを通して、運動する楽しさを感じる。 ・ミックスジュースや夏まつりでは、異年齢や手伝いの保護者の方と触れ合いや模倣遊びを通して、やりとりを楽しむ。 ・店員になり、挨拶をしたりメニューを聞いたりして、自分で言葉で伝えることを楽しむ。 ・七夕の話や空模様を眺めたりして、夏ならではの季節の景色を楽しむ。 ・1学期の大掃除をみんなで行う。 ・1学期に楽しかったことを子ども会議で話しながら、好きなことをみんなに伝える。 ・1学期に踊ったダンスを振り返り、色々な曲を自由にみんなで踊る楽しさを味わう。 ・好きな遊びの時間に絵の具に触れて、筆で色を塗る楽しさを感じる。 ・ハサミを使って自分の好きな形をきりとる遊びを通して、ハサミの開閉に慣れていく。		◆1学期行ってきた遊びの中で、友達と触れ合えるカード遊びや模倣遊びの環境を準備し、自然にかかわって遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ☆一人ひとりの人間関係の様子を保育者間で情報共有し、子ども達を見守ったり仲立ちをしたりし、かかわって遊べるようにする。 ◆☆定期的に水分補給の声掛けをし、水分を摂取する気持ちよさや、汗を掻いたらタオルで拭いたときの爽快感を感じられるようにする。 ◆水の面白さを感じられるように、手作り玩具や注ぎわけのしやすい道具を準備し、集中して水遊びができる環境作りを行う。 ☆水嫌いの子には、プール遊びの際に寄り添い一緒に入ることで、少しずつ恐怖心が落ち着けるようにする。 ◆運動能力測定で使用したものは、しばらく残しておき、また遊びの中で使えるようにする。 ☆夏まつりのレストランでは、実習生に客役をしてもらい、メニューを聞いたり友達に伝えられるようにする。 ◆役割分担の時は、帽子や衣装を工夫して、自分の役割がわかるようにする。 ☆自分から話しかけられない子には、どのように話したらいいか、保育者がやって見せたり、友達の様子に気づける声掛けを行い、安心して真似からやりとりをはじめられるようにする。 ◆☆七夕の絵本や紙芝居を読んだり、歌をうたったり、空の図鑑を見たりして、七夕のことや空についてわかりやすく伝え、遊びにつなげられるよう準備する。 ◆1学期に使った部屋に感謝の気持ちをもって掃除をする。きれいにしてから夏休みを迎える環境づくりについて話ししたり、掃除しやすい準備をする。 ☆1学期に取り組んできた遊びやゲームなどを思う存分楽しみ、楽しい雰囲気の中で1学期を締めくくるようにする。 ◆知っている曲を子ども達でもラジカセで流せる環境を準備し、好きな時間に自由に友達と踊れる環境作りをする。 ◆水遊びの流れの中で、ボディペイントの絵の具を準備し、自由に描けるコーナー作りを行う。 ☆絵の具でダイナミックに遊ぶ楽しさや集中して塗り表現する楽しさを、両方楽しめるように、時間にゆとりを持たせる。 ◆常にハサミ遊びができる環境を準備し、繰り返し遊び込めるようにする。	
集団活動		好きな遊び 【室内】 ・ブロック ・積み木 ・無限ブロック ・ベタベタブロック ・動物フィギュア ・はさみ遊び(七夕飾りづくり・野菜のきりとり・羽作り) ・テニスボール投げ、幅跳び 【園庭】 ・園庭遊び(太鼓橋・ジャングルジム・砂場・山登り・スケーター) ・跳び箱(カエル跳び競争・1段馬乗り・2段跳び) ・水遊び(雨どい・赤土団子・草花遊び・水たまり遊び) 【水遊び】 ・プール(バタ足・顔付け・ワニ歩き・貝殻拾い) ・水遊び(水の掛け合い・色水遊び・注ぎ分け)	
音楽		物語り 【紙芝居】「うみべの おともだち」「やさいなんて だいっきらい」 【絵本】「くすのきだんちの なつやすみ」 【エプロンシアター】「ニンジンさんは、なぜあかい？」	

前月の 子どもの姿	○好きな遊びの時間では、友達とのかかわりが密になり、充実してあそぶことができている。 ○ダンスや歌が好きで、人前に立って楽しんで表現するようになっている。 ●友達同士で言いたいことを言い合えるようになったが、自分の気持ちを強く伝えてしまうことがある。	月のねらい	・夏休みに体験したことや園外保育で楽しかったことなどを友達や保育者に話し、やりとりを楽しむ。 ・友達とのつながりを深め、共通の目的をもって、取り組む。
		食育のねらい	・姿勢を正しておいしく給食をいただく。
生活・安全	・活動と休息のバランスをとりながら、健康的に過ごす。 ・外遊びの時は、気温が高い日は外遊びの時間を20分程度と決めるなどして、安全な外遊びをする。	特別保育	3日(火)給食開始 5日(木)避難訓練(火災) 6日(金)観劇会 9日(月)年中クラス懇談(パンダ) 10日(火)年中クラス懇談(パンピ) 12日(木)保育参観(年長) 18日(水)個人懇談 26日(木)誕生会
内容		環境の構成及び保育者の援助・配慮	
・生活の流れを取り戻しながら、水分補給や衣服調整などを自分でしようとする。		☆定期的に水分補給の声掛けをし、水分を摂取する気持ちよさや、汗を掻いたらタオルで拭いたときの爽快感を感じられるようにする。また、お茶を飲む量を具体的に伝えて、子どもたちが進んで水分補給をするように声をかける。	
・外遊びの時間(熱中症アラートが出るときは、20分)を決めて、自分で時計を見ながら園庭と保育室を行き来する。		☆◆外遊びの時は、子どもたちに時計の見方を伝えて、自分たちで保育室と園庭を行き来し、体調管理ができるようにする。	
・かけっこ遊びでは、いろんなタイプのかっこを好きな遊びの中で友達と役割分担をして遊ぶ。		◆園庭にトラックや直線のコースを書いたり、ゴールテープや旗やバトンを準備し、様々な形態のかっこを楽しめるように整えておく。また、走ることが苦手な子も旗役などに誘い、友達と一緒に遊びに参加できる雰囲気づくりを行う。	
・バッタやカマキリなどこの時期に出会う虫を観察したり、この季節ならではの遊びを楽しむ。		◆虫取り網や虫かご、ミニ図鑑などを準備して、この季節の虫に興味関心が持てるようにする。	
・動物の絵本や海や空の絵本などを見て、友達と興味をもったことを話す。		☆遠足に行くにあたって、子どもたち園外の環境に興味を持てるように、絵本や写真など準備をし、どこへ遠足に行っても楽しめるようにする。	
・夏休みの話をみんなの前で話したり、友達の話に興味をもって聞いたりする。		◆夏のカレンダーを用いて、夏休みの話を広げられるようにし、こども会議後も夏のカレンダー展覧会をして、その後の話が膨らむようにする。	
・1学期に踊ったダンスを振り返り、色々な曲を自由にみんなで踊る楽しさを味わう。		◆知っている曲を子ども達でもラジカセで流せる環境を準備し、好きな時間に自由に友達と踊れる環境作りをする。	
・ダンスの振りなど自分たちの好きな振りを考える。		☆好きな遊びの中で、プチ発表会などを行う経験を繰り返して、子どもたちが自由に表現できる雰囲気作りをする。	
・運動会に向けて、友達といっしょにさまざまなことに取り組み、イメージを共有したり、遊びのなかに取り入れたりして楽しむ。		◆イメージが共有しやすいように、絵を描いたり流れを書いたり、演技している様子を動画で撮り見せたりしながら、子どもたちが今何をしているのかわかりやすく、振り返りやすくする。	
・ハサミのいろいろな切り方を経験し、自由にハサミを使う楽しさを感じる。		◆常にハサミ遊びができる環境を準備し、直線・曲線・重ね切り・模様づくりなど、いろいろな切り方を体験し繰り返し遊び込めるようにする。	
集団活動 【グループ】 ・人数数え ・遠足 【クラス】 ・夏休みの思い出 報告会 【学年】 ・運動会ダンス ・かけっこ		好きな遊び 【室内】 ・ブロック・積み木・無限ブロック・ペタペタブロック・動物フィギュア ・はさみ遊び(羽作り・消防車作りなど) ・折り紙(ぼうし) 【園庭】 ・園庭遊び(太鼓橋・ジャングルジム・砂場・山登り・スケーター) ・跳び箱(カエル跳び競争・1段馬乗り・2段跳び) ・水遊び(雨どい・赤土団子・草花遊び・水たまり遊び) 【食育】 ・トング移し・箸移し	
音楽 【季節の歌】とんぼのめがね、あらどこだ		物語り 【紙芝居】「あさですよ」 【絵本】「つきよのダンス」「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」	

前月の 子どもの姿	○パルーンに興味を持ち、保育者の技の指示をよく聞こうとしている。 ●片付けの時間に、自分が使った玩具を最後まで片付けずに終わらせようとする子どもがいる。	月のねらい	・友だちとダンスやかけこをしたり、散歩に出掛けたりして、みんなで一つのことに取り組む楽しさを感じる。 ・園外保育や散歩などを通して、公共の場でのルールを知ったり、秋という季節を感じたりする。 ・芋ほりやクッキングを通して、秋の訪れを感じる。
		食育のねらい	・箸を使って、最後まできれいに食べようとする気持ちをもつ。
生活・安全	・気温の変化に気づき、自分で衣類を調節する。 ・散歩後、マップ作りを行いながら、交通ルールを振り返り、日ごろから交通安全を心掛けるようにする。	特別保育	12日(土)運動会、13日(日)運動会予備日、16日(水)教職員研修日、29日(火)避難訓練、31日(木)おすもうさんとの交流会
内容		環境の構成及び保育者の援助・配慮	
・自分の好きな遊びを見つけて友達と一緒に、のびのび遊ぶ。 ・体操服の種類や上着など自分で気温に合わせて、衣類を選んで着る。 ・冬の制服の着方をおさらいし、たすきやホックなど自分で着脱し、丁寧に整える。 ・外遊びでは、十字鬼や鬼ごっこやサッカー、ドッジボールなど体を動かすことを楽しむ。 ・大縄や跳び箱や平均台など今まで触れていなかった遊具にもチャレンジしてみる。 ・散歩に出かけたり、園庭の木々の変化に気づいたりして、身近な秋の自然に親しむ。 ・遠足での様子を振り返り、遠足に関連した遊びを行う。 ・友達とイメージを共有したり、力を合わせたりしながら、遊びを楽しむ。 ・運動会後も異年齢児のリレーや踊りなどを自分たちなりに楽しみながら交流していく。 ・様々な絵本や紙芝居を観る。 ・友達とイメージを伝え合うことで、いろいろな気持ちを感じたり、考えたりして遊んでいく。 ・自然物を使って製作をしたり、いろいろな素材に触れて遊ぶ楽しさを味わう。		◆好きな遊びでの個人で自由に遊ぶ時間と運動会などのみんなで活動を楽しむ時間をバランスよくとりながら、一日の時間を充実した1日になるように声をかけていく。 ☆着替えの際に、体操服は何を持ってきているのか一緒に確認し、子どもと相談しながら、着替えを進めるようにする。 ☆◆制服の着替えの時間を最初は20分と決めて、一人ひとりの様子を見ていく。手先が不器用で進まない子は、着替え前のトイレを早めに行くように声をかけたり、パーテーションを準備して集中して着替えられるようにする。 ☆外遊びでは、遊びにすぐとりかかれるようにラインを引いたり、サッカーゴールを準備したりして、遊び始められる環境作りをする。次第に、自分たちで準備できるような声かけをする。 ◆跳び箱や平均台など1階に準備をし、普段の遊びの中で、保育者が見守れる環境の中で安全に遊びこめるようにする。 ☆いろいろなルートで公園に行き、散歩の道中で花や木々を見て、季節の変化を感じられるようにする。 ◆遠足の写真をクラスに掲示したり、パンフレットを貼っておいたり、面白かったことを付箋に書いて掲示したりして、遠足の余韻を楽しめるようにする。 ◆飯事遊びやごっこ遊びが広がるように、道具や衣装を準備する。実際に、必要なものを廃材で保育者が作って見せたりして、イメージを形にしていける楽しさを感じられるようにする。 ☆好きな遊びの時間に、年長児を誘って一緒にリレーをしたり、年少児を誘ってダンスをしたりしながら、運動会ごっこを引き続き楽しめるようにする。 ◆紙芝居の台を準備して、シアターの雰囲気や世界観を楽しめるようにする。 ☆こども会議の時間は、なるべく15分と決めて、みんなが集中できる時間内に話をする。 ☆園庭に机椅子やテーブル、絵具を準備して、いつもとは違った製作ができる環境を準備する。また、子どもたちが片づけやすい環境作りをする。	
集団活動 【グループ】 ・運動会のダンスグループ 【クラス】 ・ゲーム遊び 【学年】 ・保育室マップ作り ・散歩		好きな遊び 【室内】 ・ブロック ・積み木 ・無限ブロック ・ペタペタブロック ・動物フィギュア ・はさみ遊び ・折り紙 【園庭】 ・園庭遊び(太鼓橋・ジャングルジム・砂場・山登り・スケーター) ・大縄(へび・上か下か真ん中か・郵便屋さん・ハの字) 【自然物遊び】 ・落ち葉(花束づくり・お面や冠づくり・おちば通し) ・どんぐり・石(絵の具のお絵描き)	
音楽 【季節の歌】森のくまさん、公園に行きましょう		物語り 【紙芝居】「どきどきうんどうかい」 【絵本】「かわのなかのうんどうかい」 【エプロンシアター】「ばんやさん」	

前月の 子どもの姿	○運動会の練習では、友達と一緒にダンスやパルーンでの表現を楽しむ姿が見られた。 ●給食の時間に、周りのグループの友達が気になって、体ごと横を向いたり、肘や腕が当たって食器ごと落したりすることがある。 ●片付けの時間に最後まで片付けをせずに次のことをしている。	月のねらい	・自分の考えや思いを伝えたりして、物語のイメージを共有しながら劇遊びを楽しむ。 ・冬の制服の身だしなみを自分で整える。(襟を出す、シャツをズボンやスカートの中にいれる、袖のボタンを止めるなど)
		食育のねらい	・箸を使って最後まできれいに食べようとする気持ちを持つ。
生活・安全	・冬の制服の身だしなみを自分で整える。(襟を出す、シャツをズボンやスカートの中にいれる、袖のボタンを止めるなど)	特別保育	1日(金)入園願書受付(休園) 6日(水)教職員研修日 7日(木)保育参観(年中) 12日(火)避難訓練(不審者) 13日(水)お弁当の日(全学年) 19日(火)誕生会・個人懇談 27日(水)クラス写真撮影日
内容		環境の構成及び保育者の援助・配慮	
・劇場では、自分のやりたい役を考え、クラスでのこども会議や友達との話し合いで積極的に発言し、参加する。 ・好きな遊びの中での友達とのやり取りを楽しむ。 ・友達とのトラブルでは、自分の言葉で伝えようとする。 ・秋の製作では、手や指を使って絵の具の感触を楽しむ。 ・廃材遊びでは、様々な廃材を組み合わせて、友達と一緒に作ったり遊んだりすることを楽しむ。 ・秋の素材を使って、王冠を作ったり、落ち葉を利用して絵を描いたりして、素材を使って、製作遊びをする。 ・散歩では、年少組の友達とペアになり、安全に楽しく散歩する。 ・掃除の時間では、椅子を持ち上げて片付けたり、雑巾をかける場所を整えることを意識したりする。 ・冬の制服の身だしなみを自分で確認し、友達同士でも確認し合う。 ・一学期に踊ったダンスや運動会でのダンスを振り返り、劇場に向けて体を動かしたりみんなでひとつのことをする楽しさを味わう。 ・芋のクッキングでは、掘った芋を使って料理をすることを楽しみにし、出来上がった料理を友達と一緒に食べて達成感と満足感を味わう。		◆様々な絵本を読み、物語に親しむことができるようにする。 ☆みんなの前で発言することに緊張したり、自分の意見を伝えることが苦手な子どもには、グループの友達同士で話し合う時間をもって発言しやすくなるようにする。 ☆一人で遊ぶことが好きな子どもには、ままごとや鬼ごっこなどの複数でする遊びに誘い、みんなで遊ぶ楽しさを感じることができるようになる。 ◆嫌なことがあったときに自分で伝えることが苦手な子どもには、安心して自分の気持ちを伝えられるように隣で見守ったり、自分で言えるような声掛けをする。 ☆散歩で自然に目を向けられるようにしたり、色々な色の絵の具を準備したりして、自分の思い描く作品を作れるようにする。 ☆手形スタンプで遊んだり、芋や指を使って、絵の具に親しみ、製作活動を楽しみにすることができるようになる。 ◆様々な素材の廃材を用意し、友達と一緒に譲り合いながら遊ぶことができるようにする。 ◆普段の遊びの中で、落ち葉や石の秋の素材を準備をしたり段ボールや紙を準備して、自由に廃材遊びを楽しむ。 ☆年少組の友達の手本になると意識が持てるようにクラスで話したり、散歩のルールを再確認したりして、安全に散歩に行けるようにする。 ◆☆椅子や雑巾の片付けの仕方が丁寧な子どもを褒め、友達同士でも意識することができるようになるように声掛けをする。 ◆☆一番上のボタンや、袖のボタンを留めることが苦手な子どもには、やりやすいやり方を伝え、自分で挑戦してみることができるようになる。 ◆朝の輪の時間に身だしなみを整える時間を作り、気持ちよく一日を始めることができるようにする。 ◆☆朝の好きな遊びの時間に音楽を流し、体を動かすことを楽しむ時間を作る。 ☆みんなで掘った芋を使って料理をすることを楽しみ、クラスでは衛生面に気を配ることができるようになるように話ををする。	
集団活動 【グループ】 ・当番活動（朝の会） 【クラス】 ・劇遊び 【学年】 ・散歩		好きな遊び 【室内】 ・ブロック ・積み木 ・無限ブロック ・ペタペタブロック ・動物フィギュア ・カプラ ・パズル ・かるた ・はさみ遊び(車作り) ・折り紙(サンタ・どんぐり) 【園庭】 ・園庭遊び(太鼓橋・ジャングルジム・砂場・山登り・スケーター) ・鉄棒(前回り・逆上がり) ・落ち葉・石遊び 【自然物遊び】 ・どんぐり拾い ・落ち葉拾い	
音楽 【季節の歌】 こぎつね、やまのおんがくか		物語り 【紙芝居】 「たいへんなわするもの」 【絵本】 「もりのかくれんぼう」「おちばいちば」	

前月の 子どもの姿	○劇作りでは、友達とイメージを共有しながら、話や役のイメージを作ることを楽しんでできた。 ○朝登園すると、外で遊びたいと積極的に遊ぼうとする姿が見られる。 ●少し寒くなっただけで、上着を着ようとするが多かったり、寒さのため水分補給をしようしない。	月のねらい	・役のセリフや動きなど、のびのびと表現することを楽しむ。 ・手洗い、うがいなどをしっかりと行い、戸外で元気に遊ぶ。
		食育のねらい	・きちんと椅子に座って、正しい姿勢で食べる。
生活・安全	・手洗い、うがいをしっかりと行い、戸外で元気に遊ぶ。 ・2学期が終わることを知り、ロッカーの整理を行い、整理整頓をする。	特別保育	3日(火)避難訓練(その他・バス) 4日(水)誕生会 10日(火)こども劇場リハーサル 14日(土)いきっこども劇場 16日(月)～20日(金)全園児 個人懇談(13:30降園) 18日(水)給食終了 23日(月)終業式
内容		環境の構成及び保育者の援助・配慮	
・室内外の気温差や活動に応じて、自分で気づいたり友達の姿を見ながら、衣服の調整などを行い、健康に過ごせるようになる。 ・手洗いうがいや水分補給を細目に行う。 ・寒さに負けず、体を動かして遊ぶ。 ・クリスマスパーティーでは、自分たちでパーティーを準備したり、冬野菜を使った簡単な調理をして友達と食べたりすることを楽しむ。 ・セカンドステップでは、今学期やってきたセカンドステップ(友達の顔から気持ちに気付く、怒りなどの感情を止めるなど)を振り返る。 ・友達と遊ぶ楽しさを味わいながら、遊びのルールや相手の思いも受け入れて、いっしょに遊びを進めていく楽しさを感じる。 ・季節の変化や自然の変化に関心をもつ。 ・劇遊びでは、友達と思いや考えを伝え合いながら、共通のイメージをもって表現したり、なりきったりして遊ぶことを楽しむ。 ・自分達で小道具を作ったり、衣装を着てみたりしながら、お話のイメージを作っていく楽しさを感じる。 ・クリスマス製作などでは、年末の雰囲気味わい、友達とイメージを共有して楽しむ。 ・見たことや感じたことをさまざまな方法で表現する楽しさを味わう。		☆◆気候に合わせて、レギンスや長袖Tシャツなどを脱いでから体操服を着たり、行き帰りは上着を羽織ったりする等、この時期の衣類の手段を伝えながら、自分で考えて、衣類を調節するようにする。 ☆風邪予防のための水分補給の大切さや、うがい手洗いのやり方を改めて伝え、寒くても必ずうがい・手洗い・水分補給をするように、活動の合間に声をかける。 ☆朝の身支度を済ませたら、外遊びや室内遊びの両方を楽しめるように、保育者を配置し、思い思いに遊べるようにする。 ☆◆縄跳びやケンケンパやマラソンなど身体を動かして遊べる遊びの環境づくりをし、子ども達が身体を暖めて安全に遊べるようにする。 ☆野菜スープ作りや保育室の飾り付けなどを行い、パーティーを計画準備していく中で、みんなで過ごす大切さを感じられるようにする。 ☆◆今まで行ってきたセカンドステップのカードやポスターを並べて見ながら学んできたことを振り返る。友達とのかかわりの中で、自分が心掛けていることをみんなで振り返られるように共有する。 ☆鬼ごっこ、十字鬼、ケンケンパ、色付き鬼、はないちもんめ、だるまさんがころんだなど今までやってきた遊びを振り返りながら、みんなで遊ぶ楽しさを感じられる時間を持ち、好きな遊びの時間にもできるように環境を残していく。 ☆今まで出かけた散歩の道を再び訪れ、変化に気づく機会を作っていく。 ☆子どものイメージを大切にしながら、保育者も身振り手振りで話す姿を見せ、恥ずかしがらずに自然に表現できるように雰囲気づくりをする。 ◆普段の生活の中でも、なりきって返事をしてみたり、歩いてみたりと、日常からなりきり遊びをしたり、役の名前を使ったゲーム遊び(フルーツバスケットやリトミックなど)を取り入れてみる。 ☆小道具作りでは、ベースは同じにししながら、いろいろな素材を準備してオリジナルの小道具を作れるようにする。 ☆◆子どものイメージを大切にし、この時期ならではの製作など、自分なりのイメージを形にできるよう関わり、充実感を味わえるようにする。	
集団活動		好きな遊び 【室内】 ・ブロック ・積み木 ・無限ブロック ・ペタペタブロック ・動物フィギュア ・はさみ遊び(星作り・ツリー作り) ・折り紙(サンタクロース) 【園庭】 ・園庭遊び(太鼓橋・ジャングルジム・砂場・山登り・スケーター) ・跳び箱(3段跳び) ・竹馬、竹ぼっくり ・ケンケンパ 【劇遊び】 ・劇作り	
音楽		物語 【紙芝居】「かさじぞう」 【絵本】「クリスマスの女の子」 【シアター】「十二支のお話」	

前月の 子どもの姿	○劇場では、自分の役になりきって演じることを楽しむ姿が見られた。 ●寒さのため園庭で遊ぶことを嫌がることがあった。	月のねらい ・お正月遊びに興味を持ち、友達と一緒に楽しむ。 ・戸外で遊んだりマラソンをしたりすることで、寒さに負けない元気な体を作る。
		食育のねらい ・箸の持ち方を振り返り、最後まできれいに食べる。
生活・安全	・戸外に進んで出て、寒さに負けず体を十分に動かして丈夫な体を作る。 ・手洗いうがいをこまめに行い感染症にかからないように意識できるようにする。	特別保育 8日(水)始業式 9日(木)給食開始 15日(水)保育参観 16日(木)お弁当の日 21日(火)誕生会・個人懇談 22日(水)避難訓練 28日(火)正月遊びの日 30日(木)交通安全教室
内容		環境の構成及び保育者の援助・配慮
・正月遊びでは、友達と一緒にこまやかた等の正月にする遊びに触れ、伝統遊びを楽しむ。 ・ルールのある集団遊びを楽しみ、ルールを守ってクラスの友達と一緒に楽しく遊ぶ。 ・3学期が始まることに期待を持ち、友達や保育者と幼稚園で過ごすことを楽しみにする。 ・冬ならではの自然に興味を持ち、触れたり試してみたりしながら、園庭や公園で体を思い切り動かして遊ぶ。 ・雪や霜柱などに興味を持ち、冬の自然を感じて楽しむ。 ・寒さに負けず、積極的に戸外で遊び、冬ならではの遊びを友達と一緒に楽しむ。 ・交通安全教室に参加し、登降園時だけでなく家庭でも交通安全を意識して生活する。 ・戸外遊びや排泄の後、給食の前に必ず石鹸で手洗いをするを心がけ、風邪を引いたり感染症にかかったりするのを防ぐことを意識して過ごす。 ・お楽しみ参観に向けて、パングバンビ祭りの準備をする。 ・お別れパーティーで使う様々な楽器に触れ、音の大きさや高さで表現して遊ぶことを楽しむ。		◆正月遊びの種類や遊び方、ルールなどを紹介し、コーナーを作って友達と一緒に興味を持った正月遊びを楽しむことができるようにする。 ◆☆集団遊びが苦手な子どもには、ルールを詳しく伝えたり、どんな遊びが分かるように手本を見せたりして安心して参加できるようにする。 ◆☆冬休みの出来事を友達と一緒に話す時間を設け、楽しかったことや頑張ったことなどを伝え合い、友達と一緒に楽しく過ごすことのできる雰囲気づくりをし、3学期に期待が持てるように関わる。 ◆☆園庭にいる冬の虫探しや風揚げ等の冬ならではの遊びができる環境を整え、自然に興味を持てるように関わる。 ☆寒さが苦手て園庭に出たくない子どもには、上着やスモックを着てもいいことを伝えて誘い、戸外遊びに参加して丈夫な体づくりができるようにする。 ◆交通安全教室での話を思い出して安全に過ごすことができるよう、理解が難しかった子どもにはイラストで振り返ることができるようにしたり、走って出会い頭にぶつかったりすることを伝えたりして園生活でも意識しやすいようにする。 ◆☆風邪や感染症が流行っていることや病気にかかったらどうなるのかを伝え、手洗い場の様子を見ながら石鹸でしっかりこすって洗うことを声掛けしたり、咳をするときは手や腕で口を覆うように伝えて健康に過ごすことができるようにする。 ◆☆踊ったり表現することが苦手な子どもには、動物や劇の役等のやったことがあるものになりきり、友達や保育者、保護者と一緒に楽しく参加できるようにする。 ◆合奏に使う様々な楽器を準備し、音の違いに気づくことができるような声掛けをしたり、正しい演奏方法を伝えたりして楽器に親しむことができるようにする。
集団活動 【集団活動】 【グループ】 当番活動 【クラス】 鬼ごっこ、はないちもんめ、おしくらまんじゅう		好きな遊び 【室内】 ・ブロック・積み木・無限ブロック・ペタペタブロック・動物フィギュア ・はさみ遊び(お金作り) ・折り紙(財布作り) 【園庭】 ・園庭遊び(太鼓橋・ジャングルジム・砂場・山登り・スケーター) ・跳び箱(3段跳び) ・竹馬、竹ぼっくり ・ケンケンパ 【正月遊び】 ・福笑い・お手玉・こま回し
音楽 【季節の歌】お正月、ゆき、まめまき、カレンダーマーチ		物語り 【紙芝居】「かさじぞう」 【絵本】「てぶくろ」「バムとケロのさむいあさ」「だるまちゃんとうさぎちゃん」

前月の 子どもの姿	○楽器に興味を持ち、色々な楽器に触れる。 ○個人差があるが、元気にマラソンをすることを楽しんでいる。 ●寒さのため、園庭で遊ぶことを嫌がるがあった。	月のねらい	・最後まで楽しく一生懸命に走る。 ・おわかれパーティーでは、年長児に感謝の気持ちを持ち、友達と一緒に楽しみながら準備や出し物を行う。
		食育のねらい	・食材に興味を持ち、友達と一緒に楽しみながら食べる。
生活・安全	・感染症が流行する時期なので、石鹸をしっかり使用して手洗いをし、うがいも丁寧にを行うようにする。 ・マラソン公園まで交通ルールを意識して、安全に行く。	特別保育	3日(月)まめまき 4日(火)避難訓練(その他) 6日(木)いきっこマラソン 14日((金)お楽しみ参観 18日(火)誕生会・個人懇談 21日(金)おわかれパーティー
内容		環境の構成及び保育者の援助・配慮	
・室内遊びでも外遊びでも興味を持ったことに繰り返し挑戦する。 ・子ども自身が必要性をわかったうえで、手洗いうがいや衣服調節などを自分から行えるようになる。 ・自分のハンカチを携帯し、手を洗ったらハンカチで自分の手をきれいに拭くようにする。 ・定期的にマラソン公園へ行くことで、環境の違う場所で、マラソンをしたり坂下りをしたりして、身体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・年長児に対して、感謝の気持ちを持ち、活動の準備を進めていく。 ・今のクラスの友達と一緒にゲームやままごと遊びをし、一緒に過ごす楽しさや安心感を感じる。 ・掃除の時間は、担当の所だけでなく、玩具の片づけなど、自分で進んで取り組むようにする。 ・かるた遊びなどを通して、文字に興味を持ち始めている子に対して、文字を目にする機会を増やしていく。 ・合奏では、友達の演奏を感じながら、リズムに合わせて楽しく表現する。 ・年長児の卒園プレゼントでは、折り紙の花を丁寧に折り、心を込めて作る。		◆☆園庭と保育室を自由に行き来できるように、遊びやすい環境づくりや保育室の配置など工夫していく。また、子どものやっていることに対する価値観を認める声掛けをする。 ◆☆寒さや天候の変化や咳や鼻水の体調の変化などに目を向けられるように声をかけ、自分で気づいて体調管理ができるようにする。 ◆☆ハンカチを持ってきたか確認をする。トイレの際は、保育者が見守り、きれいに手を拭いたか片づけの仕方など、その都度確認し、習慣化できるようにする。 ◆☆定期的にマラソン公園へ行き、走るだけでなく、公園の坂を利用して、坂下りやさかのぼりなど体を使って遊べるようにする。 ◆☆お別れパーティーでは、年長児に対しての思いを共有する。また、催し物では、自分が何をしたいのか、どんなメッセージを贈りたいのか、自分の意見を友達に伝える機会を作ることができるようにする。 ◆☆お楽しみ会では、友達や保護者と一緒にゲームを楽しみながら、クラスでの所属感を感じ、進級に対する期待を感じられるようにする。 ◆☆子ども達と片づけのしやすい環境に整えなおしながら、元の位置に戻すことが習慣化できるようにする。片づけていないことに気づけるようにする。 ◆歌詞カードを準備したり、話し合いの内容を目の前で書いたりしながら、文字を見る機会を増やしていく。 ◆合奏では、自分たちで楽器を準備し楽器が揃っているか、グループの友達と確認するように声をかけ、みんなで一つの演奏をしていることを感じられるようにする。 ☆折り紙、ペン立て、ひな飾り作りを通して、一つずつ丁寧にできるように、事前に何を作るのかイメージしやすいようにしたり、工程の流れを分かりやすく、どこを丁寧にすべきかポイントを伝える。	
集団活動		好きな遊び	
【グループ】 ・お別れパーティー(合奏)		【室内】 ・ブロック ・積み木 ・無限ブロック ・ベタベタブロック ・動物フィギュア ・はさみ遊び(お楽しみ会飾り付け) ・折り紙(卒園メダル) ・机上遊び(カード・ブロック・めいろ)	
【クラス】 ・当番活動		【園庭】 ・園庭遊び(太鼓橋・ジャングルジム・砂場・山登り・スケーター) ・跳び箱(3段跳び) ・ケンケンパ ・大縄	
【学年】 ・鬼ごっこ、はないちもんめ、おしくらまんじゅう			
音楽		物語り	
【季節の歌】卒園のうた、園歌、ひなまつり		【紙芝居】「豆まきになぜ豆をまくの？」 【絵本】「わすれられないおくりもの」「まゆとおに」	

前月の 子どもの姿	○楽器を演奏することを楽しみ、色々な楽器に興味を持っている。 ●テープや折り紙、ティッシュ等を必要以上に使うことがある。 ●水道を使用した後に蛇口から水が出ているままのことがある。	月のねらい	・一年を通してできるようになったことや楽しかったことを振り返る。 ・みんなで一緒に過ごす楽しさを感じ、学年の友達みんなと進級することに期待を持つ。
生活・安全	・園での安全な遊び方を考える時間を作り、子ども自身で遊び方を工夫したり安全な遊び方を教え合う。 ・衣服を丁寧に畳み、時間を意識しながら身支度をする。	食育のねらい	・食事のマナーを振り返りながら、感謝の気持ちをもって給食をいただく。 4日(火)誕生会・個人懇談 6日(木)卒園式リハーサル 11日(火)卒園式前日準備 12日(水)卒園式 14日(金)給食終了 21日(金)終業式
内容	環境の構成及び保育者の援助・配慮		
・給食時、食器の位置を自分で考えて置き、食前と食後の挨拶を丁寧にします。 ・ひなまつりの行事について知り、雛人形を飾る意味や食べ物について考える。 ・マラソンに引き続き、リレーや障害物走など走る遊びを楽しむ。 ・今のクラスで過ごすことを楽しみ、ルールのある遊びに参加したり友達と積極的に関わって遊ぶ。 ・進級することを実感し、年長になることに対して期待を持って過ごす。 ・自分の掃除場所を責任をもって掃除することで、綺麗になった自分の場所への心地よさを感じられるようにする。 ・花のつぼみや芽が出ていることに気づき、春の自然に関心を持つ。 ・保育室や園庭での自分の遊び方を振り返り、安全な遊び方や過ごし方を話し合う。 ・絵本や玩具などを大切にしようとし、次使う人のことを考えて丁寧に片付けをする。 ・卒園式では年長児に感謝の気持ちを伝え、落着いた気持ちで参加する。 ・正しい言葉遣いや良くない言葉遣いについて子どもと一緒に考え、友達に対して優しい言葉で話せるようにする。 ・ゲーム遊びや運動遊びでは、勝ち負けを全身で表現することを楽しむ。 ・卒園式で年長児に伝える言葉を自分たちで考え、友達の前で自分の伝えたいことを発表する。	◆食器の位置を友達同士で確認したり、トレイからランチョンマットに置く時に考えて置くように声掛けをする。 ◆飾ってある雛人形を見に行き、服装や持ち物を見てみたり、ひなまつりの行事について話したりし、日本の伝統行事に興味を持てるようにする。 ◆リレーのバトンや障害物走に使う道具を準備しておき、子どもたちが自ら走る遊びを楽しめる環境をつくっておく。 ◆☆子ども達が主体となってやりたい遊びを提案する機会を設定したり、集団遊びを取り入れたりし、クラスで過ごすことを心地よく感じることができるように関わる。 ◆生活面や行事の役割などの年長児になったらできるようになることを話したり、理想の年長像を考えたりして進級に期待を持って過ごせるように関わる。 ◆☆掃除の時間に掃除道具で遊んでいる子どもには、掃除が得意な子どもに手本やコツを教えてもらったり、掃除をする意味を伝えたりしながら、意欲を持って掃除に取り組めるようにする。 ☆園庭に咲いている花や木の変化などに気づくことが出来るように声掛けをし、冬から春に変わっていくことを感じながら過ごせるようにする。 ◆☆ボールやスコップなどの玩具を持ったまま山に登ったり、机の下や隙間に入ったりしていることが増えていることを伝え、危ない理由と、安全な遊び方を自分で考える時間を作る。 ◆☆絵本の背表紙が見えると選びやすいことや、整って見えること、玩具を大切に使うことで長く使い続けることができることなどを伝え、保育者が大切に物を扱う姿勢を見せながら伝えていく。 ☆朝の輪や活動時に保育者が話している時に話し出す子どもには、話を最後まで聞くことを普段から伝え続けていく。 ◆☆よくない言葉遣いをしている子どもには、保育者が正しい言葉遣いで言い換えたり、自分で言い換えてみたりする。 ☆全力で喜んだり悔しがったりして、勝っても負けてもどちらも楽しいと感じることが出来るようにする。 ◆☆友達が発表している時の聞く姿勢を伝え、発表する子どもが自分の考えを安心して発表できる雰囲気作りをする。		
集団活動 【グループ】 ・当番活動 【クラス】 ・ゲーム遊び 【学年】 ・卒園式の言葉	好きな遊び 【室内】 ・ブロック ・積み木 ・無限ブロック ・ベタベタブロック ・動物フィギュア ・カードゲーム ・人形遊び ・紐通し ・はさみ遊び(ひなまつり製作) 【園庭】 ・園庭遊び(太鼓橋・ジャングルジム・砂場・山登り・スケーター) ・鬼ごっこ ・かくれんぼ ・だるまさんがころんだ ・パラシュート ・サッカー		
音楽 【季節の歌】 卒園のうた、うれしいひなまつり	物語り 【紙芝居】 「みんなでつくった おひなさま」 【絵本】 「もりの ひなまつり」「ドムくんと なぞなぞおてがみ」		

今月初めの 子どもの姿	○新しい環境に興味をもち、積極的に関わり、楽しんでいる。 ●身支度を進んでしようとする子と、周囲に気を取られて時間がかかる子と個人差がある。	月のねらい	進級した喜びを味わい、新しい生活に自ら取り組む。
生活・安全	・手洗い、うがいの意味を考え、丁寧にやる。 ・室内での安全な遊び方や過ごし方を考えて行動する。	食育のねらい	食事のマナーを確認しながら、楽しく給食をいただく。
生活・安全	特別保育		9日(火)始業式 12日(金)入園式 17日(水)おやつ給食 18日(木)給食開始 22日(月)園外保育 23日(火)尿検査 24日(水)誕生会 26日(金)親子遠足
内容	◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮		
・新しい生活の流れを知り、生活に必要な準備や片付けを保育者と一緒に取り組む。 ・当番活動などに進んで取り組み、自分達で生活を進めていこうとする。 ・やりたい遊びを楽しみながら、遊びに応じて保育者と一緒に場を整えたり、作り替えたり、道具を用意したりする。 ・年下の子どもに親しみをもち、優しく関わったり、相手に応じて行動しようとしたりする。 ・興味のあることを見つけて、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・考えたことや思ったことを友達と出して遊びを進めようとする。 ・友達と一緒にルールのある遊びをしながら、思いきり身体を動かすことを楽しむ。 ・春の季節の心地よさを感じながら、戸外で伸び伸びと遊ぶことを楽しむ。 ・春の自然に親しみをもち、春の自然について考えたり、遊びに利用できるように試したり取り入れたりする。 ・友達と声を合わせて歌う気持ちよさを味わう。	☆進級を喜び、意欲的に行動をする姿を認め、自分の思いや考えを伸び伸びと表現できるように関わる。 ☆当番活動の内容やグループの名前を話し合ったり、決めたりする機会を設けることで、自分達で生活を進めようとする気持ちを高められるようにする。 ◆1日の流れや当番の仕事、献立、週の予定など絵や文字などで分かりやすく掲示し、生活や次の週へ期待をもち、自分のやる事がわかって安心して過ごせるように環境を整える。 ☆保育者と一緒に遊びながら、触れ合ったり、楽しさに共感したりして、一人ひとりとの信頼関係を築けるようにする。また、様子を見守りながら、遊びが継続したり深まったりできるように子どもたちが始めた遊びの中に入り、友達と関わる面白さを感じられるようにする。 ☆年下の子どもに優しく関わったり、相手に応じて一緒に活動したりする姿を認め、5歳児になった喜びを味わったり、自信をもったりできるように関わる。 ◆興味をもった友達と同じ遊びをゆっくりできるように、玩具を増やしたり遊びの空間を分けたり、十分な遊びの時間を確保したりする。 ☆友達と考えを出し合って遊ぶ姿を見守りながら、思いがすれ違った時には、保育者と一緒に話を整理したり他の友達の意見を求めたりするなど、自分たちで解決するきっかけづくりをする。 ◆クラスの友達と一緒に楽しむ歌やゲーム、制作などを用意し、みんなで遊ぶ楽しさやクラスのつながりを感じられるようにする。 ◆草花遊びや泥団子作り、虫探しができるよう、遊びに必要な素材や用具を用意しておく。(容器、図鑑、虫メガネ、ビニール袋など) ☆自然と親しむ姿を受け止め、気付いたことを相手に伝えたり、考えたことを試したりすることを十分に味わえるように関わる。 ◆様々な季節の歌を歌うことで、自分の好きなうたを見つけて友達と一緒に歌うことを楽しむことができるようにする。		
集団活動 【学年】 ・入園式に向けて、年少児へのプレゼント作り 【クラス】 ・自己紹介 ・グループ、当番内容決め ・ミニミニ誕生会 ・集団遊び(じゃんけん遊び、わらべうた遊び、椅子取りゲームなど) ・こどもの日にちなんだ制作	好きな遊び 【室内】 ・制作(空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など) ・ままごと・カプラ・ビタゴラスイッチ・レゴブロック ・牛乳パック電車 【戸外】 ・砂遊び(型はめ、山作り、泥団子作り) ・スクーター・トロコ ・氷鬼、鬼ごっこ ・自然物遊び(色水作り、虫探し) ・大縄、短縄・固定遊具(太鼓橋・雲梯)		
音楽 【歌】 ・春の小川 ・ピクニック	物語 【絵本】 ・言葉遊び(「こんにちわに」「へっこぶっとたれた」) ・友達との関わり(「いっぱいさんせーい」「またまたさんせーい」) 【紙芝居】 ・季節のもの(「げんきがでるよかしわもち」)		

今月初めの 子どもの姿	○身近な草花を使って遊んだり、ダンゴムシや蝶などを見つけて観察したりすることを楽しんでいる。 ●友達と一緒に遊ぼうとするが、自分の思いを優先してしまいトラブルになることがある。	月のねらい	友達とのつながりを深め、互いの思いを伝え合いながら遊びを進め、生活を楽しむ
生活・安全	・気温に合わせて衣服の調整をしようとする。 ・災害時の危険を知り、合図や指示に従って安全に行動しようとする。	食育のねらい	食べる時の姿勢や箸の持ち方を意識する。
生活・安全		特別保育	14日(火)避難訓練(火災) 16日(木)創立記念の話 20日(月)交流保育(おひさま) 21,22日(火、水)歯科検診 24日(金)誕生会 28日(火)運動能力測定 27日～教育実習①
内容	◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮		
・十分に身体を動かして遊び、進んで食事をすることを楽しむ。 ・園生活での決まりを確認し、進んで守る。また、安全に気を付けて、遊具や道具を正しく使う。 ・身体を動かす遊びでは、自分なりに目標をもって繰り返し取り組む。 ・ルールのある集団遊びを通して、ルールを守ることによって互いが楽しく遊べることに気付く。 ・自分の思いや考えを言葉で相手に分かるように伝える。 ・友達の思いを聞き、友達のしていることに気付いて受け止めようとする。 ・草花や野菜の生長を楽しみにしながら世話をし、変化に気付いて関心をもつ。 ・水や砂や土の特性に気付き、友達と考えたり試したりする。 ・歌詞やその世界を思い浮かべて歌うことを楽しむ。 ・感じたことを自由に描く、作るなどして表現を楽しむ。	☆たくさん身体を動かすことで、食べる量が増え、苦手な食べ物にも挑戦する力が日々の遊びの原動力につながっていることを伝えていく。また、一人ひとりの給食の様子を見ながら本児の頑張りを全体に知らせるなど声掛けを工夫し、意欲的に食事をしたり楽しんだりできるようにする。 ☆◆安心、安全、安定に支えられた園生活を基盤に5歳児として自分で考え、判断して行動できるよう、友達と話し合いができる機会を大切にする。 ◆クラス全体でルールのある遊びをする時間を作り、ボールなどの道具を使った遊びから友達と触れ合ったりする遊びなど様々な分野の遊びを用意する。好きな遊びの時間でも取り入れられるようにきっかけ作りをする。 ☆友達と思いや考えを伝え合いながら遊ぼうとする中で、自己主張し合い、思いがぶつかった時は、それぞれが感じる思いを相手に伝わるように言葉で表現できるように関わる。 ☆友達との深まりを高めるために保育者も仲間に加わったりアイデアを提供したりし、相手の気持ちを感じることができるようになる。 ◆身近な自然物、飼育物に関しての発見や疑問を子どもたち同士で共有して、さらに興味や関心が深まるように、伝え合う場や機会を設けていく。 ◆水や砂、泥を使ったダイナミックな遊びでは、試したり工夫したりしながら作る楽しさを味わえるよう、様々な素材や道具を用意しておく。(雨どい、スコップ、バケツなど) ☆子ども達が何を実現したいのか、気持ちや考えをよく聞き、必要な材料と一緒に考えていくことで遊びが深まるようにする。 ◆様々な季節の歌を歌うことで、自分の好きなうたを見つけて友達と一緒に歌うことを楽しむことができるようにする。 ☆歌詞の意味と一緒に考えたり調べたりすることで歌の理解が深まり、歌の世界を想像しながら歌うことができるようにする。 ◆自分がイメージしたことを伸び伸びと表現することができるよう、様々な素材を用意する。また、作ったものを飾るなど、互いの表現の面白さに気付けるように工夫する。		
集団活動 【学年】 ・交流保育に向けて、おもてなし準備 【クラス】 ・集団遊び(じゃんけん遊び「じゃんけんトンネル」、わらべうた遊び「らかんさん」、ボール遊び「ボール渡し」、ふれあい遊び「茶摘み」など) ・家族へのプレゼント製作「花瓶」	好きな遊び 【室内】 ・製作(空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など) ・ままごと・カプラ・ピタゴラスイッチ・レゴブロック・お手玉 ・牛乳パック電車・楽器遊び 【戸外】 ・砂遊び(型はめ、山作り、泥団子作り) ・スクーター・トロッコ ・自然物遊び(色水作り、虫探し) ・大縄、短縄・固定遊具(太鼓橋・雲梯・登り棒・ジャングルジム)		
音楽 【歌】 ・つばめになって ・うたえバンバン ・茶摘み 【音楽】 ・耐久戦隊ガマン ・昆虫太極拳	物語 【絵本】 ・言葉遊び(「おせんべいやけたかな」「わらべうた遊びの本」) ・友達との関わり(「きみはほんとうにステキだね」「けんかのきもち」) 【紙芝居】 ・季節のもの「タボちゃんのたび」 ・食育「ありがとう ごはんつぶマン」		

今月初めの 子どもの姿	○季節の歌やわらべうた遊びなど、言葉の面白さに気付いて普段の遊びの中でも口ずさんでいる。 ●友達と一緒に遊ぶ中で、自分の意見を伝えられるが、相手の気持ちを受け止めることが苦手でトラブルになることがある。	月のねらい 食育のねらい	・自分の力を十分に発揮して、運動や遊びに取り組む。 ・梅雨時期の自然に好奇心や探求心をもって関わる。 ・食べ物の働きを知り、苦手なものも食べてみようとする。
生活・安全	・衣服の調整や適切な休息の取り方に気付く。 ・歯の生え替わりについて知り、歯磨きや、よく噛むことの大切さを意識しようとする。	特別保育	3日(月)～教育実習生①(8日まで) 4日(火)交流保育(あさひ) 8日(土)ファミリーデー 11日(火)アルバム写真撮影① 13日(木)プール開き 19日(水)内科検診 20日(木)誕生会 21日(金)アビースクール 24日(月)運動能力測定・教育実習生② 27日(木)避難訓練(地震)
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・友達と一緒に遊び、力いっぱい楽しみながら、自分の思いを伝え、相手の気持ちや考えを分かろうとする。 ・自分の身体に関心をもち、健康な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・保育者や友達の話に注意して聞き、内容を理解しようとする。 ・自然事象を遊びに取り入れ、試したり、工夫したりする面白さを味わう。また、発見を楽しむ。 ・見たこと、考えたことをいろいろな材料を使って、工夫して表現する。		☆子ども同士が思いを伝え合う姿を見守りながら、それぞれが自分の思いを出せているか、伝えたいことが伝えられているか、相手の話をしっかりきいているかなどを把握し、様子に合わせて援助する。 ◆ルールのある遊びを引き続き取り入れ、友達と一緒に身体を動かして遊ぶ楽しさや友達とのつながりを感じられるようにしていく。 ◆絵本などの媒体を使って食べ物の働きを知ることや、栽培などの経験を通して、食や自分の身体に興味もち、自分から食べようとする気持ちをもてるようにする。 ☆歯磨き、うがい、身の回りの後始末など毎日取り組んでいる姿を認め、その取り組みはどのような意味があるのか考えたり、より丁寧にすることができているように見直したりしながら関わる。 ☆クラスや学年で集まって話を聞く際、話を聞く姿勢や自分が発言する時のメリハリをもつことができるように関わる。また、内容の理解が難しかった時や困った時に、周囲に知らせることができるよう雰囲気を作る。 ☆水遊びでは、みんなが楽しく安全に遊べるよう、落ち着いた状態で約束事の確認をする。また、自ら守って遊ぼうとする姿を褒めたり、一人一人のペースで水に親しんだりすることができるように関わる。 ☆◆雨や風、滴の様子などに子どもと一緒に目を留め、感じたことや気付いたことに共感したり、不思議に思ったことを調べたりしていく。また、雨や滴を集めて遊べるような材料を用意し、自然事象を取り入れて遊ぶ楽しさを感じられるようにしていく。 ☆◆遊びに必要な物や場所を本物のように作りたいという思いを大切にしていき、使い慣れた材料の新しい使い方や新たな用具を提示し、子どもたちが興味をもったり、自分なりに試したり工夫したりする楽しさを感じたりできるようにしていく。	
集団活動 【学年】 ・交流保育に向けて、おもてなし準備 ・アビースクール ・水遊び(プール) 【クラス】 ・集団遊び(わらべうた遊び「キャロノメダマ」、「ほ・ほ・ほたるこい」、など) ・七夕製作「七夕飾り」 ・時の記念日製作「時計」		好きな遊び 【室内】 ・製作(空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など) ・ままごと・カプラ・ビタゴラスイッチ・レゴブロック・お手玉 ・新聞紙遊び・輪ゴム跳び 【戸外】 ・砂泥遊び(川・泥団子作り)・水遊び ・スクーター・トロッコ ・自然物遊び(虫探し、雨水、色水遊び) ・大縄、短縄・固定遊具(太鼓橋・雲梯・登り棒・ジャングルジム)	
音楽 【歌】 ・にじ ・あめふりくまのこ ・かえるのうた 【音楽】 ・はたけのポルカ ・にんげんっていいな		物語 【絵本】 「あいうえおばけ」※言葉遊び 「スイミー」「ともだち」※友達との関わり 【紙芝居】 「パンダコパンダ雨ふりサーカスの巻その1」 「たべてよたべてよ」	

前月の 子どもの姿	○水に親しみ、友達と一緒にプールや水遊びを思いきり楽しんでいる。 ●室内で走り回ったり戦いごっこをしたりしてしまう子がおり、注意の仕方ですぐにトラブルになることがある。	月のねらい	・夏の生活の仕方が分かり、健康に気をつけて過ごそうとする。 ・自分なりの目当てをもち、試したり工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう。
生活・安全	・水分補給をしたり休息をとったりする必要性がわかり、自分から行う。 ・水遊びでは、水に十分に親しむ一方で、水の危険性を理解して約束事を守ろうとする。 ・公共の場での過ごし方を考えて行動しようとする。	食育のねらい	・栽培物の生長に関心をもち、収穫を楽しんだり、食する喜びを味わったりする。
		特別保育	1日(月)～教育実習生②(5日まで) 2日(火)7月誕生会 5日(金)なつまつり 9日(火)8月誕生会 10日(水)避難訓練(不審者) 17日(水)西警察署見学 18日(木)給食終了・プール納会 19日(金)終業式 20日(土)年長特別保育
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・夏の生活の仕方がわかり、水分補給や汗の始末を自分で気付いて行う。 ・プールや水遊びで安全に楽しむための約束事を理解し、守ろうとする。 ・クラスや学年の活動に意欲的に取り組み、友達とのつながりを感じる。 ・自分の考えを相手に分かるように話すとともに、友達の話すことにも関心をもち、よく聞く。 ・生活の中の言葉や文字・標識・記号に関心をもち、自分たちの表現したいことを伝える手段として、取り入れて遊ぶ。 ・絵本や物語、経験したこと、想像を豊かに膨らませ、様々な素材を使って工夫して表現することを楽しむ。		☆一人ひとりの休息の取り方に柔軟に対応し、子ども自身で自分の体調の変化に気付く大切さを知らせ、夏を健康に過ごせるように関わる。 ◆机や椅子、パーテーションを使って着替えを行い、自分のスペースで安心して着替えができるようにする。 ☆プール遊びの中で安全に気を付けている姿を認め、友達同士で声を掛け合い、安全に気を付けられるように見守る。 ☆学年やクラスで活動する楽しみを見つけたり、友達と一緒に考え、力を合わせることで可能性や面白さが広がることに気付いたりすることができるように関わる。 ◆一人ひとりが自分の意思で集団活動に参加し、クラスのつながりや自分の居場所、友達の大切さを感じることができるよう、必要に応じて全体や個別で話し合いの場を設ける。 ☆話し合う様子を見守り、必要に応じて互いの考えの違いに気付けるように整理して伝える。また、話し合う中で、互いが納得するためにはどうしたらよいかを考える姿を支えていく。 ☆自分達の活動をクラスや学年だけでなく、他学年や地域の方にわかりやすく伝える表現方法を考え、試したり工夫したりすることができるように関わる。 ☆◆遊びに必要な物や場所を本物のように作りたいという思いを大切にしていける。使い慣れた材料の新しい使い方や新たな用具を提示し、子どもたちが興味をもったり、自分なりに試したり工夫したりする楽しさを感じたりできるようにしていく。	
集団活動 【学年】 ・なつまつり準備(「いきざにゃ」のコーナー作り) ・西警察署見学(警察官に聞きたいことを話し合う、見学後に他学年に伝える) ・特別保育準備(ランチョンマット作り、事前準備など) 【クラス】 ・集団遊び(わらべうた遊び「ソウメンニューメン」、「あんまんだぶり」など) ・七夕製作「七夕飾り」		好きな遊び 【室内】 ・製作(空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など) ・ままごと・カプラ・ピタゴラスイッチ・レゴブロック・お手玉 ・広告や新聞紙を使って遊ぶ ・警察官、ケーキ屋さん、駅員さん、調査員などのごっこ遊び 【戸外】 ・砂泥遊び(川・泥団子作り) ・自然物遊び(虫探し、雨水) ・水遊び(プール遊び、絵の具遊び、ボディペイントなど) ・バンブーダンス	
音楽 【歌】 ・にじのおうに ・手のひらを太陽に ・アイスクリームのうた 【音楽】 ・ナミナミナ ・オクラホマ・ミクサー		物語 【絵本】 ・「なぞなぞのみせ」※言葉遊び ・「にじいろのさかな」※友達との関わり 【紙芝居】 ・「たべてよ たべてよ」※食育 ・「おどれ おどれ ドドンガ ドン」※季節のもの	

前月の 子どもの姿	○自分なりの目的をもって、水遊びや「いきっざにあ」のごっこ遊びをたのしんでいた。 ●今何をする時間かわかっていても、仲の良い友達がしようとしなければ、取り組まない子がいる。	月のねらい	・戸外で身体を十分に動かし、友達と一緒にルールを守って取り組み、協力してやり遂げる喜びを味わう。
生活・安全	・夏の生活からリズムを立て直し、健康で安全な園生活を送る。 ・災害時の身の守り方が分かり、素早く行動する。	食育のねらい	・給食当番で配膳することを通して、道具の正しい使い方や衛生面を学び、食への関心を深める。
		特別保育	2日(月)始業式 3日(火)給食開始 5日(木)避難訓練(火災) 6日(金)観劇会(書道パフォーマンス) 11日(水)西消防署見学 12日(木)保育参観 18日(水)環境出前授業 20日(金)～教育実習生(10/4まで) 26日(木)誕生会
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・園生活のリズムを取り戻し、大まかな見通しをもって行動する。 ・夏に経験したことを話したり聞いたりし、取り入れて遊ぶことを楽しむ。 ・自分なりの目的に向かって、思い切り身体を動かしたり、繰り返し挑戦したりする。 ・友達と役割を分担したり、力を合わせたり競い合ったりして遊ぶ。 ・身近な動植物に関わり、観察したり遊びに取り入れたりして興味をもって親しむ。		◆1日の流れや当番の仕方などを掲示し、園生活のリズムを取り戻せるようにする。 ☆1学期の経験から、当番の内容やグループなど自分達の生活が豊かになるように必要なことを話し合いで決められるようにする。 ◆話し合っている内容が視覚的に分かりやすくなるように、グループごとにホワイトボードやマグネットを活用していく。 ◆夏休みに楽しんだことを、クラスの前で話す機会を設け、経験したことを自分なりの表現で伝えられるようにするとともに、友達の話にも興味をもったり、自分の経験と重ね合わせたりしてやり取りも楽しめるようにする。 ☆友達同士でやり取りをしながら遊びを進めていこうとする姿を見守り、必要に応じて保育者も一緒に考えたり、互いの思いに気付けるようなきっかけを作ったりしていく。 ☆自分で目標を決めて取り組んだり、友達のしていることに刺激を受けて挑戦したりする姿を見守る。運動が苦手な子も興味をもつことができるように、保育者が一緒に遊んで見本となったり、取り組む姿を認めて励ましたりする。 ◆遊びの中で、いろいろな動きを繰り返し楽しめるような環境を工夫する。(登る、くぐる、跳ぶ、バランスを取って歩く、投げる、蹴るなど) ☆リレーや鬼遊びなどの集団での遊びに繰り返し取り組む中で、ルールや人数調整、作戦など、自分達で遊びを考えていけるようにする。 ◆日常の遊びを運動会に生かしていけるように、経験のつながりを重視して内容を考えていく。 ◆いろいろな植物の種や実を集めたり、咲き終わった花を色水に使ったりすることができるように、すり鉢やビニール袋など遊びが広がる道具を準備しておく。	
集団活動 【学年】 ・運動会に向けて(「表現」「リレー」「競技」) ・消防署見学 (消防士に聞きたいことを話し合う、見学後に他学年に伝える) ・環境出前授業「ネイチャーゲーム」 【クラス】 ・集団遊び(わらべうた遊び「かぼちゃがめをだして」、「かくかく」、など) ・敬老の日製作「秋の果物や花の絵ハガキ」 ・折り紙「パッチンカメラ」		好きな遊び 【室内】 ・製作(空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など) ・ままごと・カプラ・ピタゴラスイッチ・レゴブロック・お手玉 ・広告や新聞紙を使って遊ぶ ・夏休みに経験した遊びを取り入れたごっこ遊び 【戸外】 ・砂泥遊び(川・泥団子作り) ・自然物遊び(虫探し、草花の色水遊び、種取り) ・鬼ごっこ(十字鬼、増え鬼)リレー	
音楽 【歌】 ・むしのこえ ・きみがよ 【音楽】 ・ジェンカ(フォークダンス)		物語 【絵本】 ・「しりとりにくい」※言葉遊び ・「こんとあき」※友達との関わり 【紙芝居】 ・「たべてよ たべてよ」※食育 ・「つきみだんごとまほうのぼうし」※季節のもの	

前月の 子どもの姿	○暑さに負けず思い切り身体を動かしたり、友達と力を合わせて競い合ったりすることを楽しむ。 ●競技やリレーに積極的に参加する分、負けてしまうと気持ちの切り替えに時間がかかる子が数名いる。	月のねらい 食育のねらい	・身の回りの自然現象に関心をもち、友達と伝え合ったり考えたりする。 ・自分の力を発揮したり、友達と力を合わせる喜びを感じたりする。 ・冬野菜を育てることや旬の野菜を食べることを通して、食への関心を深める。
生活・安全	・怪我や不調について、自分で保育者に伝える。 ・公共の場での約束事を知り、自分なりに過ごし方を考えて行動する。	特別保育	～4日(金)教育実習① 12日(土)運動会 13日(日)運動会予備日 15日(火)～教育実習②(28日まで) 17日(木)橋本車両基地見学 18日(金)アルバム写真撮影 22日(火)誕生会 24日(木)視力検査 29日(火)避難訓練 30日(水)秋の遠足(科学館)
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・自分の力を発揮し、挑戦する楽しさを味わう。 ・友達と役割や係を分担し、協力して進めながら、力を合わせやり遂げる。 ・生活の中の言葉や文字・標識・記号・国旗に関心をもち、伝える手段として、取り入れて遊ぶ。 ・秋の自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどの気づき、周囲に伝えようとする。 ・リズムカルに表現したり、友達と表現を工夫して動いたりすることを楽しむ。		◆運動会に向けて取り組む時間と、自分の好きな遊びをじっくりできる時間が保障できるように1日の流れを組み立てる。また、見通しをもって生活できるように掲示する。 ☆「速く走りたい」「勝ちたい」など、頑張ろうとする気持ちを認め、そのためにどうするといったのか保育者と一緒に作戦を考え、挑戦する楽しさを感じられるように関わる。 ☆友達の頑張る姿や良いところに気付いて応援したり、認めたりすることができるような雰囲気を作る。 ☆繰り返し遊ぶ中で、友達と仲間意識をもち、励まし合ったり、話し合ったりする姿を認める。 ◆困ったことがあった時には、考えを出し合って解決していけるように見守ったり、関連する絵本や紙芝居を読むなど、考えるきっかけを作ったりする。 ☆園外保育の前後でよく目にする標識について話をし、意味や守ることの大切さを考えて行動することができるように関わる。 ◆地下鉄でのマナー、乗車の仕方を電車ごっこなどの遊びを通して確認したり、科学館のパンフレットを置いたり、科学遊びや星に関する絵本を見ることができるようしておく。 ◆落ち始めた木のみに気づき、集めたり、形や大きさの違いを比べたりしながら様々な遊びに取り入れていけるように素材や環境を準備する。 ◆フィールドビンゴを準備し、以前の経験を踏まえて新たな発見をしたり、違う視点で自然を捉えたりすることができるようにする。 ☆気付いたことや発見したことをみんなの前で発言したり、文字や絵にして発信したりする機会を設け、伝える楽しさを感じられるように関わる。 ◆友達と動きをそろえたりしながら音楽に合わせて表現する姿を動画に撮り、確認しながら自信をもって取り組むことができるようにする。 ☆一人ひとりが作った物を構成して壁面に飾ることで、様々な表現方法に触れて、友達がしていることに興味をもったり、自分のしたことを相手に教えたりすることができるようにする。	
集団活動		好きな遊び	
【学年】 ・運動会に向けて(「表現」「リレー」「台風の目」) ・経験画「運動会」 ・橋本車両基地見学(見学後に他学年に伝える) ・遠足「福岡市科学館」 【クラス】 ・集団遊び(わらべうた遊び「いもにめがでて」など) ・製作「南瓜(折り紙)、蜘蛛の巣(切り紙)」		【室内】 ・製作(空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など) ・ままごと・カプラ・ピタゴラスイッチ・レゴブロック・お手玉 ・広告や新聞紙を使って遊ぶ(輪ゴムなど他の材料と組み合わせて遊ぶ) 【戸外】 ・砂泥遊び(川・泥団子作り) ・自然物遊び(フィールドビンゴ) ・鬼ごっこ(「かくかく」で鬼決め) ・マラソンごっこ	
音楽		物語	
【歌】 ・あおいそらにえをかこう ・もみじ ・ばすごっこ 【音楽】 ・ポップコーン(体操) ・リビング・イン・カラー		【絵本】 ・「おひるのアヒル」※言葉遊び ・「けんかのきもち」※友達との関わり 【紙芝居】 ・「ありがとう ごはんつぶマン」※食育 ・「ぬすまれた パンプキンパイ」※季節のもの	

前月の 子どもの姿	○友達と誘い合ってリレーや氷鬼をして身体を動かすことを楽しんでいる。 ●集団活動に進んで参加する中で、負けたり失敗したりすると、気持ちの切り替えに時間がかかることがある。	月のねらい	・遊びや生活の中で、友達と共通の目的をもち、工夫しながら活動に取り組む。 ・様々な素材を使って、イメージしたものを表現させ楽しさを感じる。
生活・安全	・病気や予防の仕方に興味をもち、手洗いうがいなどの自分でできることは率先して取り組む。 ・怪我や不調について、自分で保育者に伝える。 ・就学時健診を通して就学に期待をもつ。	食育のねらい	・自分が決めた量を時間内に食べ終わるように、ペースを意識しながら食べ進める。
内容		特別保育	1日(金)入園願書受付のため在園児休園 5日(火)三陽高校との交流 6日(水)13:30降園 12日(火)避難訓練(不審者)13日(水)四園交流保育 19日(火)誕生会 27日(水)クラス集合写真撮影
◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮			
・健康な身体づくりに関心をもち、生活リズムを整えたり、嫌いな食べ物にも挑戦したりして、健康な生活習慣を身につける。 ・遊びの進め方などを友達と話し合い、協力したりルールを守ったりして遊びを進める。 ・自然物など様々な環境を使って遊びを楽しみ、素材の感触や物の性質などに気付いたり調べたりして探求する。 ・友達と一緒に考えたことを遊びの中で実現したり言葉で表現したりする楽しさを味わう。 ・自分のイメージに合う素材を選んだり、組み合わせたりして遊びに必要な物を製作する。		☆「早寝・早起き・朝ごはん」を意識した生活習慣や、手洗い・うがいをして衛生面に気を付けることが健康な身体をつくり、自分の力を発揮することに繋がっていることを実感することができるように関わる。 ☆苦手な食べ物に挑戦する姿を受け止め、自分の自信に繋がるように関わる。 ☆給食の食べ始めと食べ終わりを時計を見ながら確認することで、時間を意識することができるようにする。 ☆一人ひとりが思いや考えをクラスやグループの中で出しているか確認し、必要に応じて言葉を補ったり、保育者が傍につき、安心して自分の気持ちを伝えたりすることができるようにする。 ◆自分達で継続して遊びを進められるように場所を設定したり、用具の置き場を共通にしたりすることができるようにする。 ◆球根の水耕栽培を身近な容器(プリンカップ、ペットボトルなど)で手作りする事で身近に感じたり、図鑑を置いたりする工夫をし、子ども達が生長や変化に関心が高まるようにする。 ◆園内外で拾ったドングリやまつぼっくりを置ける場所を用意する。分類して表示をつけられるような容器を置いたり図鑑を用意したりして、関心を深められるようにする。 ☆素材の特性に気付く姿を認めたり製作のヒントを投げかけたりして、試したり工夫したりして遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ☆グループや友達と話し合いを進めている様子を見守り、一人ひとりの思いやアイデアを聞き合う関係づくりができるように、必要に応じて橋渡しをする。 ☆思いや考えを伝え合う中で、友達の良さに気付いたり認めたりする姿に共感し、クラスの仲が深まるように援助する。 ◆今まで読んできた絵本や親しみのある話をきっかけに自分達でアイデアを膨らませて遊ぶ機会をつくり、表現を工夫する楽しさを感じられるようにする。 ◆イメージに合う素材を選んだり組み合わせたりできるように、様々な素材を準備したり必要な物を子ども達と一緒に考えたりする。 ☆製作時に必要な道具を選び、正しく安全に使用することができるようにする。 ☆道具作りの中でも友達と協力することで良いものが出来上がっていくことを感じるができるように言葉にしていける。	
集団活動		好きな遊び	
【学年】 ・ドッジボール ・四園交流遠足 【クラス】 ・いきっこ劇場に向けて(「物語作り」「小道具作り」「大道具作り」) ・集団遊び(わらべうた遊び「ひばりひばり」など) ・折り紙製作「どんぐり」		【室内】 ・製作(空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など) ・ままごと・カプラ・ピタゴラスイッチ・レゴブロック・お手玉 ・広告や新聞紙を使って遊ぶ(輪ゴムなど他の材料と組み合わせる遊び) ・絵の具遊び 【戸外】 ・固定遊具(チャレンジカード) ・自然物遊び(フィールドビンゴ、ままごと遊び) ・ドッジボール ・マラソンごっこ・リレー	
音楽		物語	
【歌】 ・きいろいゆりかご・まっかだな 【音楽】 ・パナポー体操(体操) ・まじめ忍者		【絵本】 ・「だじゃれ日本一周」※言葉遊び ・「であえてほんとうによかった」※友達との関わり 【紙芝居】 ・「たべてよ たべてよ」※食育 ・「きのこのばけもの」※季節のもの	

前月の 子どもの姿	○友達と一緒に、いきっこども劇場の内容を考えて取り組むことを楽しんでいる。 ●自分と相手の考えが異なる時に、自分のこだわりを曲げられず、相手の意見と混ざることには抵抗がある子が数名いる。	月のねらい	・感じたことや考えたことを友達と工夫しながら様々な方法で表現する。 ・友達の気持ちを理解し共感したり、振り返ったりして考えながら行動する。
生活・安全	・感染予防のために手洗いうがい大切さに気付き、自分から健康に過ごそうとする意識をもつ。 ・進んで掃除をしてみようとし、自分の持ち物や使った場所をきれいにし心地よさを味わう。	食育のねらい	・メニューに入っている食材を意識しながら食べる。
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・自分たちのロッカーや玩具などを掃除して、清潔にする心地よさを感じる。 ・友達と思いを伝え合い、相手の話を理解しようとする。 ・年末の地域の様子や初冬の自然事象に興味や関心をもつ。 ・絵本や物語、経験したこと、想像を豊かに膨らませ、動きや言葉などで表現したり遊びに取り入れたいとする。 ・様々な素材や用具を活用して、物を大事にする気持ちを持ち、工夫して作ることを楽しむ。		☆年末の大掃除の意味を伝え、掃除の仕方や分担をクラスのみならずみんなで考えて取り組み、自分達できれいにした達成感を感じられるようにする。 ☆自分達の保育室だけでなく、園全体の環境に目を向けて、生活や遊びの場所を整えることで、園での役割を担っている喜びを感じられるようにしていく。 ◆話し合いて決めた掃除場所を表にまとめることで、自分の担当箇所を責任もって取り組んだり、終わっていない場所を手伝ったりすることができるようにする。 ☆自分達で協力して遊びや活動を進める姿を認め、工夫したり頑張ったりしている姿を伝え合ったり、困っていることを相談したりする機会をつくる。 ◆クラスの様子や出来事に合わせてセカンドステップの内容を選び、取り組む時間を設ける。 ◆冬の健康な過ごし方を話したり、絵本やポスターなどを掲示したりすることで意識をもてるようにする。 ◆風の冷たさなど、初冬の自然の変化に気付いたり調べたりすることができるように、図鑑や用具を用意する。 ☆葉が落ちた木が増えたこと、息が白くなることに気付き、友達と発見を喜んだり、興味・関心をもって会話を楽しんだりできるように関わる。 ☆自分達で考えを伝え合いながら物語を作る中で、自分や友達のやってみよう動きや台詞を取り入れたり、人前で表現したりすることを楽しむことができるように関わる。 ◆台詞や流れを文字やイラストにして掲示したり、絵本や紙芝居にしたりすることで、演じるだけでなく見ることも楽しみ、好きな時に劇遊びができるようにする。 ☆製作時に必要な道具を選び、正しく安全に使用することができるようにする。 ☆人前で表現することが苦手な子でも、製作物で自分らしさを発揮し、作ったものを見せることで、今までの取り組みを発表する機会として、自分に自信をもつことに繋がるようにする。	
集団活動		好きな遊び	
【学年】 ・経験画「いきっこども劇場」 ・卒園アルバムの表紙作り ・劇ごっこ（他クラスの物語に触れる） ・クリスマス製作「クリスマスカード」 【クラス】 ・いきっこども劇場に向けて（「物語作り」「小道具作り」「大道具作り」） ・集団遊び（わらべうた遊び「もちつき」など）		【室内】 ・製作（空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など） ・ままごと・カプラ・ピタゴラスイッチ・レゴブロック・お手玉 ・紙コップ竹とんぼ作り ・絵の具遊び 【戸外】 ・固定遊具（チャレンジカード） ・自然物遊び（フィールドビンゴ、ままごと遊び） ・ドッジボール ・マラソンごっこ・リレー	
音楽		物語	
【歌】 ・たきび ・クリスマスにちなんだ曲 【音楽】 ・いちわのからす（わらべうた）		【絵本】 ・「かえってきた へんしんトンネル」※言葉遊び ・「くまのコールテンくん」※友達との関わり 【紙芝居】 ・「からだぽっかぽかおうえんだん」※食育 ・「ふたりのサンタ」※季節のもの	

前月の 子どもの姿	○感じたことや考えたことを友達と工夫しながら様々な方法で表現することを楽しんでいる。 ●相手の気持ちを理解したい気持ちがあっても、自分の気持ちに折り合いをつけられずにトラブルになることがある。	月のねらい	・自分らしさを大切にしながら自信をもって行動し、友達と協力して遊びや生活を進めていく充実感を味わう。 ・身近な冬の自然の事象に気付き、遊びの中で試したり、考えたりし、関心を深める。
生活・安全	・卒園までの時間を大切に、園生活を振り返り、仲間という楽しさや友達と過ごす心地よさを感じる。 ・遊びや生活の中で、安全に気を配り、友達と伝え合いながら行動する。	食育のねらい	・時間を意識して、集中して食事をする。
		特別保育	8日(水)始業式 9日(木)給食開始 16日(木)年長交流保育 21日(火)誕生会 22日(水)避難訓練 23日(木)りす組クラス懇談 24日(金)うさぎ組クラス懇談 28日(火)お正月遊びの日 30日(木)交通安全教室
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・園生活を通して、自分で考えながら場面に応じた行動ができる。 ・自分達で役割を分担したり、ルールを決めたりしながら主体的に生活や遊びを進める。 ・冬のいろいろな自然の事象に気付き、友達と一緒に考えたり試したりする。 ・考えたことや感じたことを相手に分かるように話したり、相手の話を聞いて受け入れたりする。 ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事にふれた経験をもとに、友達と一緒に考えながら表現を楽しむ。		◆定期的にセカンドステップの時間を設け、相手の気持ちを考えた言動をクラスみんなで意識したり、共通認識を再確認したりすることで、普段の生活と結びつけることができるようにする。 ☆集団生活の場で、今何をすべきなのか自分なりに考えて行動する姿を認め、褒めていくことで自分に自信をもつことができるように関わる。 ☆物の管理や身の回りの整理整頓を普段から意識して取り組むことができるように、一人ひとりの取り組む様子をみて丁寧な方法を伝えたり、子どもなりに工夫している姿を周囲に知らせたりする。 ☆自分達で協力して遊びや活動を進める姿を認め、工夫したり頑張ったりしている姿を伝え合ったり、困っていることを相談したりする機会をつくる。 ☆自分達でルールを確認しながら進めていく中で、考えのすれ違いでトラブルになった時は、互いに思いを伝えて解決する姿を見守りながら、言葉が足りないところをさりげなく保育者が補い、自分達で解決する経験ができるように関わる。 ◆霜柱や氷などを遊びに取り入れて工夫したり試したりできる用具や素材を自由に使えるように用意する。(カップ・コップなどの容器・絵の具・フラワーペーパー・モールなど) ☆氷ができたりできなかったりした違いをきっかけに日なたと日陰の違い、気温の違いなどに気付き、試したり工夫したりする様子を見守る。 ☆子ども達の発見や気づきを受け止め、子ども同士で伝え合っていけるようにする。 ☆自分の思いや考えを伝えて、相手の思いも受け入れながら遊びを進めていることができるか見守り、必要に応じて互いの気持ちに気付くように声掛けをする。 ☆思いや考えを伝え合う中で、相手の良さに気付いたり、認めたりする姿に共感し、つながりが深まるように援助する。 ◆休みの間に経験したことが共有していけるように、正月の写真や絵本を用意し、話す機会をもつ。 ◆かるたやすごろく、こまやけん玉、凧揚げなどの伝承遊びを自分達でも作ったり遊んだりできるように、様々な素材を準備しておく。自分のイメージに合う材料を選んで表現することを楽しむことができるようにする。	
集団活動		好きな遊び	
【学年】 ・交流保育(あさひ幼稚園) ・卒園アルバムの表紙作り ・卒園製作「マグカップ作り」「自画像」 ・正月製作「凧」・折り紙「コマ」 ・運筆練習(①鉛筆の持ち方・正しい姿勢②縦線・横線③ジグザグ(WM)④くるくる(〴)⑤様々な形(○△□)) ・節分製作「鬼のお面」 【クラス】 ・正月遊び ・集団遊び(わらべうた遊び「もちつき」など)		【室内】 ・製作(空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など) ・ままごと・カプラ・ピタゴラスイッチ・レゴブロック・お手玉 ・正月遊び(ふくわらい・こま・竹馬・凧揚げ・かるた・すごろく・けん玉) ・紙コップ竹とんぼ作り ・絵の具遊び 【戸外】 ・固定遊具(チャレンジカード) ・自然物遊び(フィールドビンゴ、ままごと遊び) ・ドッジボール ・マラソンごっこ・リレー・十字鬼・色付き鬼・はないちもんめ	
音楽		物語	
【歌】 ・カレンダーマーチ ・たこのうた 【音楽】 ・いちわのからす(わらべうた)		【絵本】 ・「ことばのあいうえお」※言葉遊び ・「りゅうのめのなみだ」※友達との関わり 【紙芝居】 ・「りんごちゃん」※食育 ・「なぜ、かがみもちをかざるの?」※季節のもの	

前月の 子どもの姿	○自分で目標を決めて、諦めずに走ったり固定遊具に挑戦したりする。 ●水の冷たさを感じて、手洗い・うがいが雑になったり、室内遊びを好んだりする子が数名いる。	月のねらい	・身近な生活に必要な事物や自然事象に関心を持ち、興味を持って関わったり、考えたりして、生活を豊かにしていく。 ・友達と協力しながら遊びを進め、互いの気持ちを認め合う心地よさを感じる。
		食育のねらい	・食事のマナーを身につけ、箸の使い方や挨拶、食べ方などに気をつける。
生活・安全	・園生活を通じて培われた力や、自信・誇りをもって就学を楽しみにする。 ・遊びや生活の中で、安全に気を配り、友達と伝え合いながら行動する。	特別保育	3日(月)まめまき 6日(木)いきっこマラソン 17日(月)お楽しみ参観 18日(火)誕生会 19日(水)13:30降園 21日(金)おわかれパーティー(お弁当の日) 27日(木)卒園式リハーサル
内容	◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮		
・戸外で十分に体を動かし、友達と一緒にいろいろな運動遊びに挑戦する。 ・クラスや学年、園全体の中で自分の力を発揮し、目的をもって遊びや生活を進める。 ・冬から春への自然の変化に関心をもち、不思議さなどに思いを巡らせて友達と一緒に発見を楽しむ。 ・話す相手や場面の違いで、話し方や使う言葉が異なることに気付く。 ・音楽に親しみ、感じたこと、考えたことなどを音やリズム、動きで表現することを楽しむ。	◆寒さに負けず、戸外で遊ぶことで体が温まる心地よさを感じられるように、一人でじっくり取り組めるものや集団で遊べるものなど様々な運動遊びを用意する。 ☆目標をもって走ったり、固定遊具に挑戦したりする姿を受け止め、子ども同士でも応援し合ったり、相手の良さに気付いたりすることができるように関わる。 ◆風邪やインフルエンザを予防する意識をもって、手洗い・うがいを進んで行うことができるよう、紙芝居や絵本を通して取り組み方を考える機会を設ける。 ☆園生活の中で、今自分が何をすべきなのか考えて行動する姿を認め、褒めていくことで自分に自信をもつことができるように関わる。 ◆5歳児として自分達が誇りに思っている役割を、4歳児にわかるように伝える機会を設ける。 ☆クラスや学年で目的や願いを共有し、必要な情報を得て、問題解決や目的を達成するために工夫したり協力したりすることができるように関わる。 ◆節分やひなまつりの由来を話題にし、日本の文化を通して季節の移り変わりを感じられるようにする。 また、行事食を通して、食べ物に込められた願いを知り、食と健康の結びつきを考えることができるように関わる。 ◆栽培物(ヒヤシンス、白菜、カリフラワーなど)の生長やウメ、スイセンなどのつぼみの膨らみや色づきに気付き、不思議を感じ、よく見て調べたり、友達と発見や感動を伝え合ったりする姿を受け止め、興味や関心を深めることができるように関わる。 ☆クラスや学年の話合いで、自分の意見を伝える時に、丁寧な話し方(ですます調など)を意識することができるように関わる。 ☆自分が伝えたいことを言葉にしやすい雰囲気を作り、必要に応じて保育者が言葉を補い相手に伝わる感覚を知り、自分の発言に自信をもつことができるように援助する。 ☆子ども達の発見や気づきを受け止め、子ども同士で伝え合っていけるようにする。 ◆小学校に関する絵本を読んだり、すごろく遊びをしたりする中で自分なりに就学のイメージをもち、身の回りのことを保育者に伝える際の話し方も工夫することができるように関わる。 ☆好きな歌を絵にしたり歌詞を書いたり、動きや手話で表現したりする方法に触れ、それぞれの表現方法の良さや楽しさに気付き、自己表現を広げることができるように関わる。 ☆今まで歌ってきた歌や卒園にちなんだ歌を友達と一緒に歌うことを楽しんだり、心を合わせて歌う心地よさを感じたりすることができるように、必要に応じて声掛けをする。 ◆簡単な楽譜を用意し、好きな楽器で演奏する楽しさを感じられるように環境を整える。		
集団活動	好きな遊び		
【学年】 ・卒園に向けた取り組み(「他学年との交流」「お別れの言葉や歌を考える」「卒園式の意味を考えて練習の仕方や参加態度を考える」) ・ひなまつり製作「お雛様」 ・折り紙「メダル」 ・運筆練習(保護者への感謝の気持ちを文字や絵にしてプレゼントを作る) 【クラス】 ・集団遊び(わらべうた遊び「やなぎのしたには」など)	【室内】 ・製作(空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など) ・ままごと・カプラ・ピタゴラスイッチ・レゴブロック・お手玉・あやとり・LaQ・ワミー ・トランプ・ボードゲーム ・絵の具遊び 【戸外】 ・固定遊具(チャレンジカード) ・自然物遊び(春探し) ・ドッジボール ・マラソンごっこ・リレー・十字鬼・色付き鬼・はないちもんめ		
音楽	物語		
【歌】 ・赤鬼と青鬼のタンゴ ・だいすきのしるし ・にじ(手話) 【音楽】 ・鬼のパンツ(わらべうた) ・ジャングルぐるぐる	【絵本】 ・「かえってきた へんしん トンネル」※言葉遊び ・「こどもかいぎ」※友達との関わり 【紙芝居】 ・「へんしんおでん」※食育 ・「むかし むかし おにがきた」※季節のもの		

前月の 子どもの姿	○小学校のことを話題にすることが多くなり、就学への期待が高まっている。 ●見通しをもつことができ、話を最後まで聞かずに質問したり、思い込みで行動したりする子がいる。	月のねらい	・友達と過ごす時間を大切にして、残りの幼稚園生活を思いきり楽しむ。 ・強い子、やさしい子、考える子を意識しながら、自分に自信をもって卒園する。 ・友達といろいろな活動に取り組みながら、自分の思いや感じたことを豊かに表現し合い、お互いの成長を喜び認め合う。
		食育のねらい	・食生活に必要なことを、友達と協力して進める。 ・命をいただくことについて、自分なりの考えを持ち感謝して食事する。
生活・安全	・見通しをもちながら園で過ごす時間を存分に楽しむ中で、自他の良さや特性が生かされていることを実感して、就学への期待をもつ。 ・友達も自分も気持ちよく生活することができるように、よいことや悪いことを考えて行動する。	特別保育	4日(火)誕生会 6日(木)卒園式最終リハーサル 11日(火)卒園式前日準備のため11:30降園 12日(水)卒園式 14日(金)給食終了 17日(月)～19日(水)11:30降園 21日(金)終業式
内容		◆環境の構成 及び ☆保育者の援助・配慮	
・1日の生活や卒園、就学までの生活の見通しをもち、意欲的に活動を進める。 ・園生活を振り返り、自分や友達の成長を感じたり、周りの人へ感謝の気持ちをもったりする。 ・自分達の生活の場や身近なものを大切に、みんなで協力しながら、使いやすく整えたり飾ったりする。 ・言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉を選んで相手に分かるように話す。 ・素材や用具を目的に合わせて選び、友達と一緒に伸び伸びと表現する。		☆残りの園生活の中でやりたいことを話題にし、提案したり計画したりして、遊びや生活に期待と満足感をもつことができるように関わる。 ◆カレンダーを見たり、友達と一緒に日々の活動を考えて書き込んだりして、卒園までの見通しがもてるようにする。(日めくりカレンダー、スケジュール表など) ☆友達のアイデアを聞いて、さらに新しいことを提案するなど、互いの考えを出し合いながら卒園の準備を進める様子を認め関わり、自信がもてるようにする。 ☆進級に対する思いが様々であることを理解し、一人ひとりの気持ちやペースに寄り添いながら関わり、今を存分に楽しめるように配慮する。 ☆◆これまで自分達のことを見守ってくれた方々のことを考える機会をもち、感謝の気持ちが膨らむようにする。また、その思いを自分なりに表現したり相手に伝えたりすることができるように、様々な素材を準備する。(色画用紙、フラワーペーパー、ハガキ、文字スタンプ) ◆残り少ない園生活の思い出作りに、いろいろなクラスの友達と昼食を食べたり、ゲームをしたりする機会などを作る。 ☆年下の友達を思いやって優しく接したり、相手のペースに合わせて言動を調整したりする姿を認め、自分の成長を感じられるようにする。 ☆自分達で生活の場を整えたり清掃したりしようとする姿を認め、場所や方法、必要な道具など自分達で考えられるようにしていく。 ◆友達と一緒に必要な清掃道具などを用意し、自分達で整頓や清掃に取り組めるようにする。 ☆整理整頓の仕方や製作遊びの素材の使い方をクラス全体で見直して、一人ひとりが物を大切に使うことができ、誰もが安心して気持ちよく過ごすことができる環境を整えられるように関わる。 ☆様々な言葉を知る中で、時と場に応じた発言をしたり、相手の受け取り方を考えて言葉を選んで話したりすることができるように関わる。 ☆友達と思いがすれ違いトラブルになった時には、互いに言葉で気持ちを表現できるよう、個別で話をしたり、友達とゆっくり話せる場所を用意したりするなど環境を整える。 ◆生活や遊びの場面で自分の気持ちをコントロールして、落ち着いて思いを伝えることができるように、セカンドステップの時間を設ける。 ☆自分が伝えたいことを言葉にしやすい雰囲気を作り、相手に伝わる経験を得て、自分の発言に自信をもつことができるように援助する。 ☆卒園に向けて友達と一緒に保育室の装飾を考えたり思い出の絵を飾ったりして、嬉しさを感じられるようにする。また、必要な材料を探したり、集めたりと、自分達で活動に取り組めるようにしていく。 ☆ごっこ遊びに必要な道具を様々な素材を使って作ったり、室内遊びで使いがちな素材(新聞紙)を戸外遊びや運動遊びに用いたりするなど遊びを展開していくことができるようにさりげなく提案していく。	
集団活動		好きな遊び	
【学年】 ・卒園に向けた取り組み(「他学年との交流(配膳の手伝いなど)」「卒園式の意味を考えてお別れの言葉や証書授与に参加する」) ・折り紙・切り紙「季節の花」 ・運筆練習(保護者への感謝の気持ちを文字や絵にしてプレゼントを作る) 【クラス】 ・集団遊び(わらべうた遊び「 」など)		【室内】 ・製作(空き箱遊び、折り紙、スタンプ、切り紙など) ・ままごと・カプラ・ピタゴラスイッチ・レゴブロック・お手玉・あやとり・LaQ・ワミー ・トランプ・ボードゲーム ・絵の具遊び 【戸外】 ・固定遊具(チャレンジカード) ・自然物遊び(春探し) ・ドッジボール・新聞紙尻尾走 ・マラソンごっこ・リレー・十字鬼・色付き鬼・はないちもんめ	
音楽		物語	
【歌】 ・ありがとうこころをこめて ・だいすきのしるし ・さよならばくちのようちえん 【音楽】 ・ジャングルぐるぐる		【絵本】 ・「いかあげ たこあげ」※言葉遊び ・「いつまでも ともだち」※友達との関わり 【紙芝居】 ・「ほねほね げんき？」※食育 ・「なぜおひなさまをかざろの？」※季節のもの	

令和5年度 保育実践一覧

領域		年少					年中					年長						
		I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	Ⅳ期	V 期	I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	Ⅳ期	V 期	I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	Ⅳ期	V 期		
健康	給食 箸			箸移行期間 （3点セット持参）	箸を使い始める				正しい箸の持ち方ができる									
	配膳 （当番活動）	誕生児のみ 当番	当番が一人一人に配る （おぼん・おかず）			配膳台に自分で取りに行く	配膳台に自分で取りに行く			当番がつぎ分ける （副菜のみ）	当番がつぎ分ける （すべて）		量を考えてつぎ分ける きれいに、丁寧につぎ分ける					
	歯磨き	うがいのみ	歯ブラシでの歯磨き															
	食育		収穫した夏野菜を食べる		キャベツを使ったクッキング	ソラマメを食べる	あんず・うめ ジュース ジャム			大根を使ったクッキング			米の脱穀・もみすり 米を持ち帰る					
	親子でクッキング		ごはんを炊く						育てたサツマイモを使う				みそ汁を作る （包丁）					
	着替え					15分で済ませる				10分で済ませる					5分で済ませる			
人間関係	セカンドステップ			ゼロ 第1週～第10週					ゼロ 第12週～第25週			ゼロ 第26週～28週		復習				
	グループ	保育者が決める	月に1回程度グループ変えをする （くじ引き・テーマをみんなで決めてグループ名を決める）				保育者が決める	月に1回程度グループ変えをする （くじ引き、あみだくじなど・テーマをみんなで決めてグループ名を決める）				月に1回程度グループ変えをする （くじ引き、あみだくじなど・テーマをみんなで決めてグループ名を決める） ※状況に合わせて自分達で話し合いをしてメンバーを決める						
	縦割り保育		ミックスジュース 年中児と散歩			お別れパーティーに向けての活動	年長児と散歩	ミックスジュース 年少児と散歩			お別れパーティーに向けての活動	年少児のお世話（園内散歩）	ミックスジュース 年中児と散歩		お別れパーティーに向けての活動			
環境	掃除		ゴミ拾い 雑巾がけ（音楽に合わせて・競争）				グループごとに掃除 ※雑巾絞りを取り入れる （テーブルクロス干し・床拭き・ほうき・椅子拭き・おもちゃ片付け・靴箱掃除・すのこなど） ☆毎週水曜日13:40～、戸外玩具洗い（6月～）					グループごとに掃除 ※園全体も含む ※雑巾絞りも継続的に取り組む （バスのブルーシート敷き、年少掃除手伝いなど） ☆毎週水曜日13:40～、戸外玩具洗い（5月まで）						
	育てる 野菜		トマト キュウリ		ソラマメ → →		ソラマメ収穫	サツマイモ		大根				米作り				
	花		アサガオ					ヒマワリ		チューリップ			ヒヤシンス（水栽培） クロッカス（地植え・玄関前）					
言葉	特別保育活動に向けての話し合い				保育者の話を聞く 自分のしたいことを伝える		テーマを共有して、自分の意見を発表する					他の人の意見を聞きながら、完成をイメージして話し合う						
表現	歌（音域）	下ド～上ド				下ド～上レ					下ド～上ミ							
	朝の歌・帰りの歌	朝の歌・帰りの歌→																
	楽器					タンバリン 鈴	タンバリン・鈴・カスタネット			打楽器		和太鼓 楽器（よいまつり）						
その他	就学に向けて										マークシールなし 和式トイレの使い方を知る キッズデイ ハンカチ持ち					鉛筆遊び 小学校見学		椅子に座って話を聞く

令和6年度まで 保育実践一覧(運動)

領域		4年保育					年少					年中				
		I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	Ⅳ期	Ⅴ期	I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	Ⅳ期	Ⅴ期	I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	Ⅳ期	Ⅴ期
屋外	走る		かけっこ （掛け声で走る）	かけっこ （遊戯室15メートル）		マラソン （園庭1周）		園庭から走って保育室へ戻る	かけっこ （直線20メートル）	マラソン （公園1周）			かけっこ （1周）		マラソン （公園1.5周）	
	跳ぶ		体操 （連続タッチ）	両足ジャンプ	グーパージャンプ	高い所からジャンプ			ハイタッチ 両足跳び（連続）	リズムジャンプ 片足跳び（連続）		グーパージャンプ			ケンケンパ	跳び箱導入
	鉄棒			ぶら下がる			ぶら下がる ぶたのまるやき				とびのる導入 つばめ	足抜き 尻上がり	前回り降り		逆上がり導入	
	縄跳び	大縄（飛び越える） フープ（くるりんジャンプ）					大縄（跳び超える・へび）					大縄（ゆうびんやさん10回）				
	固定遊具 （鉄棒除く）		すべり台	太鼓橋 （室内）	ジャングルジム	ブランコ 太鼓橋		ジャングルジム ブランコ すべり台		太鼓橋		うんてい				
	集団遊び								かくれんぼ					へびじゃんけん		ドッジボール
	おにごっこ		しっぽとり		おにごっこ （保育者が追いかける）			しっぽとり		おにごっこ （保育者が追いかける）			ケイドロ		こおりおに	たすけおに
	大運動会	①かけっこ（直線15メートル） ②体操 ③親子演技：親子で楽しめるもの					①かけっこ（直線20メートル） ②運動遊び（両足跳び・ダンボール電車・ボール運び） ③親子演技：親子で楽しめるもの					①かけっこ（1周） ②演技：バルーンを入れる【5分程度】 ③親子競技：親子で楽しめるもの ※障害物演技なし（鉄棒披露しない）				
室内	運動遊び		四つん這い だるまさん	高這い 横転 だるまさん （立ち上がる）		前転導入		四つん這い 高這い だるまさん	くるりんぱ だるまさん （立ち上がる）	横転	前転導入	前転		前転（立ち上がる）		かえるジャンプ
	室内遊具		ウェーブバランス			トランポリン			ウェーブバランス	平均台	トランポリン	平均台				
	すもう			すもう① （保育者と対戦）		すもう② （友達と対戦）		すもう① （保育者と対戦） （クラスごと）	すもう② ※おすもうさん来園 （赤白列車ごと 各クラス2回戦）	すもう③	すもう④	すもう⑤	すもう⑥	すもう⑦ ※おすもうさん来園 （赤白列車、男女ごと 各クラス4回戦）	すもう⑧	すもう⑨
	運動能力測定						見学						運動能力測定①			

令和6年度までの保育実践一覧(製作)

☆3学年共通もしくは必ず行うもの

		Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期		Ⅴ期		
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4 年 保 育	製作内容	☆こどもの日製作 (こいのぼり・クレヨン)	☆母の日プレゼント ☆父の日プレゼント (クレヨン) ☆梅雨製作	☆七夕製作 短冊		☆バス	☆帽子	☆秋の食べ物	☆クリスマス製作 (いきっこども 劇場掲示)	☆たこ ☆節分製作 福の神のお面 (ぬりえ)	☆ひな祭り製作 (折り紙)	・王冠づくり
	※記名 マークシールのみ											
	製作道具	クレヨン	線描き・ぬりえ									
	のり		2cm角・量：ダンゴムシくらい・5～10枚ほど			顔(パーツ貼り)				セロテープ		
	はさみ			ちぎる			小はさみ					
年 少	製作内容	☆こどもの日製作 (こいのぼり・クレヨン)	☆母の日プレゼント (紙粘土のマグ ネット・絵の具指 スタンプ) ☆父の日プレゼント (写真入れ・のり) ☆梅雨製作 (絵の具にじみ 絵・水性ペン)	☆保護者参観製作 (逆立ちこま・うちわ) ☆なつまつり製作 おめん おたのしみ (油性ペン) 金魚(絵の具) ☆七夕製作 短冊		☆運動会の応援旗	☆秋の製作		☆クリスマス製作 ☆いきっこども 劇場(ぬりえ・ ワッペン)	☆たこ ☆節分製作 鬼のお面 →パーツ組み合 わせ(顔：クレ ヨン、角：ハサミ・ のり)	☆ひな祭り製作 (千代紙) ☆思い出製作 (紙粘土・絵の具花 瓶) ☆卒園児への壁面 製作	・思い出の絵(クレ ヨン)
	※記名 マークシールのみ											
	※ラベル 1学期は保育者が 貼る											
	製作道具	クレヨン	線描き			顔(目・鼻・口)・ぬりえ						
	のり		2cm角・量：ダンゴムシくらい・5～10枚ほど			紙の周りにのりをつける						
年 中	製作内容	☆こどもの日製作 (こいのぼり・のり・はさみ)	☆お母さんの絵 (クレヨン・裏に メッセージ) ☆お父さんの絵 (クレヨン・裏に メッセージ) ☆梅雨製作 (はじき絵・たたみ 染め)	☆保護者参観製作 (竹の水でつぼ う) ☆よいまつり製作 おめん おたのしみ (油性ペン) ☆七夕製作 短冊 ☆スライム		☆運動会の壁面製 作 ・友達の顔(クレ ヨン)	・運動会の絵	・いきっこども 劇場道具作り	☆クリスマス製作 (いきっこども 劇場掲示・折り紙 「クリスマスツ リー」)	☆たこ ☆節分製作 鬼のお面 (クレヨン・はさ み・のり)	☆ひな祭り製作 (千代紙) ・えのぐ練習 ☆思い出製作 (紙粘土・絵の具・ ペン立て) ☆卒園式メダル (R4 年少合作で	・思い出の絵(クレ ヨン)
	※記名 マークシールのみ											
	製作道具	クレヨン	顔を塗りこむ			スクラッチ						
	のり											
	はさみ	うろこ切り(帯状の紙を斜めに切る)		大きな○		色々な形を切る・切り紙(2回折り)				小さな○やパーツを切る(尺・扇など)		
年 長	製作内容	☆こどもの日製作 (のり・はさみ・ 折り紙「かぶ と」)	☆お母さんの絵 (クレヨン・絵の 具で単色で背景を 塗る・裏にメッ セージ) ☆お父さんの絵 (クレヨン・絵の 具で混色で背景を 塗る・裏にメッ セージ) ☆梅雨製作 (たたみ染め)	☆保護者参観製作 (壁掛け・釘うち など・灯ろう作 り) ☆よいまつり製作 ・おめん ・おたのしみ (油性ペン) ☆七夕製作 短冊 ☆スライム	☆灯ろう (よいまつりで飾 る・おとまり保育 で灯し、持ち帰 る) ☆みこし作り (大人数で1つの を作る)	・おとまり保育の 絵 ☆運動会の壁面製 作	・運動会の絵 ・スケッチ(木や 遊具などを見なが ら描く・絵の具) ※アルバムの表紙	・いきっこども 劇場道具作り	☆クリスマス製作 (いきっこども 劇場掲示) ※卒園記念茶わん	☆たこ(内容検 討) 福の神か鬼のお面 (クレヨン・はさ み・のり) ※卒園式プログラ ム用「自分の顔」	☆ひな祭り製作 (幼稚園の集大成・ 千代紙) ※卒園式掲示用 「自分の顔」(はさ み・のり)	
	※記名 表に平仮名で記名											
	製作道具	クレヨン	顔を塗りこむ							※卒園記念製作		
	のり											
	はさみ	色々な素材を切る	折り目を切る				切り紙(3回以上折り・複雑に切る)			自分で描いた形を切る・ビニールを切る		
【年少ねらい】製作時間:20分	※個人持ち絵の具	単色で塗る(はじ	混色で塗る	たたみ染め								
	折り紙	かぶと(大きい紙)		細かく折る								

【年少ねらい】製作時間:20分 はさみ:直線連続切り のり:10cm角の周りにのりをつけられる 折り紙:ざぶとん折り

壱岐幼稚園・環境保育の1年間



喜岐幼稚園・環境保育の 1 年間

いきいき＊生き生き＊いきっこ＊ハッピーサイクル大作戦

喜岐幼稚園では、子供たちに自然あふれた豊かな自然環境のなかでのびのびと遊びながら、自然に楽しみ、親しみ、大切に作る気持ちを育んでほしいという思いから、1年間を通して様々な活動を行っております。

■SDGsの取り組み

①コンポスト作り

(落ち葉で堆肥づくり・給食残飯で堆肥づくり)

②3R

リデュース Reduce →ごみをへらす:残食ゼロ

リユース Reuse →くりかえし使う:葉っぱ

リサイクル Recycle →再び資源として使う:堆肥

③自園給食と自然体験

環境問題のひとつ自然環境破壊やゴミを出さないために、循環型社会の大切さを、1年を通して実践しています。

おわりに

壱岐幼稚園では、毎年子ども達の現状の姿を振り返り、教育課程の見直しを行っております。今回は、日々の振り返りをまとめ、現状の子ども達の姿に即した教育課程の改定を目指しました。ポイントは、「めざす園児像が示す日常の子どもの姿と育ち」「円滑に接続する4年間の発達過程が見える柔軟なカリキュラム」「書式の工夫による計画と実践の融合」です。

まず、改定に伴い、本園の教育（保育）の基盤として掲げている幼児像「強い子・やさしい子・考える子」を、全教職員がどのように考え、捉えているのかを問い直しました。教職員それぞれが思う「強い子・やさしい子・考える子」を出し合う中で、たくさんの具体的な姿が出ました。様々な表現方法ではありますが、伝えたい内容には同じ意見がたくさんありました。『いきっこ』への想いや願い、そして愛情が「壱岐幼稚園の目指す子ども」に、たくさん込められています。このページをご覧ください。ことで、壱岐幼稚園では教職員がどのような気持ちをもって日々、保育を行っているのか、どのような子ども達が育まれているのか、ご理解いただけたと思います。

次に、令和5年度より始まった2歳児保育の2歳児の姿や育ちを新たに追加し、4年間の幼稚園生活の中で継続的に育つ子どもの姿を意識した構成にしました。幼稚園教育要領や幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を前回の改定をふまえ、現状に適した内容にまとめました。園生活の中で、「強い子・やさしい子・考える子」を、遊びや経験、友達関係、四季の変化を感じられる自然から育めるよう、職員研修では「保育室の環境」「食育活動とSDGs」を研究テーマの主軸に据えました。その内容を集約し、子ども達の育ちを柔軟に受け入れられる工夫をしました。子ども達1人ひとり、それぞれ個性があり全員同じスピードの育ちではなく個人差があります。カリキュラムやねらいを基にしながらも、個々の姿に合わせた柔軟な対応を心掛け、全教職員で援助・サポートする体制をより一層、整えていきたいと思っています。

最後に、教職員1人ひとりが日々の保育を丁寧に振り返り、常に新しい保育を学び続け、話し合い完成した【中村学園大学付属 壱岐幼稚園の保育】は、月案と週案が子ども一人ずつの育ちへの見通しをもちながら、保育の計画と見直しを往還的に重ねられる様式になりました。教職員同士が子ども達の姿や育ち、保育のことについて語り合い共通理解を図るツールとして【中村学園大学付属 壱岐幼稚園の保育】を活用していきたいと思っています。さらに、現状の子ども達の姿に寄り添いながら個と集団それぞれで育まれる力をいかに引き出していけるか保育者として常に問い続けることを課題とし、いきっこの未来を見据えながら、全教職員で力を合わせて保育を磨き、質の向上に努めて参ります。

令和7年3月

中村学園大学付属壱岐幼稚園 教職員一同